国指定史跡

八王子城跡 保存整備基本構想•基本計画書

平成30年2月

八王子市 八王子市教育委員会

はじめに

現在、文化財行政に関する趨勢は、従来の保存重視から、より積極的な整備活用へと徐々に移りつつある。この流れを受けて、八王子城跡の保存・整備・活用においても、八王子城跡に関係する各部署や市民との連携・協力体制を強化し、八王子市全体がひとつになって取り組むべき非常に大きな課題となっている。よって、この機会に活用面を重視した計画を策定する必要がある。(※巻末資料4の平成29年文化庁の答申を参照。)

八王子城跡は、曲輪や石垣等の遺構がよく旧状をとどめているとして、国の史跡に指定されている。また、大都市圏に隣接しているが、史跡周辺には自然豊かな環境も保全されており、本丸跡を含む城山周辺の地域は、東京都の自然公園(特別地域)に指定され、市民の憩いの場として親しまれている。一方、山麓の根小屋地区は、古くは城下として栄えていたと考えられ、八王子城が落城した後も、連綿と住民の生活が続いている地域でもある。このように八王子城跡には歴史的な価値、豊かな自然環境、住民生活との共存といった様々な要素が複合的に組み合わさっており、八王子城跡を訪れる人々の来訪目的も、多様化している。

今後、八王子城跡の保存・整備・活用をより効果的に図るためには、まず、来訪者が八 王子城跡にどのような価値を認め、何を目的にし、どういった点に魅力を感じているのか、 把握する必要がある。そのため、本計画書の策定に合わせて来訪者アンケートを実施し、 季節別の推移や属性ごとのクロス集計を行うことによって、来訪者の八王子城跡に対する 認識や要望、利用実態について抽出・分析した。

全国の史跡等において、このような利用状況調査の実施例は少ない。しかし、それぞれの自治体が抱える課題である少子高齢化や地域力の再生、魅力あるまちづくり等に対応していくためには、限られた人的資源で最大限の成果が得られるように事業計画を練る必要がある。史跡整備事業においても同様で、近年では「史跡を活かしたまちづくり」が望まれていることから、史跡の利用実態を把握し、来訪者の特性を分析した上で、効果的な整備内容を検討することが重要となる。そこで今回の計画においては、それらの要素を取り入れた上で策定を行った。データ分析の結果、八王子城跡を訪れる来訪者の特性としては、下記の点が挙げられる。(※詳細な分析結果は33~43、67~70ページを参照。)

- ●初めての来訪者は、史跡探訪を目的にした来訪が多い。(四季の調査を通して同様。)
- ●来訪回数が多い人(リピーター)では、休日・平日ともに自然散策や自然観察、健康 作りを目的として来訪している割合が高い。

実際の来訪者の意見からも分かるように、八王子城跡は史跡としての価値だけでなく、自然環境や登山といった運動の場としての機能も重要視されている。よって、八王子城跡の保存・整備・活用にあたっては、遺構の保全を大前提としながらも、自然環境や動植物の適切な保全に加えて、安全で快適な散策道の維持管理など、関連するそれぞれの部署が一体となって事業に取り組む必要があることから、本計画を策定した。

例言

- 1. 本書は、東京都八王子市元八王子町外に所在する国指定史跡八王子城跡の保存整備基本構想・基本計画書である。
- 2. 本計画の策定事業は、八王子市教育委員会が担当し、平成28年度から平成29年度の 2か年にかけて実施した。
- 3. 本書では、指定地内の地区名称・地区区分に関して、平成 27 年 2 月策定の『八王子 城跡 保存管理計画書』p. 110 ~ 111 で整理した区分を踏襲している。

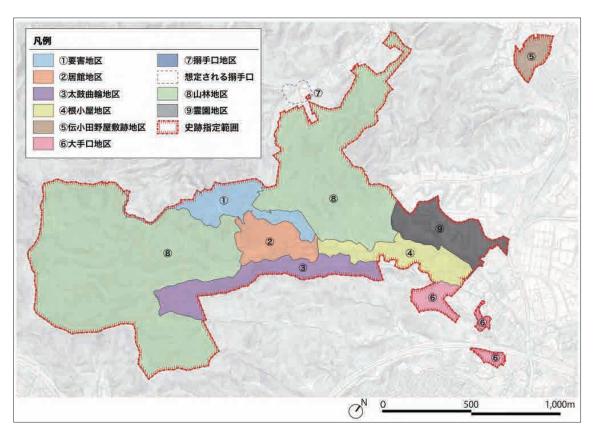


図1 史跡内の地区名称・地区区分図 (『国指定史跡 八王子城跡 保存管理計画書』(平成27年) p.111の図表96を抜粋)

目次

第1	章 計画策定の経緯と目的・・・・・・・・・・・・ 1
1.	計画策定の経緯・目的
2.	検討会の設置・検討経過
3.	関連計画・関連法令との関係
华 0	章 史跡の現状・・・・・・・・・・・・・・ 12
2.	自然的環境
3.	歴史的環境
4.	社会的環境
第3	章 史跡の概要および課題整理 ・・・・・・・・・・ 24
1.	史跡指定の状況
2.	史跡の概要(史跡の本質的価値と構成要素)
3.	史跡の公開活用のための諸条件の把握
(1)来訪者アンケート調査
•	2)既存サインの現況調査
•	課題整理
4.	林思生生
第4	章 基本構想・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 61
1.	基本理念(将来目標・保存管理計画における方向性)
	基本方針(全体計画・実施項目)
<u> </u>	/ ナン/ ナンノ トン ト (・)

第 5	章	基本計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	67
1.	基	本計画の前提条件(来訪者アンケートからの検討)	
2.	地[区別基本計画	
3.	項	目別基本計画	
(1)	遺構保存に関する計画	
(2)	石垣・曲輪等の遺構修復に関する計画	
(3)	動線計画	
(4)	地形造成に関する計画	
(5)	遺構の表現に関する計画	
(6)	修景および植栽に関する計画	
(7)	案内・解説施設に関する計画	
(8)	管理施設および便益施設に関する計画	
(9)	公開・活用およびそのための施設に関する計画	
(1	10)	周辺地域の環境保全に関する計画	
(1	11)	地域全体における関連文化財等との有機的な整備活用に関する計画	
(1	12)	整備事業に必要となる調査等に関する計画	
(1	13)	公開・活用に関する計画	
(1	14)	管理・運営に関する計画	
4.	事	業計画	
巻末	き資料	料	87
1.	参	考文献	
2.	来	訪者アンケート調査	
3.	史記	弥整備事業に絡む補助金等	
4.	文化	化庁『文化財の確実な継承に向けたこれからの時代にふさわしい保存	لح
	活	用の在り方について(第一次答申)』(平成29年12月8日)抜粋	

挿図目次

図 1	史跡内の地区名称・地区区分図・・・・・・	ii	図 17	八王子城跡の価値の分類・・・・・・ 2	27
図 2	本計画の位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5	図 18	八王子城跡を構成する要素の分類・・・・ 2	28
図 3	史跡指定範囲・包蔵地区域・・・・・・・・・・・・	6	図 19	アンケート調査位置図・・・・・・・・3	33
図 4	都立高尾陣場自然公園の区域・・・・・・・	8	図 20	現地踏査ルートおよび個別図範囲・・・・4	14
図 5	保安林の範囲・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8	図 21	既存サイン:根小屋地区・・・・・・ 45・4	16
図 6	土砂災害警戒区域の範囲・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10	図 22	既存サイン:エントランス広場・・47・4	18
図 7	史跡指定地の土地所有状況・・・・・・・・・・・	11	図 23	既存サイン: 御主殿跡 ・・・・・・・・ 49・5	50
図 8	史跡位置図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	12	図 24	既存サイン:要害と搦手口・・・・・ 51・5	52
図 9	平成 28 年の降水量推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	13	図 25	既存サイン:太鼓曲輪と大手口・・53・5	54
図 10	植生分布図	14	図 26	既存サイン: 伝小田野屋敷跡・・・・・・・ 5	55
図 11	八王子市の人口推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	21	図 27	要害地区と居館地区の課題点・・・・・ 7	72
図 12	ガイダンス施設の入館者数		図 28	庭園遺構の平面図・・・・・・ 7	73
	(年間推移) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	23	図 29	曳橋の整備工事図面・・・・・・ 7	75
図 13	ガイダンス施設の入館者数		図 30	根小屋地区と広域アクセスの課題点・・7	76
	(月別・曜日別推移)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	23	図 31	搦手口と伝小田野屋敷跡の課題点・・・・ 7	77
図 14	史跡指定範囲・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	25	図 32	事業の推進体制概念図・・・・・・・・ 8	34
図 15	八王子城縄張図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	26	図 33	事業計画概念図・・・・・・・・・ 8	35
図 16	近年の発掘調査状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	27	図 34	事業スケジュール・・・・・・・・・・・ 8	36
▭ᆂ					
与 具	目次				
写真 1	検討会の開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4	写真 7	庭園遺構:解説板・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7	73
写真 2	昭和 23 年の航空写真・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	21	写真 8	小田原城の石敷き庭園・・・・・・・・ 7	74
写真 3	昭和 62 年の航空写真・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	22	写真 9	津久井城の庭園・・・・・・・・ 7	74
写真 4	平成 20 年の航空写真・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	22	写真 10	0 曳橋の状況・・・・・・・・ 7	75
写真 5	文化財見て歩きの実施状況・・・・・・・・・	32	写真 1	1 JR高尾駅北口の案内板・・・・・・・ 7	79
写真 6	アンケート調査実施状況・・・・・・・・・・・・・	71	写真 12	2 管理棟の工事状況・・・・・・・・ 8	30
+ -	` *				
表目	次				
表 1	落城後の変遷・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	16	表 4	八王子城跡を構成する要素一覧①・・・・ 3	0
表 2	国史跡としての歩み① ・・・・・・・・・ 17・		表 5	八王子城跡を構成する要素一覧②・・・・ 3	1
表 3	国史跡としての歩み② 19・			ソフト事業一覧・・・・・・・・ 3:	
	_				

第1章 計画策定の経緯と目的

1. 計画策定の経緯・目的

八王子城跡は、昭和26年に国史跡に指定された後、4回にわたり追加指定され、現在では約160haの範囲が史跡指定地となっている。

八王子市では、昭和51年3月に第1次『保存管理計画』を策定し、平成元年~平成3年度にかけて第1期整備工事を実施した。この時には御主殿地区の石垣、虎口、曳橋、古道などが整備されている。その後、平成17年3月に第2次『保存管理計画』を策定し、平成21~26年度に第2期整備工事として、御主殿跡の遺構表示、曳橋等の改修、ガイダンス施設や駐車場などが整備され、史跡の魅力向上、および利用者の利便性向上を図っている。

ただし、史跡の現状としては、指定地が広域であること、土地所有者との調整、調査成果の市民への還元、史跡保全と自然環境保全との両立、時代に即した整備活用手法の検討の必要性など、史跡を取り巻く環境は時代の流れとともに変化し、複合的に絡んでいる。

そこで、八王子市は平成27年2月に第3次となる『八王子城跡 保存管理計画書』を 策定し、史跡の本質的価値の抽出や課題整理、現状変更等の取扱基準を設定することで、 史跡の適切な保存管理の方針を示した。加えて、整備活用の基本的考え方を整理し、今後 の史跡整備の進め方について大まかな方針を定めた。

上記の『保存管理計画書』を受け、より具体的な整備事業の推進に向けて、平成28年度と平成29年度の2か年に渡り、『国指定史跡 八王子城跡 保存整備基本構想・基本計画書』を取りまとめた。本計画の策定にあたっては、四季を通じた来訪者アンケートを実施し、利用者の生の声を聞くことで、八王子城跡に求められる機能や史跡としての価値に対する認識などを調査・分析した。それらの結果をもとに、八王子城跡が将来にわたり保護・継承されていくために必要な整備項目を抽出し、史跡の基本的な整備内容や手法等について方向性を示すことで、整備事業の具現化を図るものとする。

2. 検討会の設置・検討経過

本計画の策定にあたり、学識経験者や地域住民などで構成される「国史跡八王子城跡保存整備基本構想・基本計画策定検討会」を設置し、2か年で全7回の検討を行った。検討会の名簿、および検討経過については、以下のとおりである。

検討会参加者一覧(◎座長、○副座長)

Į.	氏名	選出区分	所属等	専門分野
◎伊藤	正義	学識経験者	鶴見大学文学部文化財学科教授	中世史
○高橋	賢一	学識経験者	法政大学名誉教授	都市計画、土木史
栗野	隆	学識経験者	東京農業大学地域環境科学部 造園科学科准教授	史跡整備、庭園
内野	秀重	学識経験者	八王子市長池公園自然館園長	植物
加藤	哲	学識経験者	八王子市文化財保護審議会副会長	中世史
小沼	康子	学識経験者	東京農業大学地域環境科学部 造園科学科客員研究員	庭園
齋藤	慎一	学識経験者	江戸東京博物館学芸員	中世城郭研究
土井	義夫	学識経験者	元成蹊大学非常勤講師	考古学
新谷	洋二	学識経験者	東京大学名誉教授	都市計画、土木史
梶原	正統	関係機関代表者	八幡神社・八王子神社宮司	
増田	茂	関係機関代表者	林野庁東京神奈川森林管理署 森林技術指導官	
榎本	正	地域代表者	前元八王子町三丁目町会長	
長田	房吉	地域代表者	松竹町会長	
常盤	広敏	地域代表者	元八王子町三丁目町会長	
石井	隆	公募市民	八王子城跡ガイドボランティア	
柴田	勉	公募市民	八王子城跡ガイドボランティア	

オブザーバー

氏名	氏名 所属等			備考		
浅野 啓介		文化庁文化財部	邓記念物課 史跡部門]		文化財調査官
伊藤 敏行		東京都教育庁	地域教育支援部管理	課 総括課	長代理	学芸員

事務局

	八王子市教育委員会 生涯学習スポーツ部 文化財課				
氏名	所属等	備考			
中正 由紀	文化財課長 兼 郷土資料館長	平成 28 年度			
中野 みどり	文化財課長 兼 郷土資料館長	平成 29 年度			
尾崎 光二	文化財課 主査	平成 28 年度			
金子 征史	文化財課 主査	学芸員			
白井 進	文化財課 主査				
五十嵐 千絵	文化財課 主任	平成 28 年度			
柴田 恭典	文化財課 主事				
長谷川 潤	文化財課 主事	平成 29 年度			
紺野 英二	文化財課 主事	学芸員・平成 28 年度			
横川 貴衣	文化財課 主事	学芸員・平成 29 年度			

計画策定支援業務委託先

	株式会社 イビソク					
氏名	所	属等	備考			
西部 真騎	岐阜本店 史跡整備室	室長	平成 28 年度			
鈴木 香枝	東京本社 技術部					
小野 麻人	東京本社 技術部					

検討会の経過

年度	回数	開催日時	主な検討内容
平成	第1回	平成 28 年 19 日 97 日	・八王子城跡保存整備基本構想・基本計画策定の趣旨について ・八王子城の現状について ・来訪者アンケート調査(12月実施)に関する報告
28	第2回		・八王子城跡保存整備基本構想・基本計画について ・八王子城跡発掘調査の実施計画について
年度	第3回	平成 29 年	・八王子城跡に関係するソフト事業の現状について ・八王子城跡内の解説板等の現状について ・八王子城跡発掘調査(2月実施)に関する報告

年度	回数	開催日時	主な検討内容
平	第1回	D1/. FG 70. / L	・八王子城跡保存整備基本構想・基本計画策定の経過について・来訪者アンケート調査(5月実施)に関する報告・現地視察(八王子城跡御主殿地区)
成 29	第2回	平成 29 年 7月 31 日	・基本計画策定のイメージについて ・来訪者アンケート調査の実施計画(8月・11月)について
年度	第3回	平成 29 年 12 月 27 日	・保存整備基本構想・基本計画の素案について
	第4回	平成 30 年 2月8日	・保存整備基本構想・基本計画の素案について

※上記のほかに、関係機関や専門家、検討会メンバーの方々には適宜、個別に意見収集を 実施している。



平成 28 年 12 月 27 日実施の検討会



平成29年3月28日実施の検討会



平成29年6月12日実施の現地視察



平成29年7月31日実施の検討会



平成 29 年 12 月 27 日実施の検討会



平成30年2月8日実施の検討会

写真1 検討会の開催状況

3. 関連計画・関連法令との関係

八王子城跡の保存整備にあたっては、史跡としての価値を損なわないよう、文化財保護 法をはじめとする関連法に準拠する必要がある。

また、本計画は八王子市の基本構想・基本計画である「八王子ビジョン 2022」および「八王子市文化芸術ビジョン」「八王子市生涯学習プラン」「八王子市教育振興基本計画」の下位計画として位置づけられる。そして、「八王子ビジョン 2022」の実施計画となる「八王子ビジョン 2022 アクションプラン(平成 29~31 年度)」では、「施策番号 25:市民が誇れる歴史と伝統文化の継承」の中で、「国史跡八王子城跡の保存整備」を主な事業の1つとして挙げており、「八王子のまちの起こりでもあり、戦国時代の終わりという歴史的転換のきっかけともなった八王子城を、日本 100 名城に相応しい史跡として後世へ継承するとともに、多くの人に来訪してもらえるよう、保存・整備を行う。」と明記している。

計画策定においては、上位計画や関連計画等の内容と整合させつつ、史跡が持つ歴史的、 文化的、自然的価値といった多様な側面を考慮し、八王子市を代表する史跡として適切な 保存・整備・活用が図られるよう、方針を定める必要がある。

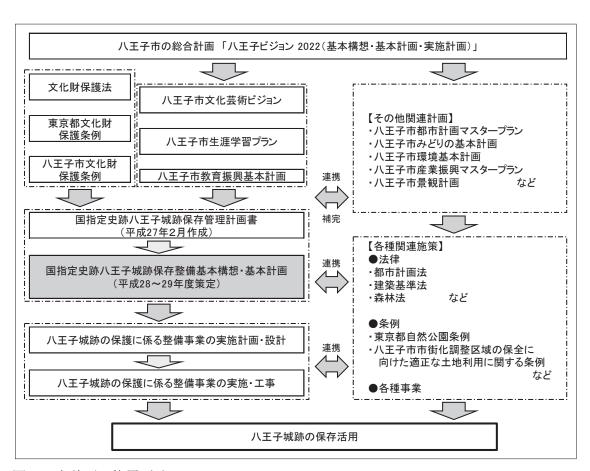


図2 本計画の位置づけ

(『国指定史跡 八王子城跡 保存管理計画書』(平成27年)p. 2の図表1を改変)

八王子城跡は、文化財保護法による史跡指定のほか、各種の法令等によりその保全が図られている。山間部に位置していることから、大部分が保安林となっており、本丸跡周辺は都立高尾陣場自然公園の特別地域に指定されている。また、八王子市景観条例においては、市の豊かな自然、歴史、文化等を活かした良好な景観を保全するため、八王子城跡が位置する西部地域のほぼ全域を「緑との共生ゾーン」に位置づけている。さらに、西部地域の景観形成方針のテーマとして「八王子城跡の歴史的資源を保全・活用した景観づくり」を設定し、風格ある史跡景観の形成を図るとしている。

一方で、山麓部の住宅地周辺では、近年の集中豪雨や台風等の影響で自然災害が発生し やすくなっているため、土砂災害防止法に基づき、土砂災害警戒区域等の指定・周知がな されている。以下に、各法令等の指定状況を整理する。

◆史跡指定範囲、および史跡周辺の周知の埋蔵文化財包蔵地の区域

(担当窓口:八王子市生涯学習スポーツ部文化財課)

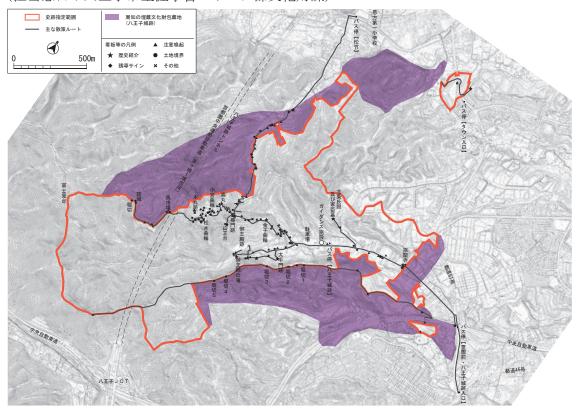


図3 史跡指定範囲・包蔵地区域(八王子市公共測量地図より作成)

◆史跡周辺の都立高尾陣場自然公園の区域

(担当窓口:東京都環境局/八王子市まちなみ整備部公園課/八王子市産業振興部観光課)

都立高尾陣場自然公園

指定年月日:昭和25年11月23日

面 積:4,403ha

概 要:高尾陣場自然公園は、明治の森高尾国定公園を取り巻くように指定されており、両公園は一体として利用・管理されています。陣場山から景信山を経て小仏峠に至る都県境の山地帯、八王子城跡のある城山、北条氏照墓のある丘陵部、浅川周辺など自然の景観と史跡に恵まれています。

【人文資源】の特徴:八王子城跡や北条氏照墓等の史跡を有する。



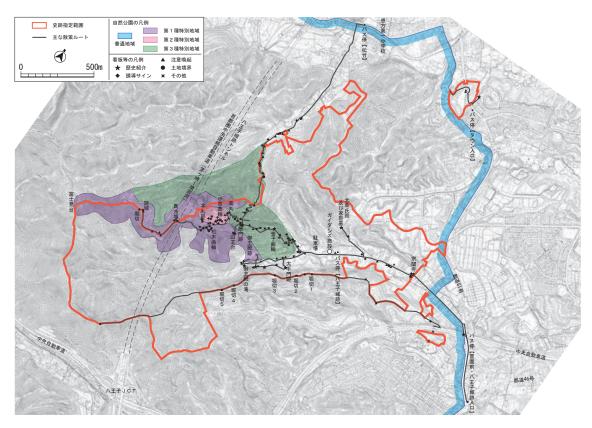


図4 都立高尾陣場自然公園の区域 (八王子市公共測量地図より作成)

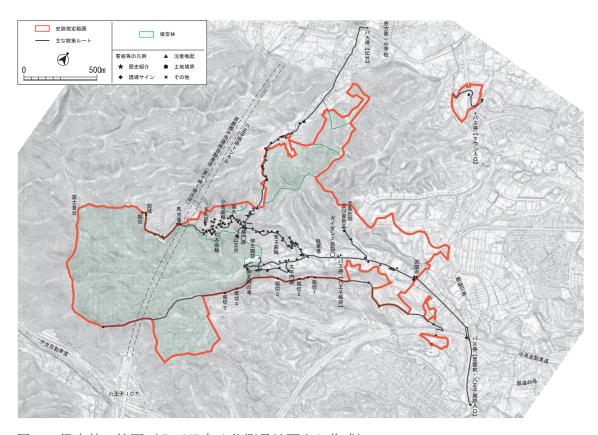


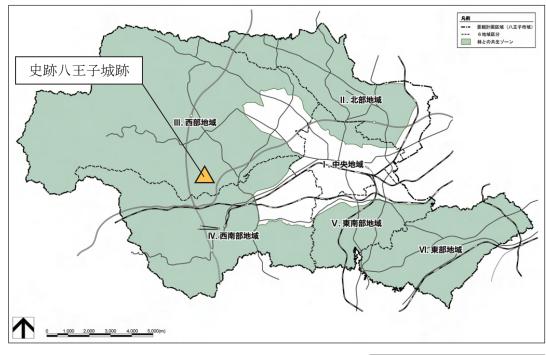
図5 保安林の範囲(八王子市公共測量地図より作成)

◆史跡周辺の八王子市景観計画の区域

(担当窓口: 八王子市まちなみ整備部まちなみ景観課)

景観形成方針

- <テーマ2>八王子城跡の歴史的資源を保全・活用した景観づくり
- ○八王子城跡は、その歴史的環境を維持保全するとともに、地域のシンボルとして、 周辺の自然景観と一体となった風格ある景観を形成する。また、視点場の環境を 整えること等により、市街地への眺望が楽しめ、市民に親しまれる景観資源とし ての活用を図る。
- ○八王子城跡周辺は、梅林や紅葉が楽しめる季節感豊かな環境を活かし、八王子城 跡へのアプローチを演出すること等により、市民に親しまれる景観を形成する。







(『八王子市景観計画』(平成23年) p.23・56・85より抜粋、一部改変)

◆史跡周辺の土砂災害警戒区域

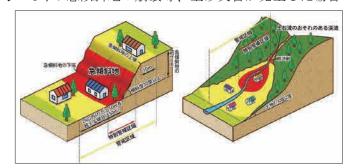
(担当窓口:八王子市生活安全部防災課)

土砂災害警戒区域(イエローゾーン): 急傾斜地の崩壊等、土砂災害が発生した場合に、 住民等の生命または身体に危害が生じるおそれのある区域。

土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン): 急傾斜地の崩壊等、土砂災害が発生した場合

に、建築物に損壊が生じ、 住民等の生命または身体 に著しい危害が生じるお それのある区域。

(八王子市防災課発行の 『土砂災害に備えて』より)



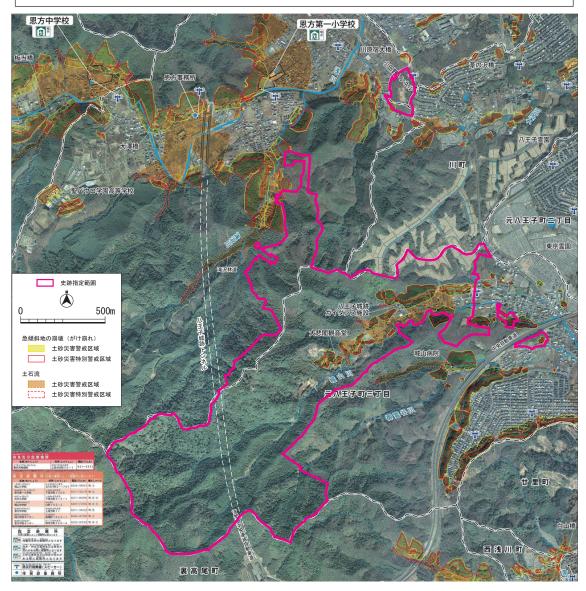


図6 土砂災害警戒区域の範囲 (八王子市土砂災害ハザードマップ:下恩方町より作成)

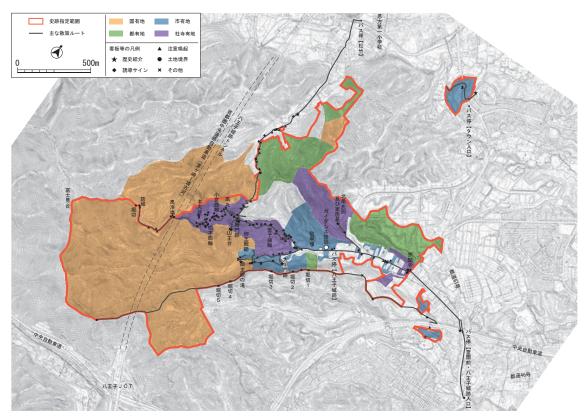


図7 史跡指定地の土地所有状況(八王子市公共測量地図より作成)

以上のように八王子城跡には、様々な価値や多様な資源が認められており、各種の法令等が重複していることから、関連部署間での情報共有、連携、協力が欠かせない。日常の維持管理に加え、史跡の価値を顕在化させるための整備や既存施設等の再整備、利用者の安全確保のための整備、自然環境や景観を維持向上させるための整備など、八王子城跡に求められている整備内容も多岐にわたっている。こうした課題を庁内で共有し、それぞれの専門部署が互いに協力しながら、八王子城跡の価値を守り、継承していく必要がある。

第2章 史跡の現状

八王子城跡の自然・歴史・社会的環境については、平成27年2月策定の『保存管理計画書』 p. 10~77に詳しく整理されているため、本書では、概要を簡潔に述べるに留める。

1. 位置

八王子城跡は、東京都の西南、都心から約 40km 圏内の八王子市内、関東山地の東端部 に位置する中世の山城跡である。

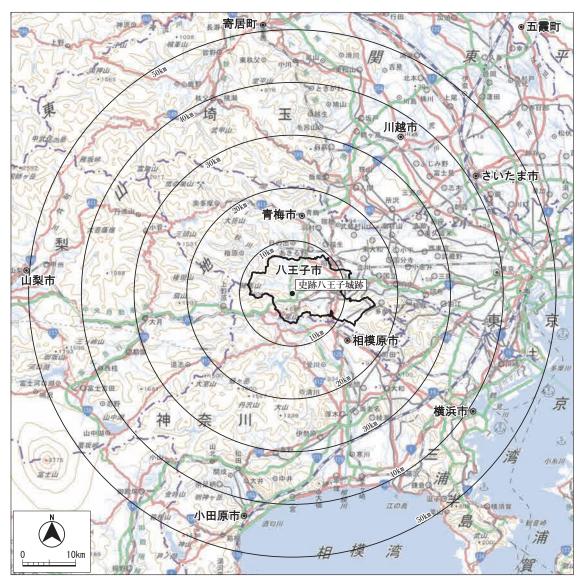


図8 史跡位置図 (国土地理院標準地図 20万分の1より作成)

2. 自然的環境

八王子城跡は、山々が連なる関東山地と丘陵地が接する境界部に位置し、地形の高低差 や構造を利用して築かれている。本丸跡は、標高約 460m の城山に位置しており、この城 山を中心に城域が広がっている。八王子城跡の周囲には、城山川、滝ノ沢川、御霊谷川な どの河川が流れ、地形の高低差と合わせて、周囲と分断された城域空間を形成している。

八王子市は、中央高地式気候に属し、周囲を山地に囲まれた盆地の気候となっている。 冬は気温が氷点下になることがあり、積雪を記録することもある。八王子城跡の近くに 設置されている「高尾山口雨量観測所」のデータによると、平成28年の年間降水量は 1780.5mmで、夏に降水量が多くなる太平洋側気候の特徴も有している。

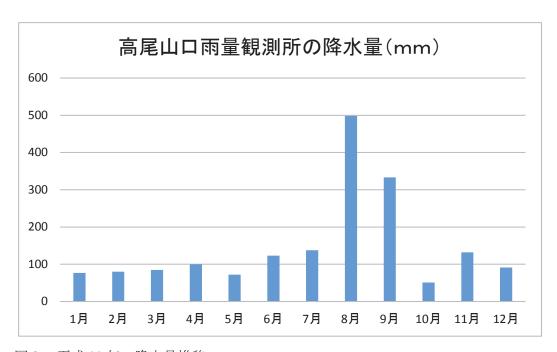


図9 平成28年の降水量推移

八王子城跡とその周辺は、豊かな自然環境が良好に保全されており、特に城山山頂から 南西部にかけては、ほとんど人の手が加えられていない自然林が残されている。史跡周辺 の植生は、城山の南西部に位置する詰城周辺には、カシ類やモミなどの常緑樹を主体とし た自然林、本丸跡がある城山や金子曲輪などの南側斜面には、コナラなどの落葉広葉樹の 二次林が広がり、その他の範囲にはスギやヒノキなどの植林地が広がっている。

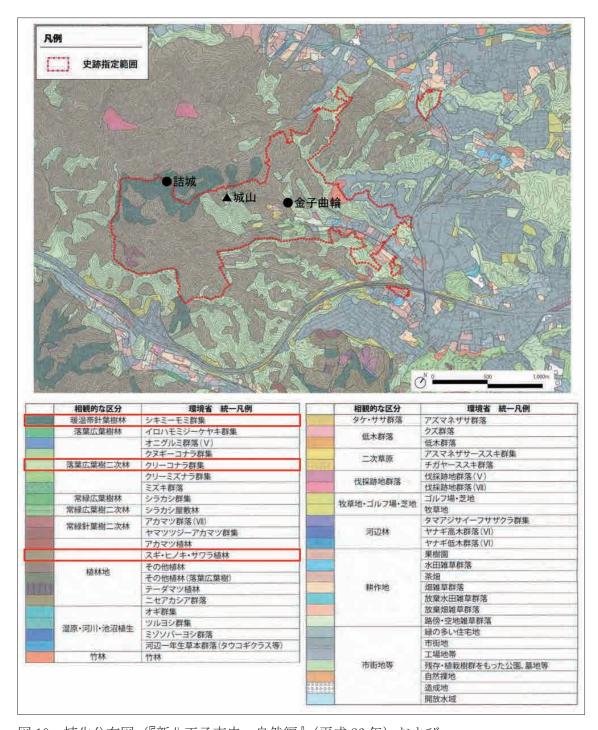


図 10 植生分布図(『新八王子市史 自然編』(平成 26 年)および 『国指定史跡 八王子城跡 保存管理計画書』(平成 27 年)p. 14 より)

3. 歴史的環境

(原始~古代~中世~の概要)

現在の八王子市の市域内では、古くから人が生活していた痕跡が数多く見つかっており、 最も古い松木にある遺跡では3万2千年前の地層から石器が発見されている。

以後、市内各所から各時代の遺跡等が発見されているが、4,500年前の縄文時代中期になると本市全域の丘陵地等に相当の規模を持つ集落があったことが知られている。

また、古墳時代の4~5世紀頃には、船田、中田、椚田等の小河川沿いに大集落が形成 されたことが確認されている。

平安時代には、武蔵国分寺の瓦等を焼いた窯跡が鑓水、宇津貫、谷野の谷戸に見られ、 また由井牧、石川牧等の勅旨牧では都へ上納される馬が生産されていた。また多摩丘陵の 開発も進められ、平安末期には摂関家領の船木田荘という荘園が置かれた。

鎌倉時代には、武蔵七党の横山党の発展が著しく、源頼朝の鎌倉幕府創設にも大きく貢献している。その後、横山党は建暦3年(1213)の和田義盛の乱に連座して滅亡し、横山党の旧領は鎌倉幕府の有力御家人の大江広元に与えられ、その後、広元の子孫である長井氏に伝えられていった。

室町時代になると、関東管領山内上杉氏に仕えて武蔵守護代を務めた大石氏が長井氏滅 亡後にこの地に進出した。『大石系図』によれば長禄2年(1458)には大石顕重が高月城 を築いて支配を進め、63年後の大永元年(1521)には大石定重が本拠を滝山城に移した という。この頃、滝山城下に八幡、八日市、横山の三宿が成立した。一方、その頃から武 蔵に進出してきた北条氏は、関東管領山内上杉氏や扇谷上杉氏と覇権を争ったが、天文 15年(1546)の河越合戦で北条氏康が勝利すると、上杉氏の配下にあった大石氏は北条 氏に服属した。そして大石氏の当主綱周は、氏康の三男氏照を養子に迎え、家督を譲って 隠居した。こうして大石領を継承して滝山城に入城した氏照は、永禄4年(1561)に青梅 の三田氏を滅ぼして支配領域を拡大、同12年(1569)の武田信玄・勝頼父子との滝山城 攻防戦を経て、天正10年(1582)頃から、新たに八王子城を築き始め、やがて居城をそ こに移した。氏照は、この城内の土地に伝わる牛頭天王「八王子権現」を守護神として祀 り、このことから城名、城下および、城主の勢力のおよぶ範囲を「八王子」と呼ぶように なったといわれる。しかし、天正18年(1590)6月23日豊臣秀吉の命を受けた前田利家、 上杉景勝両軍の猛攻を受け、八王子城は落城した。この戦の後、同年7月5日小田原の本 城は降伏し、同月11日には氏政、氏照が自刃し、当主氏直が高野山に配流となり戦国大 名北条氏は滅亡した。

表1 落城後の変遷

	年代	主な出来事
安	天正 18 (1590) 年 6月23日	八王子城が落城する。
安土桃	天正 19(1591)年	牛頭山宗関寺(天正 7 (1579) 年建立)のあとに、達翁(四世)和尚
山山		が朝遊山宗関寺を再建する。
	文禄 2(1593)年頃~	城下の移転が始まる。 水戸藩家老中山備中守信治等藩士によって、北条陸奥守氏照の百回忌
	元禄 2(1689)年 7月 11 日	法要を行ない、合せて梵鐘を鋳造し鐘楼堂を建立、宗関寺観音堂裏に
	7,11,4	墓石を建立する。 勢州今泉の人、鉄山無心(児玉氏が出家)が、八王子権現を再建(天
江戸	元禄年中	正 6 (1578) 年、氏照が建立したというもの)その後、再び焼失し、
_	(1688~1703)	現在のものは幕末再建という。
	弘化3 (1846) 年	徳川幕府の代官江川太郎左衛門英龍が八王子地方に植林事業を実施、 この時、城下郭部分に林道を開通、著しく遺構を破壊したと伝えられ
	~嘉永 5(1852)年	る。
明	明治 25(1891)年	宗関寺が現在の地に移転される。この頃、西川家屋敷の西に築かれていた桝形がとりこわされる。
治	明治 38(1904)年頃	日露戦争に関連して、城山の御林を伐り出す必要が生じ、城山登山口
		の道が開かれた。
大	大正時代 (1912~1926)	染谷幸三郎の尽力で、現在の宗関寺以西の道(幅2間360cm)が開かれる。
一左	大正 8 (1919) 年秋	氏照の弟氏規の末裔である北条氏恭により、松木曲輪に八王子城趾の
		一碑が建立される。 福善寺大悲閣が建立される。
	昭和初め	金子曲輪に関東大震災の慰霊塔が建立される。
	昭和8 (1933) 年	山王台に南無妙法蓮華経の供養塔が建立される。
	昭和 25(1950)年頃	村の青年団等により、金子曲輪の東側斜面に梅林が植栽される。 人王子城址キャンプ場が開設される。この頃宗関寺以西の道路が拡張
	昭和 31(1956)年頃	される。
	177.ft 22 (1050) /5	武蔵野郷土館が根津美術館の奥田直栄氏に依頼して、山頂の八王子神
	昭和 33(1958)年	社社殿前の石段下の発掘調査を行い、明の染付や瀬戸の天目、茶臼、 鉛の銃丸等が発掘される。
	昭和 37(1942)年~	中央自動車道の工事が開始され、昭和 42 (1967) 年 12 月に調布-八
		王子間、昭和 43 (1968) 年 12 月に八王子-相模湖間が開通した。 割烹梅幸建設のため福善寺南上の平場を約 3,000 ㎡、深 80cm にわた
	昭和 40 (1965) 年 5 月	り造成。調度品金具、ものさしの炭化片等が発見され(市郷土資料館
昭	昭和 40(1965)年	及び元八王子中学校に保管)、その後、工事は中止となった。 東京造形大学運動場を造成中に、曲輪遺構が発掘されるが平場等は消
和	11月	失した。 失した。
	177.5p. 41. (100.c) /5. F. F.	東京営林署国有林伐採のため道路拡張、御主殿跡下の橋基礎石垣等を
	昭和 41 (1966) 年 5 月	破損。この後、①天守閣跡、②駒冷し跡、③千畳敷跡、の石柱標識塔 を立てる。
	昭和 43 (1968) 年 3 月	都立八王子霊園についての伺書により地元の意見を諮問される。4月
	昭和 43(1968)年	以降工事に着手した。 東京造形大学増築工事が始まる。
	昭和 46 (1971) 年 3 月	八王子城址キャンプ場が地主に払い下げられる。
	昭和 46(1971)年 8 月	宗教法人が寺院及び墓地を建設するため北の新田と呼ばれている平場約 2,000 ㎡を造成、工事中止等の経緯があり、昭和 49 (1974) 年
	昭和 40 (1971) 平 6 万	度に東京都が買収した。
	昭和 49(1974)年	東京造形大学第3次増築工事の申請に対し、昭和51(1976)年、市
	12 月	教育委員会が事前に発掘調査を実施した。その結果、戦国期の遺構が 確認されなかったことから、4号館が建築される。
,,,	平成 15 (2003) 年	圏央道八王子城跡トンネル掘削工事が始まり、平成 19 (2007) 年 6
平成	11月~	月に工事が完了し、中央自動車道と接続した。 東京造形大学 4 号館跡地に八王子城跡ガイダンス施設建設が始まり、
, A.	平成 23(2012)年	平成 24 (2013) 年 10月 20日に開館する。

区 ③霊園地区 電園として造成される) }									都立八王子霊	6		こと、保全の精神で	クリエーション等、											fの整備、②太鼓 えがめの周辺と金 f、⑤博物館の建 新、③は田野地	●主殿側斜面に ・の充実、 ④曳橋 ・アンダ曲輪~要 視認できるよう ・額所、 四阿、 ベ				元 、古道への導入、 護に配慮して実施
⑧山林地区 山城の城郭 構治	Ð ±												りまま保存 1保存する 1時保存、	では参圧、フ											跡とアンダ田輪群の整備 、③要害地区の本丸跡の所 根小層地区の整備、⑤挿 ②太鼓田輪の田輪群、③/					石張階段の積み直し復元 ため、入口広場の開設、古道へ ため ため枝打ち等を自然保護に配慮
①揭手口地 区 虎口、土塁					※一部、指所著外								.35) Cの現況を 重、沢等) これを禁止	1、自然の観察お。 、ての活用を図る											既 権 ④ 、区	曳橋、虎口、石垣など)、②古道や曲輪跡トの解説、史跡全体模型の展示、誘導サイエ要な曲輪において門跡や通路跡の復元、斜面に並立する曲輪については、並ぶ様子置、③来訪者のための便益施設(トイレ、				、虎口石張階段(を図るため、入) を図るため、入) め、間伐や枝打・
⑥大手口地区(御霊谷地区)防御上の施設													◆整備保存の原則(p 典型的な山城として ・諸遺構(邸跡、古道・観光的開発行為はこく	・但し、歴史の学習、 都民の憩いの場とし				追加指定	追加指定後の確認調本				追加指定前の 確認調査	追加指定	◆事業計画(p. 74~) ・短期事業節囲(D. 74~) ・短期事業節囲: ①居館地区の御主殿 田輪の一部曲輪と曳橋橋台部分の整備 子丸や詰城などの一部曲輪の整備、④ 設 ・長期目標: ①要害地区の腰曲輪群、 区の整備、④御靄谷地区や搦手口地区	(曳橋、虎口ートの解説、 の主要な曲輪に斜面に並立 の主要な曲輪に斜面に並立				◆環境整備工事 (p. 63~) ・御主殿虎口の門礎石や建物礎石などを復元、虎口石引 ・大手門跡から御主殿に至る通路形態の復旧を図るたと 御主殿虎口に至るための曳橋の架設 ・山城としての見渡すような視界の確保のため、間伐・ ・北条氏照墓周辺の整備工事
⑤伝小田野 屋敷跡地区 氏照家臣の 居敷い	± 22 × 20 1.												(2) (2) (2) (3) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	* ₩							追加指定前 の確認調査	追加指定			◆ 事業計画 ・ 短期事業 (田 輪の 一部組 イカウ詰城が 設 ・ 長期目標 区の整備、(のルートの復 ③遺跡案内や、要害地区ない女曲輪のよ				工事 (p. 63~) 口の門礎石や遠から御主殿に3 から御主殿に3 に至るための身 ての見渡すよう 墓周辺の整備1
(4) (4) (4) (4) (5) (5) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7									-	東京造形大学 の建設工事			◆基本理念(p. 33) ①歴史教材として、(観光資料として、2 7 素を生かし、後世の、 その教育的意味を伝え		造形大学構内 9 參指調本	市街化区域 田 B A 路智 監本	定の確認制度の関係を表現しません。	の電影調車の			,,, 0	78			、買収で対応 *記念事業の1つとして ての現況を極力保護・	ら御主殿入口まめの芝張りなど、 めの芝張りなど、 や仕活遺構の復 として整備、③ 改智、国路后沿		管理棟、トイ レの整備		
③太鼓曲輪地 区 大鼓曲輪、大 半門路。 七道														新架											申請に対しては こあたること -	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)		大手門跡、古 道の整備		22~) 事業範囲に分け、各3~5年程 業を推し進めた 川の対岸に川沿いに登る古道跡 本丸跡等山頂中心曲輪跡
②居館地区 御主殿、アシ ダ曲輪 电橋				福善寺大悲閣 の建立				1	福善寺南上の 平場の造成				<u>1</u> 点 に認と、境界標の で が林の保存 にされていない	(事対策、身体障 主等の問題											で で で で で で で で で で で で で が が が が が が が が が が が が が	1~) 1~) 8輯 (STEP I 8報と除草、 5設と兼ねる 5程 (STEP II フンダ曲輪 ウエッタ曲輪	御主殿虎口等 の試掘	見橋、虎口の 整備。 開出	御王殿内部の発掘調査	所 (p. を (p. を (p. を を を は が に が は は は は は は は は は は は は は は は は
①要害地区 本九、詰城、 金子申監	‡ 1						八王子神社石 段下の試掘						◆史跡整備の問題 ・指定地境界の研 ・指定地内の民等 ・遺構の整備と ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・夜間管理、山への配慮、谱				休憩施設用地	の試掘	休憩施設用地 の試掘					◆基本構想策定に ・根小屋地区に表 ・1990年は、//3 の史跡整備 ◆整備方針(p. 5 ・昭和60年度の基 保存することを育	◆事業計画(n.5 ・ 短期整備事業追 ※ 超力を樹木の付 の架段(管理用抗 ・ 短期整備事業追 市地区、領土服へ で最間を、 で表現整備事業追 市地区、領土服へ な景観を確保、 な景観を確保、 ない、	平成4年:	園遺構を検出		◆整備計画の概要 ・短期整備範囲を 度を目安に順次整 (①期: 御主殿跡、 入口広場 (②期: アンダ曲輸 (③角): 金子曲輸
史跡全体	八王子城落城	植林事業、林道の開設城山登山口の	這が漸がれる	八王子城山保 器今の設立	国史跡に指定	八王子城址 キャンプ場の 問記							第1次 保存管理計画					治力指	大田 弘明			追加指定		追加指定	(第1次)保存整備基本構想	(第1次)環境 整備基本計画	H H	産 案内板、説明 板等の整備		(第1次) 環境整備事業 報告書
八王子の歴史			八王子市誕生					中央自動車道 (調布-八王子- 相模湖)建設			「関東ふれあい の道」の設定	「八王子市長期 総合計画」策定						「八王子市基本	策定									- 八 1 1 1 7 1 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
	天正18年 (1590)	弘化3年頃 (1846頃) 明治38年頃	(1904境) 大正6年 (1917)	昭和初め頃 昭和5年頃 (1930頃)	昭和26年 (1951)	昭和31年頃 (1956頃)	昭和33年 (1958)	3年		昭和40, 43, 50年 昭和43年	l	昭和48年12 月			昭和51年 (1976)	昭和52年(1977)	(1977) 旧音和53, 54, 57, 58, 60,			昭和55年 (1980)	昭和54-55年 (1979-1980)	昭和58年 (1983)	昭和59年 (1984)	昭和61年 (1986)	昭和62年 (1987)	昭和63年(1988)	昭和61-63年 (1986-1988)	半成元年 (1989) 平成元年度 →3年度	平成2-5年 (1990-1993)	平成4年 (1992)

表3 国史跡としての歩み②:調査~計画策定~整備活用の経過

			(1) 要害地区	②医館地区	③太鼓曲輪地	4)根小屋地区		⑥大手口地区	②搦手口地	3	凶难国掌(6)
	八王子の歴史	史跡全体		1 1	_	1		(御鵬谷地区)	X		_
$\overline{/}$			金子田輪	ゆエ級、 グ曲輪、曳橋	ん数 では では、 では、 では、 では、 では、 では、 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。		た	防御上の施設	虎口、土塁	本語	現るため
平成4-/年 (1992-1995)						東京造形大字 の解体工事					
平成14年度		第2次	◆はじめに ・本計画の主目的 「社会動向に治っ ◆計画の実施時期	◆はじめに ・本計画の主目的は「住民の生活課題の解決」 「社会動向に沿った保存活用」 ◆計画の実施時期	:題の解決」	◆計画策定の基本的な考え方 ①次世代への史跡保存と活用 ③地域内及び広域的な史跡ネ ・露出遺機の保存管理・石店	x的な考え方、現 が保存と活用、② 数的な史跡ネット ぎ質理:石垣等の	現状変更取扱基準(②史跡を活かした地で)との一人の一人の推進、例の前後に関して、修りの指数に関して、修りの前級に関して、修	(p. 18~) 地域づくり、 ④計画的な情報 %復に闘する基	発信本方針を定め、対	卯 が必要
		保存管理計画	・短期:ガイドア ・中~長期:御言 施設の建設、総名	ドランティアの育成 主殿跡内部の整備、 含的な学術調査ほか	ほか 遺物の展示	・防災計画:山火 安全対策としてオ ・八王子城跡の沿	(事への備えとして学跡地に駐車場5用:ガイダンス	・防災計画:山火事への備えとして消防水利の確保が課題、ハイキングルートの安全対策、 安全対策として大学跡地に駐車場を整備 ・八王子城跡の活用:ガイダンス施設と駐車場の整備は急務、将来的には資料館の建設も検	が課題、ハイ 機は急務、将	イキングルートの安全対策、交 将来的には資料館の建設も検討	全対策、交通 建設も検討
	「八王子ゆめお リプラン」策定										
(2003)	「八王子市都市 計画マスタープ ラン」策定										
年の	圏央道 (バエ子城跡トンネル)建設										
平成17年 (2005)		追加指定				造形大学跡地 の発掘調査					
平成18年度 (2006)	『日本100名 城』に八王子城 が認定される	(第2次) 保存整備基本 計画書	◆現状と課題(p ・平成18年度:フ ・平成18年 1105 ・平成18年 1105 (土) 連休中の三・整備の現状と ⁴ 汚実、必要以上の 近の整備が必要	◆現状と課題(p.14~) ・平成18年度:大学跡地に砂利敷の駐車場を整備 ◆来訪者意識アンケート調査(p.20~) ・平成18年「10月31日(火)」と「11月4日 (土)連休中の土曜日」に実施 ・整備の現状と今後への期待:バス路線等交通の 充実、必要以上の開発はいらない、案内板や散策 道の整備が必要	利敷の駐車場を整備 (p. 20~) 」と「11月4日 他 に、バス路線等交通のない、案内板や散策	◆新たな問題 (p. 29~) ・残存遺構が長年の自然の影響に より崩壊の危機に瀕している ・要害部などへの登山道の破損や 荒廃等の対策 ・良好に残る自然環境への保全対 策	新たな問題(D. 29~) 発存遺構が長年の自然の影響に り崩壊の危機に瀕している 要害部などへの登山道の破損や 廃等の対策 良好に残る自然環境への保全対 ボランティア活動等の受け入れ		◆短期的整備項目の検討と課題 ①普及活動と人材育成、②史跡水 ③安全な公開、④根小屋地区の2 ⑥その他(城山川の治水対策、山 等利用者への安全対策、観光バス ◆中長期的整備項目(p.92~) ①市民中心による活動への移行、 全対策、③計画的な調査、偽各科	(p. 66. (p. 66. (p. 66. (c) (c) (d) (d	→)の保護と公開、(飛地)活用、対策、ハイキング対策、高の総合的な安対資源との連携
平成20年 (2008)						造形大学跡地 の発掘調査					
平成20-26年 (2008-2014)			金子曲輪の調 査	御主殿、アツ ダ曲輪の調査							
平成21年度		ガイドボラン ティアの結成									
平成24年 10月~		休日バスの運 行開始		中风23年 庭園遺	ナル23年: 庭園遺構を検出						
	「八王子ビジョ ン2022」策定										
平成21年度 ~26年度				曳橋、虎口の 改修/御主殿 の遺構表示	古道の安全柵 等の整備	屋外模型、ガイダンス施設等の整備					
平成27年2月		第 3 次 保存管理計画	◆八王子城跡の6 ①八王子城跡の2 の保存管理に関7 関する課題、④/ ⑤法規制等に関7 くための体制等	◆八王子城跡の保護に関する課題 (p. 104~) ①八王子城跡の調査研究に関する課題、②八王子城跡 の保存管理に関する課題、③八王子城跡の整備活用に 関する課題、④八王子城跡の防災対策に関する課題、 ⑤法規制等に関する課題、⑥保存や活用を実現してい くための体制等に関する課題	(p. 104~) 果題、②ハ王子城跡 子城跡の整備活用に 対策に関する課題、 ら活用を実現してい	◆/(王子城跡の整備活用 ①要害地区の散策路と展 ②曳橋をはじめとするエ ③居館地区の魅力ある空 →地跡の学術調査とそ ④根小屋地区の史跡用地 ⑤登山や散策等を活かし	の整備活用(D.) 数を等る工作物である工作物である工作物の関連がある空間で、一般力ある空間で、一般が関連とその間でのでは、一般に関係を表現が、一般に関係を受ける。	◆八王子城跡の整備活用 (p. 120~) ①要害地区の散策路と展望の場としての整備活用 ②曳橋をはじめとする工作物、施設等の適切な管理と史跡内の散策路整備による回遊性向上 ③居館地区の魅力ある空間づくりによる歴史文化を体感するエリアとしての活用 →池跡の学術調査とその調査成異に基づく整備活用を優先的に進める (A根小屋地区の史跡用地の活用 / ⑥ガイダンス施設の活用 ⑤登山や散策等を活かした歴史・文化・自然を体感できるレクリエーションの場づくり	用 管理と史跡内 (作を体感する (情だ有を優先 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	の散策路整備によ エリアとしての活 的に進める 用 クリエーションの	る回遊性向上用
平成27年3月	「八王子市都市 計画マスタープ ラン」全面改定	(第2次) 整備活用事業 報告書	・平成18年度「保存整備基本 計画」の短期事業分を中心に、 総体的な保存整備工事を実施 ・平成20年度~平成26年度に かけて第二期整備を実施	案分を曲 を 等分を中心に、 第二事を実施 平成26年度に 着を実施	平成20年度 平成21年度 平成22年度 平成23年度 平成23年度 平成24年度	度:実施設計、古道転落防止/ 度:屋外地形模型、冠木門等 度:ガイダンス施設実施設計 度:ガイダンス施設建築、御: 度:ガイダンス施設建築、御: 度:ガイダンス施設建築、御 度:ガイダンス施設完成、御 度:御主殿跡未調査部分の発 度:御主殿跡後元的整備工事	「転落防止細設置(参 一元本門等の砂修、3 2実施設計、御主殿設 2建築、御主殿跡遺材 22度成、御主殿跡遺材 25度成、御主殿跡復 25度成、御主殿跡復 25度成、御主殿跡復 25度成、調重線	: 実施設計、古道転落防止柵設置(約4000万) : 屋外地形模型、冠木門等の改修、エントランス広場の整備(約5000万) : ガイダンス施設実施設計、御主殿跡遺構表示等展示基本設計、古道等の改修(約 : ガイダンス施設建築、御主殿跡遺構表示等展示実施設計、冊子等の印刷製本(約5 : ガイダンス施設建築、御主殿跡遺構表示等展示実施設計、冊子等の印刷製本(約5 : ガイダンス施設完成、御主殿跡復元的整備工事、説明板等の設置(約2億) : 御主殿跡未調査部分の発掘、調査結果を活かした整備工事の実施設計(約1500万) : 御主殿跡復元的整備工事(その2)(約2500万)	·場の整備(約 :示基本設計、 :抗設計、 冊子 :說明板等の設 :整備工事の実	5000万) 古道等の改修(米 等の印刷製本(米 置(約2億) 施設計(約1500万	(約1億) (約2億) 00万)
平成25年度 ~27年度			金子曲輪の調 査、 <mark>間伐</mark>	御主殿周辺の 調査、曳橋の 架替工事							
平成28年度			金子曲輪の調 査			宗関寺の南地 区の調査、管 理 <mark>棟の再整</mark> 備					
平成29年度 (2017)	『続・日本100 名城』に滝山城 が認定される			城山川の護岸 法面再整備、 曳橋基礎部の 緊急復旧工事							
	市制100周年				(第3次)保	3次)保存整備基本構想	- 基本計画	策定			

4. 社会的環境

(人口)

八王子城跡が所在する八王子市は、総面積が 186.38 km 、人口は平成 27 年の国勢調査では 577,513 人となり、平成 22 年の 580,053 人から減少に転じている。

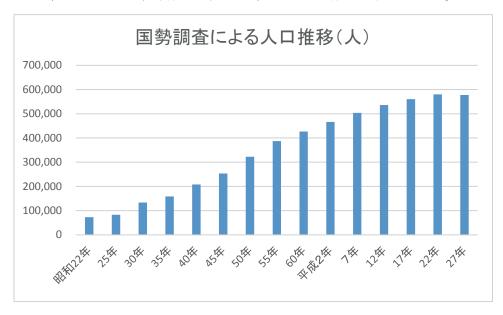


図11 八王子市の人口推移

(土地利用の変遷)

年代ごとの航空写真を比較すると、史跡指定範囲外の東側の土地開発の様子がよく分かるが、一方で、根小屋地区の地割は大きく変わっていないことが見て取れる。

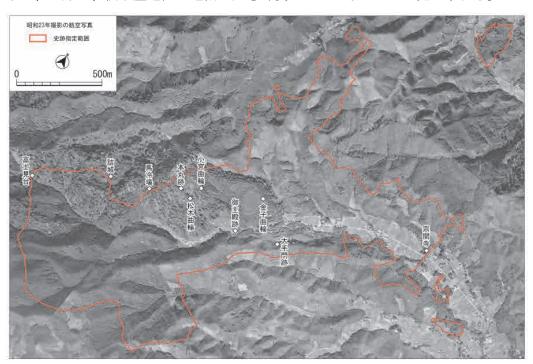


写真2 昭和23年の航空写真(米軍撮影)

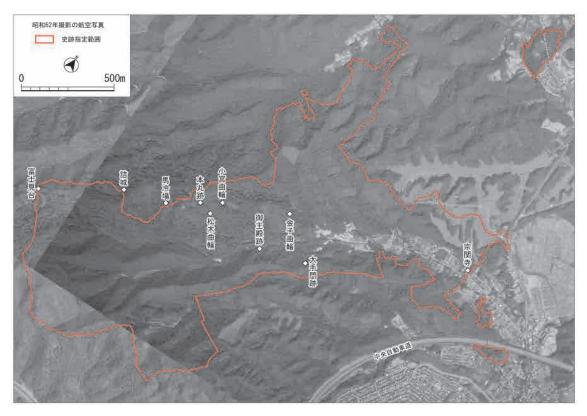


写真3 昭和62年の航空写真(国土地理院撮影)

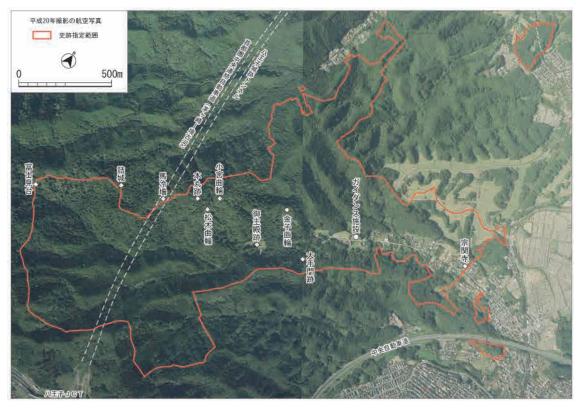


写真4 平成20年の航空写真(国土地理院撮影)

(ガイダンス施設の入館者数)

平成24年10月の八王子城跡ガイダンス施設の開設後、平成25年度から入館者数の自動集計を実施しているが、このデータの推移を見ると、入館者数は年々増加してきている。 月別に見ると、季節的に過ごしやすく、花見や紅葉といった動植物の観察に適した春と秋の来訪が多くなっている。また、曜日別に見ると、休日の土曜と日曜の来訪が多い。

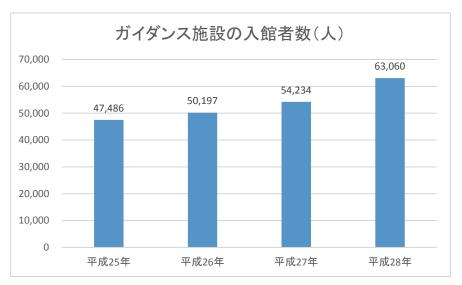


図12 ガイダンス施設の入館者数(年間推移)

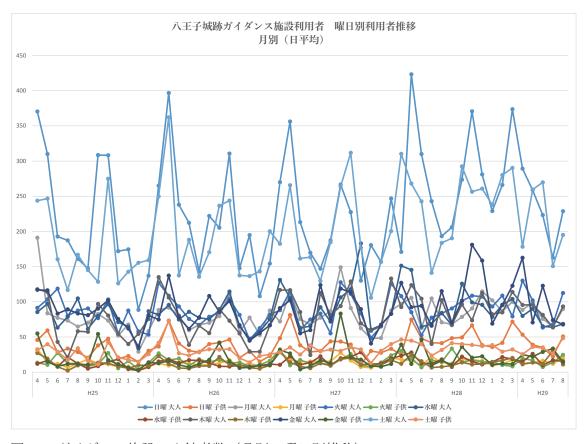


図13 ガイダンス施設の入館者数 (月別・曜日別推移)

第3章 史跡の概要および課題整理

1. 史跡指定の状況

指定名称:八王子城跡

所在地:東京都八王子市元八王子町三丁目・下恩方町・西寺方町

指定年月日:昭和26年(1951)6月9日

指定面積:1,598,692.27 ㎡ (平成17年7月14日現在)

八王子城跡の指定理由は、昭和26年6月9日付の諮問資料によると、以下のように説明されている。

北條氏照の居城で、氏照は滝山城からここに移り、天正 18 年豊臣氏の軍に攻められ、6 月 23 日落城した。主要部は城山とその麓に構えられ、東方を大手とし、北方を搦手としている。東麓城山川に沿う狭い谷状地には、左岸に館、アシダ蔵等の郭を設け、右岸に太鼓郭を置き、この両岸に架橋した跡がある。谷状地の出口付近から尾根に沿い、山上に向かって階段状に郭を設け、山頂部には本丸・松木郭・小宮郭等が鼎立状に布置され、さらに稜線を西じて駒冷場の堀切を経て、城の西端部と思われるところに郭がある。所々に改変の跡はあるが、堀・土塁・石垣等よく旧状をとどめていて、中世に於ける城郭の規模を知る上に重要な遺跡である。

この指定が告示されたのは、昭和 31 年 11 月 26 日付、官報第 8976 号による。その後、4回にわたり追加指定され、史跡の保護が図られてきた。

指定年月日	指定範囲	内容
昭和 54 年 11 月 26 日	八王子市元八王子町三丁目	東側隣接地での寺院造成計画に対応。
	八王子市下恩方司 八王子市西寺方町	伝小田野屋敷跡での都道上川口宮の前線建設計画に対応。 2次にわたる事前調査の結果、良好な遺構が検出されたので史跡に追加指定し、トンネル工法により遺構を現状保存。
昭和61年1月31日	八王子市元八王子町三丁目	御霊谷地区の住宅開発計画に対応。事前調査の結果、防御 遺構を確認し、周辺も原状をよくとどめていることから追 加指定。
平成 17 年 7月 14 日	八王子市元八王子町三丁目	指定地範囲内の官報に記載のない地番が追加指定。

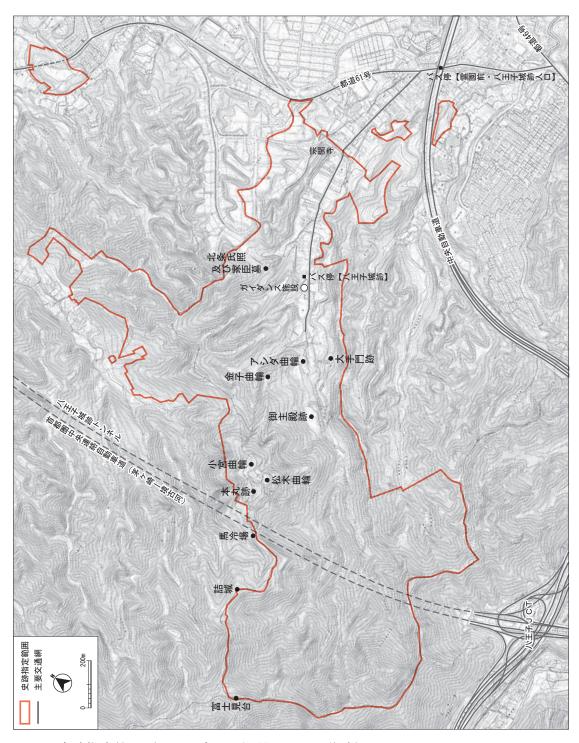


図 14 史跡指定範囲 (八王子市公共測量地図より作成)

2. 史跡の概要(史跡の本質的価値と構成要素)

八王子城跡は東京都の西郊、関東山地と丘陵地の境界に位置し、独立峰のようにそびえる標高 460m の城山とその山麓、および城山川に沿う谷戸部分という変化に富んだ地形を巧みに利用して築城された、中世の山城跡である。八王子城は、小田原に本拠をおいた北条氏の三代目当主、北条氏康の三男である氏照の晩年の居城で、天正 10 年(1582)頃、八王子城を築き始めたとされる。氏照は、この城内の土地に伝わる牛頭天王「八王子権現」を守護神として祀り、このことから城名や城下および、城主の勢力のおよぶ範囲を「八王子」と呼ぶようになったといわれる。

天正 18 年 (1590) 6 月 23 日、豊臣秀吉の関東制圧・小田原攻めの一環として、前田利家・上杉景勝らの軍勢によって猛攻を受け、八王子城は落城した。

(『国指定史跡 八王子城跡 保存管理計画書』(平成27年) p.6~を要約)

八王子城域は、城の構造上、[1] 要害地区、[2] 居館地区、[3] 根小屋地区、[4] 太鼓曲輪地区、[5] 御霊谷地区(大手口地区)の5つに分けられる。各曲輪の名称は後世の伝承名であり、慶安元年(1648)7月に描かれた「武州八王寺古城図(慶安古図)」において、かなり正確な縄張り図と曲輪名が記されている。

(『新八王子市史 通史編2 中世』(平成28年) p.489~を要約)

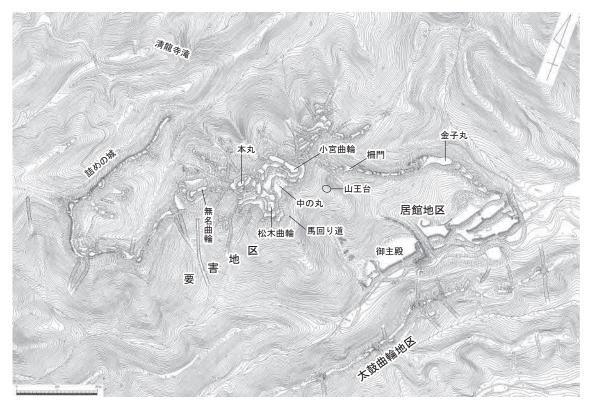


図 15 八王子城縄張図 (『東京都の中世城館』(平成 18 年) p. 54・55 の第 42 図を改変)

八王子城跡では、昭和 26 年の国史跡指定以降、各種試掘調査や確認調査、測量調査などを実施してきた。平成 20 年以降は、居館地区を中心に遺構確認調査を実施している。

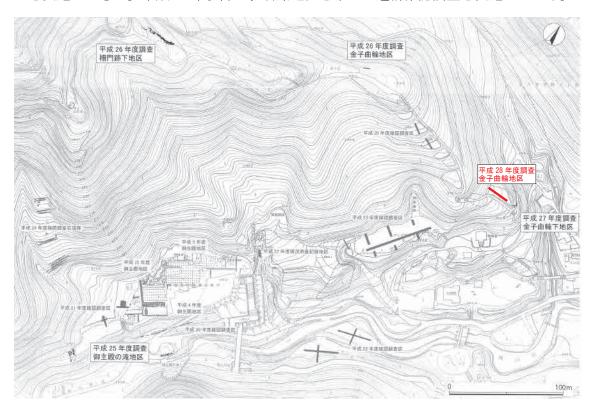


図 16 近年の発掘調査状況(『国史跡八王子城跡XIX』(平成 28 年) p. 3 に加筆)

これまでの史料調査や測量調査、発掘調査等を受け、史跡の本質的価値と構成要素について、平成27年2月策定の『保存管理計画書』にて詳細な検討を行った。以下に、その概要を整理する。

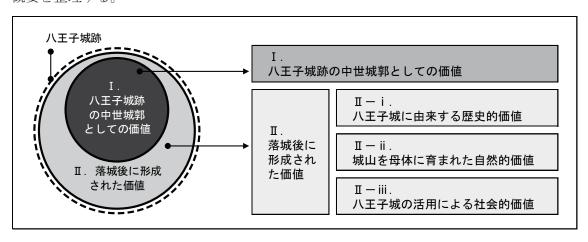


図17 八王子城跡の価値の分類

(『国指定史跡 八王子城跡 保存管理計画書』(平成27年) p.80をもとに作成)

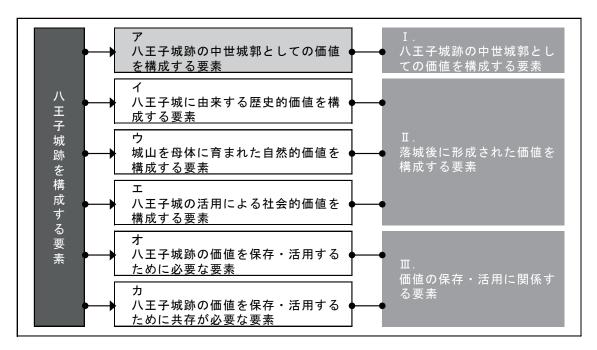


図 18 八王子城跡を構成する要素の分類

(『国指定史跡 八王子城跡 保存管理計画書』(平成27年) p.81をもとに作成)

八王子城跡の本質的価値は、上記の「I. 八王子城跡の中世城郭としての価値」にあたり、 具体的な構成要素としては、土塁、虎口、曲輪、堀(堀切)、井戸、石垣・石塁、地形の起伏、 河川・沢、八王子神社、八王子城跡の遠景、曲輪からの眺望などの地上に表出している要 素が挙げられる。また、発掘調査により判明した屋敷跡や庭園跡などの既知の地下遺構も、 中世城郭を語る上で欠かせない要素となっている。

八王子城が築城された中世後期は歴史的な過渡期にあたり、城の構造や意匠が変化する中にあった。八王子城はそのような時代背景の一時期に築かれた山城として、城郭の規模・構造や、堀や土塁、石垣等の城郭遺構が良好な状態をとどめている。また、そこから出土した陶磁器類やレースガラス等の遺物、主殿や会所等の建物跡や井戸跡、池泉を中心とする庭園跡等の遺構は、城主である氏照や往時の戦国武将の権威、生活・文化を物語るものとして、とても価値が高いものである。

また、半独立峰のように見える城山を中心に、そこから延びる谷戸の地形を活かして築かれた八王子城およびその周辺は、現在まで大きな開発が行われてこなかったことから、自然地形を活かして築かれる山城としての山容景観をよくとどめるとともに、曲輪等からはひらけた良好な眺望を楽しむことができる。

中世城郭としての価値に加え、本質的価値をより高める要素として、「Ⅱ. 落城後に形成された価値」があり、以下の3つに分類できる。

【Ⅱ - i. 八王子城に由来する歴史的価値】

八王子城落城後、豊臣軍による統治を経て、この地は徳川幕府の直轄領となった後も、 本丸があった城山やその麓の城下が位置する場所では人々の往来や生活が見られていた。

築城時、氏照が土地に伝わる牛頭天王「八王子権現」を守護神として祀った八王子神社は、落城後も静かに信仰を集めており、その歴史は今日まで続いている。また、氏照や戦死者を祀るため、氏照の法号を持つ宗関寺が再建され、氏照の死後百年忌には八王子城で戦死した家臣中山勘解由の子孫である水戸藩家老中山信治により供養塔が建立された。

一方、八王子城の城下であり、八王子城跡の登城口ともいえる中宿と呼ばれる地域には、 屋敷跡や石垣等、当時の道路跡の遺構が確認されている。

大正期に入ると、宗教的な要所でもあった八王子城跡のある城山は、山岳信仰の対象と して多くの人が訪れ、石碑が建立されるようになった。

このように、八王子城落城後も八王子城に由来する人々の信仰・活動が静かに行われて きており、これらを物語る歴史的資産は、先人たちが城主である北条氏照や八王子城の存 在を伝えるものとして、価値を有するものとなっている。

【Ⅱ - ii. 城山を母体に育まれた自然的価値】

八王子城落城後、徳川幕府の直轄領として民衆が立ち入ることができなくなったこの地は、時を重ねる中で城山を中心に豊かな自然が育まれた。

この豊かな自然は、周囲には見られない貴重な動植物が生息するものとして今日評価されており、優れた自然の風景地として都立高尾陣場自然公園にも指定されている。

また、第二次世界大戦後、急速に西洋化が進んだ日本は高度経済成長期により生活にゆとりが生まれると、これらの自然はレジャーの対象として脚光を浴びるようになった。これにより、ハイキングやバードウオッチングなどの自然観察やキャンプ地などとして観光の場としても多くの人に親しまれるようになった。このような林野は、保健休養機能の高い森林として保安林に指定されている。

【Ⅱ-iii. 八王子城の活用による社会的価値】

昭和26年に八王子城跡が史跡に指定されたのち、社会情勢の変化とともに、この地を 取り巻く環境も変わりつつある。近年では、史跡の保存とともに活用にも重点が置かれる ようになり、広く国民が親しむことのできる史跡整備が望まれている。

八王子城跡では、郷土学習の場として活用したり、講演会等を開催したりすることで、 地域住民や市民等の交流を促し、良好なまちづくり活動に繋がっている。

以上のように、八王子城跡には、歴史的価値・自然的価値・社会的価値といった様々な 側面があり、それらが一体となって、八王子城跡独特の価値を形づくっている。

表 4 八王子城跡を構成する要素一覧①

	要素の分類		名称	備考
			土塁	
			虎口	
			曲輪	
			堀(堀切)	
			井戸	
	I. / ア	•	石垣・石塁	地上に表出
		跡の中世城郭 	起伏	
	-	価値を構成す	河川・沢	
	る要素		八王子神社	
		-	八王子城跡の遠景	
			曲輪からの眺望	
l			既知の地下遺構	
· 스			(屋敷跡、建物跡、水路、井戸、庭園、	地下に埋蔵
王子			道路跡、堀跡など)	[tk- T *) → [m + k
城			検出されていない地下遺構	地下に埋蔵
跡			宗関寺	
を		Ⅱ — i . / イ	北条氏照及び家臣墓	東京都指定文化財
構			松木曲輪の記念碑	
成			西川信濃守伝屋敷跡の石垣	
する		+ + + + - + - + + + + + + + + + + + + +	山岳信仰を物語る記念碑	
要			古道	
素	П.		近世以降の地下遺構	ᄣᆓᄱᄺᅷ
	落城後に		(道路、建物跡など)	地下に埋蔵
	形成され		モミ林	
	た価値を	Ⅱ-ii./ ウ	巨木・古木	
	構成する 要素	城山を母体に育	草花	
	女术	まれた自然的価	動物	
		値を構成する要	森林	
		素	登山道(ハイキング等の健康・体	
		п ::: / -	力作り目的の利用)	
			"文化財見て歩き"等の指定地内 で実施される教育系イベント	
			ガイドボランティアによる交流	
		!	"日本 100 名城スタンプラリー"	
		素	等の広域連携による活用	

(『国指定史跡 八王子城跡 保存管理計画書』(平成27年) p. 102をもとに作成)

表 5 八王子城跡を構成する要素一覧②

要素の分類		名称	備考
Ⅲ.値をでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 の	オ 八王子城跡の価 値を保存・活用 するために必要素	登山道 管理用通路 便益施設 災害対策用工作物 (火災、その他自然災害など)	道作類 併曳トン場消土ネ防 (大力) (大力) (大力) (大力) (大力) (大力) (大力) (大力)
	八王子城跡の価	住宅 農地	
	値を保存・活用	人王子霊園	
	するために共存		
	が必要な要素	福善寺	

(『国指定史跡 八王子城跡 保存管理計画書』(平成27年) p. 103をもとに作成)

表 6 八王子城跡の価値を保存・活用するために実施しているソフト事業一覧

実施場所内容	八王子城跡/ガイダンス施設	その他
(1) イベント	①文化財見て歩き ②子ども手作り甲冑教室 ③大人向け甲冑教室 ④体験楽習フェスティバル	
(2)展示・公開	①八王子城跡ガイダンス施設 ②遺跡見学会	③郷土資料館 ④埋蔵文化財整理室
(3) 講座・講演会	①北条氏照まつり関連講演会 ②NPO主催講演会	③出前講座 ④歴史講演会 ⑤郷土資料館ボランティアに よる紙芝居上演
(4) PR	①パンフレットの作成・配布②うじてるくん	③市ホームページ④各種ガイドブックへの掲載
(5) その他	①ガイドボランティア ②職員対象研修 ③取材協力等	④職員対象研修 ⑤図書刊行 ⑥『新八王子市史』刊行

※ゴシック体 の事業は、教育委員会で実施しているもの。

斜体 の事業は、教育委員会以外が実施しているもの (NPO、市長部局など)。

丸ゴシック体 の事業は、過去に実施したことのあるもの。



写真5 文化財見て歩きの実施状況

3. 史跡の公開活用のための諸条件の把握

(1) 来訪者アンケート調査

本計画の策定事業に合わせて、八王子城跡を訪れる来訪者に、対面記入式のアンケート調査を実施した。調査の目的は、現在の八王子城跡の利用状況を把握し、史跡に対する認識や要望を抽出することで、より効果的な保存・整備・活用の実施に向けた基礎データを得ることである。

史跡におけるアンケート調査の実施例は全国でも少ないが、八王子城跡では、平成 19年 3月の『国指定史跡 八王子城跡保存整備基本計画書』の中で、「国史跡八王子城跡活用実態調査-来訪者意識アンケート調査-」について報告している。

約10年前の調査データとの比較分析も可能であるので、今回の調査では、可能なかぎ り平成18年実施のアンケート調査と同じ条件、質問項目を設定した。本項では、アンケート調査の概要を述べるに留め、詳細な調査結果については、巻末の参考資料に掲載する こととした。

(1) -1. アンケート調査の実施

①調査場所

· 八王子城跡 管理棟前 入口広場



図 19 アンケート調査位置図 (八王子市教育委員会発行「散策マップ」をもとに作成)

②調査対象

・全ての来訪者

③調査期間

休日(日曜日)と平日(水曜日)の2日セットの調査を、四季に分けて、合計8日間の調査を実施した。調査時間は、日中の12時間(午前6時00分~午後6時00分頃)を基本としたが、冬季は日照時間が短いため、日の出から日没(午前6時30分~午後4時30分頃)までを対象とした。

(1) -2. 来訪者数と回答数の概要

H. 28(冬)	入口広場 通過人数	回答数
休日	約 333 人	196 人
12月4日	(目視でき	総数の 59%
(日)	た人数)	男 60%、女 40%
平日	約64人	43 人
12月7日	(目視でき	総数の 67%
(水)	た人数)	男 79%、女 21%

H. 29(秋)	入口広場 通過人数	回答数
休日	約376人	277 人
11月5日	(目視でき	総数の 74%
(日)	た人数)	男 58%、女 42%
平日	約99人	55 人
11月1日	(目視でき	総数の 56%
(水)	た人数)	男 62%、女 38%

H. 29(春)	入口広場 通過人数	回答数
休日	約 327 人	210 人
5月21日	(目視でき	総数の 64%
(日)	た人数)	男 67%、女 32%
平日	約 115 人	66 人
5月24日	(目視でき	総数の 57%
(水)	た人数)	男 59%、女 39%

※過去調査の参考アータ	※调	去調査の参考デー	タ
-------------	----	----------	---

H. 29(夏)	入口広場 通過人数	回答数
休日	約 210 人	127 人
8月6日	(目視でき	総数の 60%
(日)	た人数)	男 69%、女 31%
平日	約 48 人	17 人
8月2日	(目視でき	総数の 35%
(水)	た人数)	男 59%、女 41%

H. 18(秋)	来訪者 総数	回答数
週末	241 人	164 人
11月4日		総数の 68%
(土)		男 60%、女 40%
平日	158 人	118 人
10月31日		総数の 75%
(火)		男 59%、女 41%

(1) -3. 集計結果と季節別推移

①来訪の回数

	平成18年	平成28年	平成29年	平成29年	平成29年	平成18年	平成28年	平成29年	平成29年	平成29年
	11月4日	12月4日	5月21日	8月6日	11月5日	10月31日	12月7日	5月24日	8月2日	11月1日
	秋	冬	春	夏	秋	秋	冬	春	夏	秋
1. 初めて	61%	55%	56%	71%	62%	77%	47%	56%	76%	64%
2. 再訪	39%	39%	43%	29%	38%	23%	51%	44%	24%	36%
2~5	29%	24%	23%	13%	27%	18%	28%	30%	6%	22%
6~10	1%	5%	8%	6%	5%	6%	5%	6%	0%	5%
11~	8%	10%	12%	10%	6%	0%	19%	8%	18%	9%
計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%





・冬、春の調査では「初めて」の来訪者は50%前後、秋は60~70%であったが、夏の調

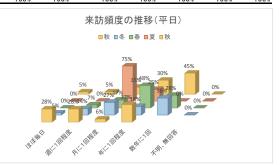
査では休日平日ともに70%を超えている。

→初めて来訪する機会として、子どもの夏休みは重要。(例えば親子歴史塾などの開催)

②来訪の頻度

	平成18年	平成28年	平成29年	平成29年	平成29年	平成18年	平成28年	平成29年	平成29年	平成29年
	11月4日	12月4日	5月21日	8月6日	11月5日	10月31日	12月7日	5月24日	8月2日	11月1日
	秋	冬	春	夏	秋	秋	冬	春	夏	秋
ほぼ毎日	27%	3%	0%	3%	1%	28%	5%	0%	0%	5%
週に1回程度	18%	12%	14%	11%	2%	28%	14%	7%	0%	5%
月に1回程度	32%	22%	20%	32%	17%	6%	27%	17%	75%	15%
年に1回程度	23%	29%	37%	22%	31%	37%	18%	48%	25%	30%
数年に1回		25%	29%	27%	49%		36%	28%	0%	45%
不明、無回答		9%	0%	5%	0%		0%	0%	0%	0%
計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%





- ・平成18年の調査では「ほぼ毎日」の来訪頻度が週末・平日ともに3割近く占めていたが、 今回の調査では5%未満となっている。
- →近隣居住者で日常的に利用している人ほど、来訪者が多い時期には訪れない傾向が考えられる。(近隣住民の混雑回避行動)

③来訪の目的

	平成18年 11月4日 秋	平成28年 12月4日 冬	平成29年 5月21日 春	平成29年 8月6日 夏	平成29年 11月5日 秋	平成18年 10月31日 秋	平成28年 12月7日 冬	平成29年 5月24日 春	平成29年 8月2日 夏	平成29年 11月1日 秋
史跡探訪	32%	42%	37%	49%	36%	31%	37%	38%	50%	35%
観光	10%	4%	6%	3%	8%	21%	13%	6%	0%	11%
自然観察	32%	33%	35%	13%	34%	14%	23%	34%	22%	31%
健康・体力作り	21%	14%	16%	17%	15%	30%	19%	13%	11%	12%
その他	5%	8%	6%	19%	6%	4%	8%	9%	17%	11%
計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%





- ・「史跡探訪」を目的に訪れる来訪者は平成18年度の調査よりも増加している。一方、「観光」目的の来訪は減少傾向にある。
- ・「自然観察」の週末来訪者は夏に半減する。八王子城跡の野鳥観察シーズン(ゴールデンウィーク明け)の「自然観察」目的の来訪者の比率は、更に高い割合となることが推測される。

- ・「健康・体力作り」を目的とした来訪者は平成18年の平日を除き、15%前後と平準化されている。
- ・その他には「登山」を目的とした来訪者が含まれており、夏の調査では20%近くの来訪者となっている。

④来訪の手段

	平成18年 11月4日 秋	平成28年 12月4日 冬	平成29年 5月21日 春	平成29年 8月6日 夏	平成29年 11月5日 秋	平成18年 10月31日 秋	平成28年 12月7日 冬	平成29年 5月24日 春	平成29年 8月2日 夏	平成29年 11月1日 秋
徒歩·公共交通機関	37%	51%	49%	55%	53%	38%	43%	37%	50%	47%
自転車・バイク	4%	3%	3%	1%	2%	8%	4%	8%	0%	2%
自家用車・レンタカー	47%	42%	41%	38%	43%	27%	47%	54%	50%	45%
タクシー・団体バス	12%	3%	2%	1%	1%	27%	2%	0%	0%	5%
その他、未回答		1%	3%	4%	2%		4%	1%	0%	2%
計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%





- ・平成18年度の調査では週末の来訪手段として「徒歩・公共交通機関」が37%であったが、 今回の調査では、どの季節とも50%前後を占めている。
- ・春と夏の平日では「自家用車」などを利用した来訪者が50%を占めている。
- →平日は近隣地域からの来訪者比率が高くなっていること、平日のバス運行の利便性に課題があることが要因と推察される。
- ・週末の来訪手段は「公共交通機関」等の利用が多く、平日では「自家用車」などの利用 が多くなる傾向は、各季節で共通している。

⑤ガイダンス施設の利用状況(※施設のオープンは、平成24年10月20日)

•	平成18年	平成28年	平成29年	平成29年	平成29年	平成18年	平成28年	平成29年	平成29年	平成29年
	11月4日	12月4日	5月21日	8月6日	11月5日	10月31日	12月7日	5月24日	8月2日	11月1日
	秋	冬	春	夏	秋	秋	冬	春	夏	秋
1. 入館した(予定含む)		66%	69%	63%	66%	/	67%	52%	82%	69%
2. 入館しない		34%	31%	36%	30%		23%	44%	18%	30%
不明、無回答		. 0%	0%	1%	4%		9%	5%	0%	2%
計		100%	100%	100%	100%		100%	100%	100%	100%





- ・冬・春・夏・秋の調査ともに、週末の来訪者の2/3がガイダンス施設を利用している。
- ・平日・夏の来訪者を見ると、子どもが夏休みの宿題で来訪していることから、ガイダン ス施設を多く利用していると推測される。
- →夏季のガイダンス施設は子供たちの興味を高める内容の展示とすることが望まれる。
- ・平日・春の来訪者の44%がガイダンス施設を利用しないと回答している。
- →自然観察・自然探訪を目的とした春の来訪者は、充分な情報を得て訪問をしていること から、一般的な展示内容には関心がわかないと推測される。

⑥歴史の認識度

	平成18年 11月4日 秋	平成28年 12月4日 冬	平成29年 5月21日 春	平成29年 8月6日 夏	平成29年 11月5日 秋	平成18年 10月31日 秋	平成28年 12月7日 冬	平成29年 5月24日 春	平成29年 8月2日 夏	平成29年 11月1日 秋
城主	49%	40%	37%	44%	37%	68%	49%	43%	35%	36%
築城~落城背景	27%	30%	36%	28%	32%	18%	39%	37%	48%	34%
知らない	23%	29%	26%	26%	30%	13%	11%	20%	17%	30%
不明、無回答	1%	1%	1%	1%	1%	1%	0%	0%	0%	0%
青十	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%



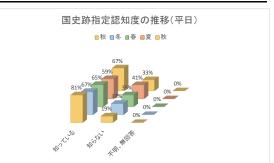


- ・平成 18 年調査に比べ平成 28 年調査では、「城主」に対する認識度が大きく下回っている。 →定期的に、八王子城の城主に係わるイベント、シンポジウムなどを行う事が望ましい。
- ・「築城~落城の背景」についての知識を持った来訪者が増加している。歴史に対する関心が人物だけではなく戦国期の時代背景など、より深い知識を求めている状況がうかがえる。
- ・週末の来訪者の30%弱が歴史の認識が少ない。これらの来訪者は豊かな自然環境に魅力を感じ来訪している人たちと考えられる。また、平日・秋の調査では紅葉や登山などを目的とした来訪者が多くなったことにより「知らない」と回答している来訪者が30%を占め、他の季節より多い値となっている。

⑦国史跡指定の認知度

	平成18年 11月4日	平成28年 12月4日	平成29年 5月21日	平成29年 8月6日	平成29年 11月5日	平成18年 10月31日	平成28年 12月7日	平成29年 5月24日	平成29年 8月2日	平成29年 11月1日
	秋	冬	春	夏	秋	秋	冬	春	夏	秋
知っている	63%	61%	70%	61%	65%	81%	67%	65%	59%	67%
知らない	36%	37%	30%	39%	34%	19%	33%	35%	41%	33%
不明、無回答	1%	2%	0%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	0%
計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%





- ・国史跡指定の認知度は平成18年度以降、全ての調査で2/3前後となっている。
- →定期的に、国史跡に係わるイベント、シンポジウムなどを行う事が望ましい。
- ⑧日本 100 名城の認知度 (※100 名城の選定は、平成 18 年 4 月 6 日)

	平成18年	平成28年	平成29年	平成29年	平成29年	平成18年	平成28年	平成29年	平成29年	平成29年
	11月4日	12月4日	5月21日	8月6日	11月5日	10月31日	12月7日	5月24日	8月2日	11月1日
	秋	冬	春	夏	秋	秋	冬	春	夏	
知っている	42%	61%	60%	62%	63%	64%	60%	55%	88%	64%
知らない	57%	38%	39%	38%	36%	36%	40%	45%	12%	36%
不明、無回答	1%	1%	0%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	0%
計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

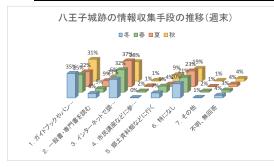




- ・国史跡指定の認知度に比べやや低いものの、日本 100 名城に対する認知度は 50%を超えている。
- ・平成 18 年度の調査では週末の来訪者の認知度が平日の来訪者の認知度を下回っていたが、今回の調査では全体的に認知度が高くなった。
- ・夏の平日では、歴史好きな子どもが多く含まれており、他の季節より「知っている」と の回答者が多いと推測される。
- ・春の平日では「知らない」との回答者が 45%で、野鳥観察などを目的とした来訪者の比率が増加したことによるものと推測される。

⑨八王子城跡の情報収集手段

-	平成18年	平成28年	平成29年	平成29年	平成29年	平成18年	平成28年	平成29年	平成29年	平成29年
	11月4日	12月4日	5月21日	8月6日	11月5日	10月31日	12月7日	5月24日	8月2日	11月1日
	秋	冬	春	夏	秋	秋	冬	春	夏	秋
1. ガイドブックやパンフレットを見る		35%	25%	22%	31%		37%	29%	38%	31%
2. 一般書・専門書を読む		6%	5%	9%	6%		8%	6%	13%	8%
3. インターネットで調べる		27%	32%	37%	28%		28%	35%	46%	23%
4. 市民講座などに参加する		0%	2%	1%	1%		5%	1%	0%	3%
5. 郷土資料館などに行く		7%	9%	4%	9%		11%	2%	0%	9%
6. 特になし		20%	21%	23%	19%		11%	17%	4%	20%
7. その他		1%	2%	1%	1%		0%	2%	0%	3%
不明、無回答		4%	3%	4%	4%		2%	6%	0%	3%
計		100%	100%	100%	100%		100%	100%	100%	100%





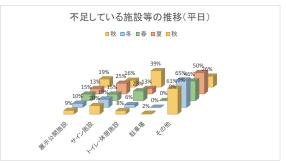
- ・情報収集手段としては「ガイドブックやパンフレットを見る」「インターネットで調べる」 がそれぞれ30%前後となっている。
- ・冬・秋の調査では「ガイドブックやパンフレットを見る」が最も多かったが、春・夏の 調査では「インターネットで調べる」が最も多く、「ガイドブックやパンフレットを見る」 を上回っている。
- →野鳥観察などの情報収集手段としては即時性の高いインターネット等を介した情報交流 サイトなどが重要な情報源となっていることが推測される。
- →野鳥などの飛来情報や開花情報、紅葉情報などの情報発信は、即時性の高い情報交流サイトの活用が有効。
- ・夏の調査では、歴史好きな子どもが多く含まれており、他の季節より「インターネット で調べる」との回答者が多いと推測される。

⑩不足していると思うもの

	平成18年 11月4日 秋	平成28年 12月4日 冬	平成29年 5月21日 春	平成29年 8月6日 夏	平成29年 11月5日 秋	平成18年 10月31日 秋	平成28年 12月7日 冬	平成29年 5月24日 春	平成29年 8月2日 夏	平成29年 11月1日 秋
展示公開施設	12%	15%	13%	23%	15%	9%	10%	15%	13%	19%
サイン施設	26%	21%	21%	23%	27%	20%	19%	15%	25%	16%
トイレ・休憩施設	9%	16%	12%	8%	13%	8%	6%	23%	13%	39%
駐車場	2%	2%	1%	2%	5%	2%	0%	0%	0%	0%
その他	51%	45%	53%	44%	40%	61%	65%	46%	50%	26%
計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

※平成28年調査以降分は、「その他」にマップなどの資料提供、交通アクセス等を集計し、無回答・不明、その他等を除き集計・算出した。



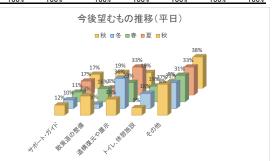


- ・「サイン施設」の不足を感じている来訪者が多い。
- ・平日の春・秋の調査では「トイレ・休憩施設」の不足が最も高くなっている。
- →登山ルートの途中(本丸周辺など)や、野鳥観察ポイント付近などに「トイレ」の整備 を検討する必要がある。但し、野鳥観察は季節的な行動であることから見学・散策など の利用状況も考慮し設置場所の検討を行う必要がある。
- ・各調査で「その他」との回答者は、現状への満足を感じ、過度な整備は控えるとの意見 が多く含まれている。

⑪今後望むもの

	平成18年 11月4日 秋	平成28年 12月4日 冬	平成29年 5月21日 春	平成29年 8月6日 夏	平成29年 11月5日 秋	平成18年 10月31日 秋	平成28年 12月7日 冬	平成29年 5月24日 春	平成29年 8月2日 夏	平成29年 11月1日 秋
サポート・ガイド	10%	14%	14%	19%	13%	12%	10%	11%	17%	17%
散策道の整備	21%	16%	18%	10%	18%	23%	5%	16%	8%	19%
遺構復元や展示	19%	24%	22%	30%	25%	19%	36%	23%	33%	19%
トイレ、休憩施設	16%	11%	11%	9%	16%	9%	18%	19%	8%	8%
その他	34%	35%	36%	31%	29%	37%	31%	31%	33%	38%
計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

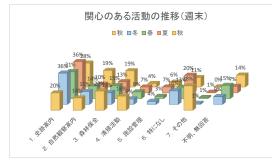


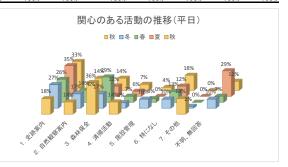


- ・夏の調査では「サポート・ガイド」の充実を望む意見が他の季節よりも多い。
- ・「遺構復元や展示」の充実は週末・平日来訪者ともに充実を望んでいる。
- ・「散策道の整備」は週末・平日ともに値としては高いが、冬・夏の調査は低い値となっている。
- →快適な「散策道の整備」を行う場合であっても自然環境に調和した整備を図る事が望まれる。
- 「その他」では、過度な現状改変に繋がる施設整備を控えることを望む意見が多かった。

⑫八王子城跡の保存整備活用に関する活動で関心があること

	平成18年	平成28年	平成29年	平成29年	平成29年	平成18年	平成28年	平成29年	平成29年	平成29年
	11月4日	12月4日	5月21日	8月6日	11月5日	10月31日	12月7日	5月24日	8月2日	11月1日
	秋	冬	春	夏	秋	秋	冬	春	夏	秋
1. 史跡案内	20%	36%	31%	36%	28%	18%	27%	26%	35%	33%
2. 自然観察案内	14%	15%	14%	10%	19%	14%	17%	14%	6%	14%
3. 森林保全	22%	13%	15%	13%	19%	36%	17%	29%	12%	14%
4. 清掃活動	16%	6%	8%	7%	4%	14%	6%	7%	6%	7%
5. 施設管理		4%	3%	7%	6%		10%	4%	0%	4%
6. 特になし		16%	13%	20%	11%		10%	13%	12%	18%
7. その他	28%	1%	1%	1%	0%	18%	2%	0%	0%	0%
不明、無回答		9%	15%	7%	14%		10%	7%	29%	11%
計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

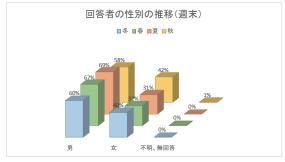




- ・週末の来訪者は「史跡案内」、平日の来訪者は「森林保全」と「史跡案内」の活動に関心が高い。
- ・平成18年の調査に比べ「史跡案内」への関心は大きく増加している。近年の歴史ブーム、 団塊世代の増加などが要因の一つと推測される。
- ・「森林保全」活動は、春の来訪者に関心が高い。
- ・「清掃活動」への関心は平成18年の調査に比べ半減している。

③回答者の性別



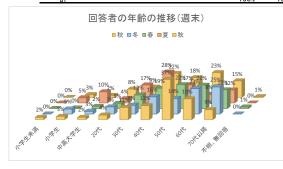


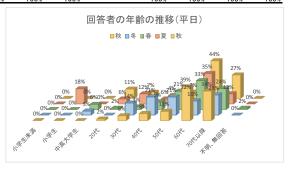


・男性の来訪者が6割強、女性の来訪者は4割弱で、冬・平日の調査のみ男性が大幅に上回っていた。

⑭回答者の年齢

	平成18年	平成28年	平成29年	平成29年	平成29年	平成18年	平成28年	平成29年	平成29年	平成29年
	11月4日	12月4日	5月21日	8月6日	11月5日	10月31日	12月7日	5月24日	8月2日	11月1日
	秋	冬	春	夏	秋	秋	冬	春	夏	秋
小学生未満	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
小学生	3%	5%	0%	5%	3%	0%	0%	0%	18%	0%
中高大学生	2%	3%	2%	10%	2%	0%	5%	6%	0%	0%
20代	4%	7%	5%	4%	8%	2%	0%	2%	6%	11%
30代	11%	8%	12%	17%	9%	6%	14%	3%	12%	7%
40代	13%	16%	19%	28%	22%	8%	21%	9%	6%	4%
50代	37%	14%	22%	17%	18%	11%	21%	21%	12%	7%
60代	19%	23%	21%	8%	23%	39%	16%	33%	35%	44%
70代以降	9%	25%	17%	12%	15%	34%	23%	24%	12%	27%
不明、無回答		0%	1%	0%	1%		0%	2%	0%	0%
計		100%	100%	100%	100%		100%	100%	100%	100%





- ・夏の調査では子どもが多く含まれており、付き添いの親世代も多いと推測される。(平 日の付き添いの親は、回答回避しているので値が低い。)
- ・アンケート回答者の年齢別では週末・平日ともに 60 代前後の年齢層が利用者のピークとなっている。

①回答者の職業

	平成18年	平成28年	平成29年	平成29年	平成29年	平成18年	平成28年	平成29年	平成29年	平成29年
	11月4日	12月4日	5月21日	8月6日	11月5日	10月31日	12月7日	5月24日	8月2日	11月1日
	秋	冬	春	夏	秋	秋	冬	春	夏	秋
農林漁業		0%	1%	0%	0%		0%	0%	0%	0%
自営業		2%	6%	9%	4%		2%	12%	6%	9%
会社員・サラリーマン		35%	47%	43%	43%		51%	17%	18%	13%
公務員		7%	4%	9%	3%		0%	0%	0%	2%
主婦		19%	17%	9%	23%	/	9%	26%	12%	22%
学生		8%	4%	16%	5%		5%	8%	24%	7%
その他		29%	19%	13%	20%		30%	35%	35%	45%
不明、無回答		. 1%	4%	1%	2%		2%	3%	6%	2%
計		100%	100%	100%	100%		100%	100%	100%	100%





- ・回答者の職業は、職業別人口と類似した結果となっている。
 - ※職業別人口比率 (平成 27 年イビソク推計値) 農林漁業 (1.6%) 自営業 (5.4%) 会社員・サラリーマン (40.8%) 公務員 (1.8%) 主婦 (7.6%) 学生 (13.3%) その他 (29.5%)
- ・夏の調査では、学生(小学生を含む)の来訪者は、職業別人口比 13.3%に対し、週末 16%、 平日 24%と高い値となっている。
- ・年金生活者を含む「その他」は週末の利用に比べ平日の利用が上回る傾向にある。

16回答者の居住地域(対人口比)

	平成18年 11月4日	平成28年 12月4日	平成29年 5月21日	平成29年 8月6日	平成29年 11月5日	平成18年 10月31日	平成28年 12月7日	平成29年 5月24日	平成29年 8月2日	平成29年 11月1日
	秋	冬	春	夏	秋	秋	冬	春	夏	秋
八王子市·当該地域				0.007930%		_		0.000035%		
八王子市・隣接地域		0.006690%	0.009262%	0.005146%	0.006175%	_	0.000036%	0.000016%	0.000000%	0.000028
八王子市・郊外地域	$\overline{}$			0.003696%				0.000056%		
東京都・多摩地域				0.000361%				0.000008%		
東京都・区部(西部)	$\overline{}$			0.000413%				0.000000%		
東京都・区部(中央部)		0.000239%	0.000318%	0.000239%	0.000239%		0.000002%	0.000001%	0.000002%	0.000000
東京都・区部(東部)		0.000067%	0.000872%	0.000168%	0.000469%		0.000000%	0.000001%	0.000000%	0.00000
他府県・隣接県		0.000297%	0.000227%	0.000175%	0.000332%		0.000001%	0.000000%	0.000001%	0.00000
他府県・関東		0.000115%	0.000069%	0.000046%	0.000145%		0.000001%	0.000000%	0.000000%	0.00000
<u></u>					-			_		_
居住地域別回答者の推移(週末)	■冬 ■	春 ■夏	■秋	0.000150%		者の推移(则 不 /	□ 冬	■春 ■	夏 ■秋
010000%			_	0.00010 0% 0.00005 0% 0.00000 0%						
The state of the s	E HAR BUT	*: 10 th		(挂孔桥)	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	STATE OF THE PARTY.	A CHARLES	AH MH M. M.	an in the same of	

・冬・秋の調査では居住地域が近いほど来訪者比率が高かったが、春・夏の調査では八王 子市内全体から来訪する傾向となっている。

⑪利用時間帯



- ・週末の季節的な変化は見られないが、平日はそれぞれの季節でピークが異なっている。
- ・春の平日は午前がピークで、野鳥観察などを目的に早朝から訪れる人が多いことが要因 と考えられる。
- ・夏の平日は午後(13~15時)の利用が多い結果となったが、天候不順(降雨)で利用者が少ない結果による異常値と考えられる。
- ・秋の平日は午前と昼前後が多く、登山ルートの出発点として訪れる人が多いことが要因 と考えられる。
- ・夕方(15 時~)の利用が冬・秋の調査に比べ春・夏の調査では増加している。日没時刻が遅くなったことによるものと考えられる。

(2) 既存サインの現況調査

平成28年12月実施の来訪者アンケートでは、八王子城跡に不足している機能としてサイン施設を挙げる来訪者が最も多かった。そこで平成29年3月に、史跡に関わるサイン施設の現地踏査を実施し、具体的にどのような場所で、どのような種類のサインが不足しているのか整理した。

サイン施設は大きく分けて5種類あり、似た内容のサインが複数設置されている所や、全く設置されていない所など、過不足が生じていることが明らかとなった。

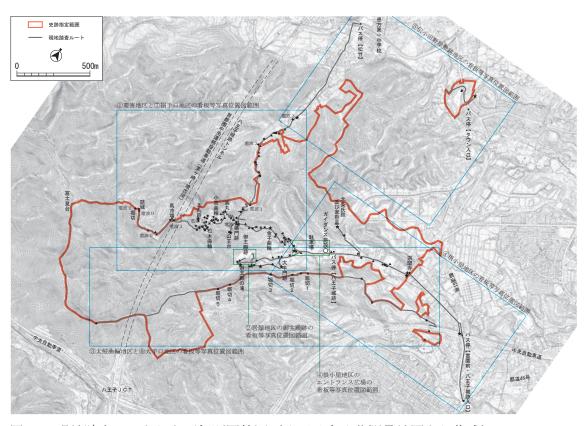


図 20 現地踏査ルートおよび個別図範囲 (八王子市公共測量地図より作成)

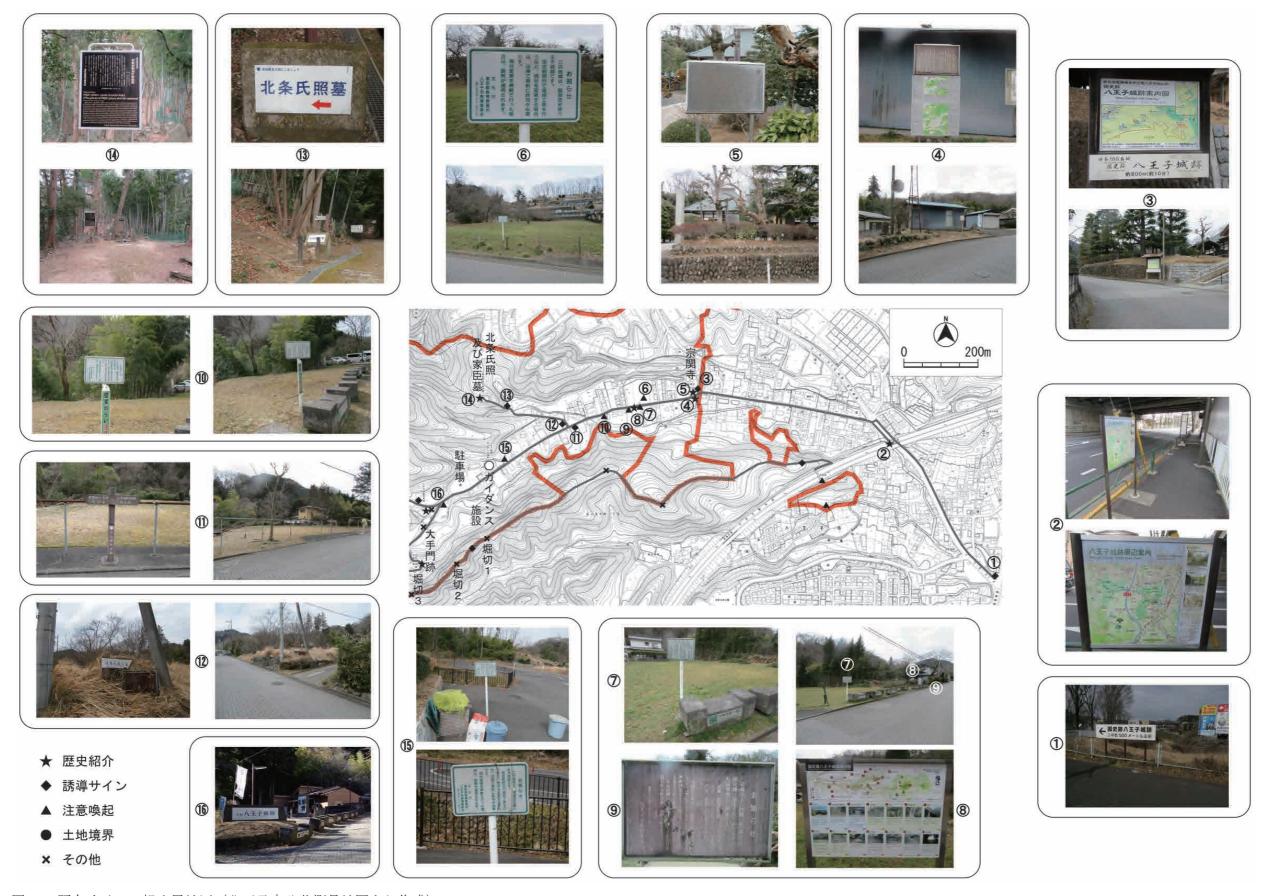


図 21 既存サイン:根小屋地区(八王子市公共測量地図より作成)



図 22 既存サイン:エントランス広場(『国指定史跡 八王子城跡 整備活用事業報告書』(平成 27 年) p. 86・87 を改変)



図 23 既存サイン:御主殿跡(『国指定史跡 八王子城跡 整備活用事業報告書』(平成 27 年) p. 47 を改変)

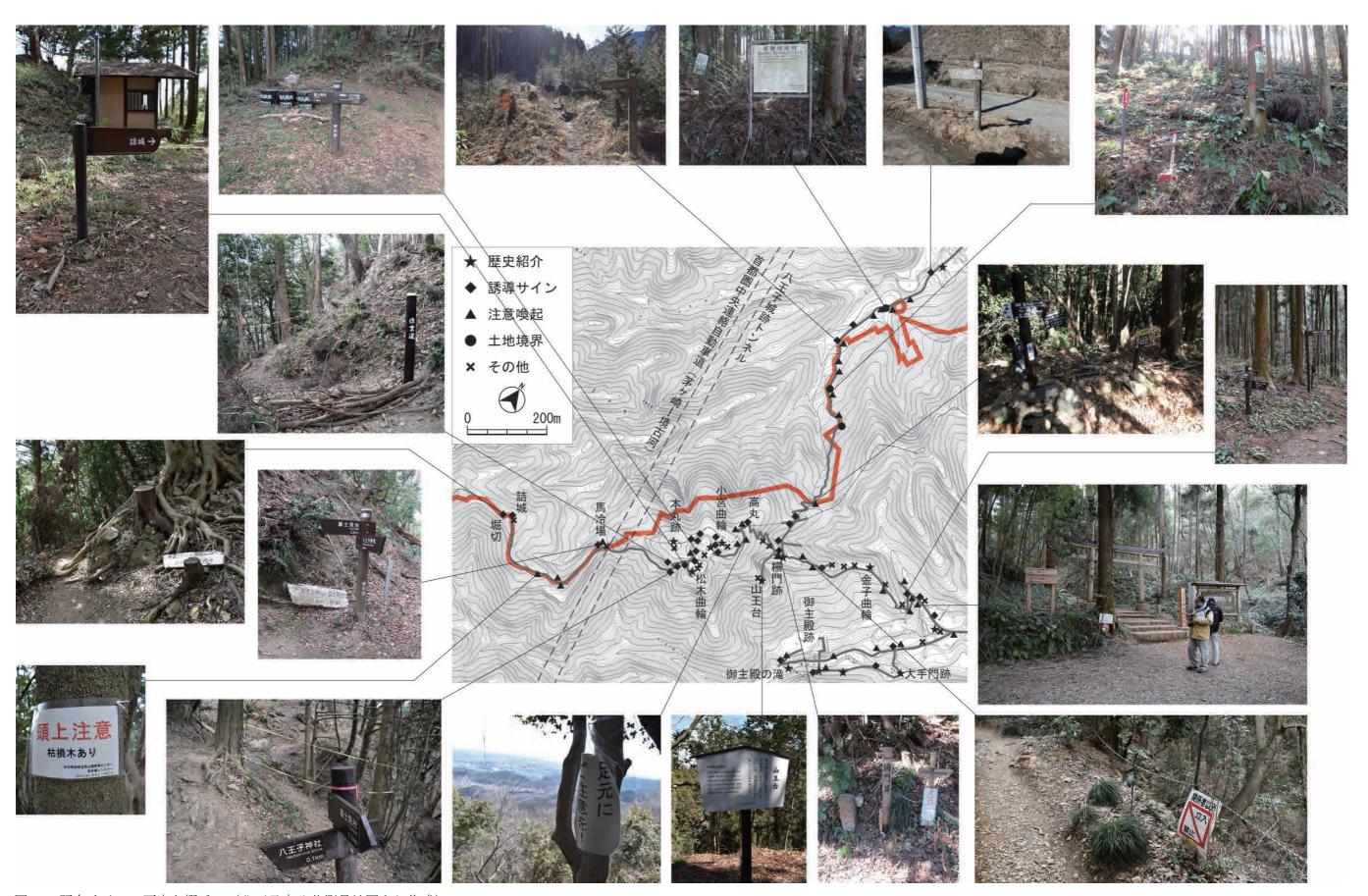


図 24 既存サイン:要害と搦手口(八王子市公共測量地図より作成)

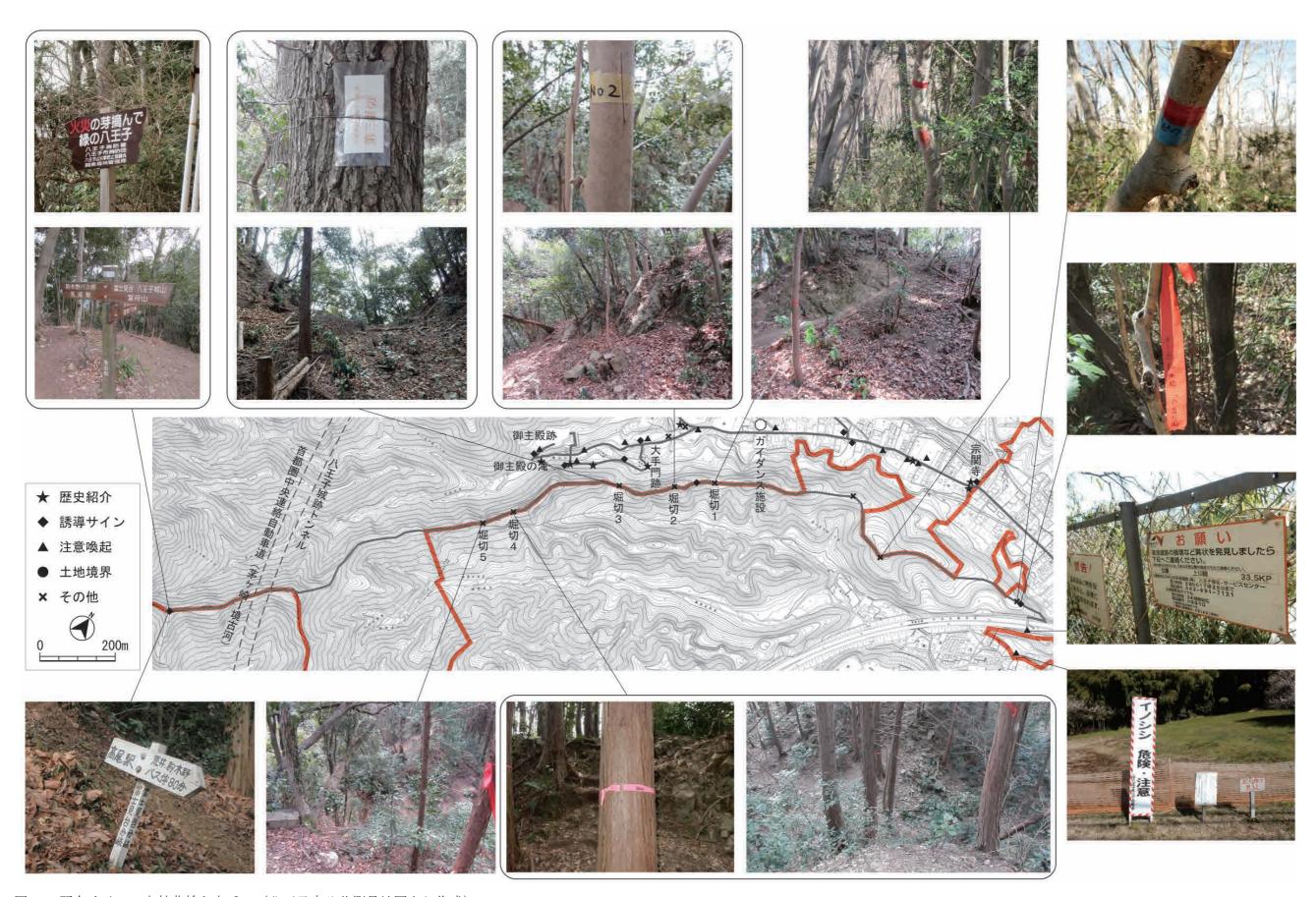


図 25 既存サイン:太鼓曲輪と大手口(八王子市公共測量地図より作成)



図 26 既存サイン: 伝小田野屋敷跡 (八王子市公共測量地図より作成)

4. 課題整理

これまでに作成した各種計画書や調査報告書、および本計画の策定に合わせて実施した来訪者アンケート調査や既存サインの現況調査等を踏まえ、平成28~29年度にかけて開催した検討会では、八王子城跡の保存整備活用に関して、下記のような意見交換がなされた。

「八王子城跡保存整備検討会」の意見概要①

史跡の保存

- ・根小屋地区も含め、史跡全体での発掘調査計画を示して欲しい。
- ・4年くらい前に調査した柵門台の下の石垣が崩れてきているように見えるので、調査時 の写真と比較するなど、劣化状況の現状把握をして保護を進めて欲しい。

史跡の整備

- ・本丸までの登山道は、ほぼ1本道だが、石がごろごろと落ちているところもあるので、 安全に登れるような整備が必要。
- ・要害地区の散策ルートについて、そこからの眺望の確保とともに、安全に歩くことが出来るような危険木の除去が必要。
- ・根小屋からの誘導サインなど、史跡全体の見せ方をどうすべきか、トータルで考えて、 短期で出来るものは早めに取りかかり、計画的に進めて欲しい。
- ・搦手のほうも、登山がてら中高年のかたが見えるので、説明板等の整備をして欲しい。
- ・周辺アクセスルートの搦手口のほうの看板は、非常に貧弱で史跡について分からない状態なので、早急に取り組んで欲しい。
- ・「曲輪」がどういった施設なのか、戦国時代の城がどのような構造をしているのか、各 曲輪のそれぞれが持つ機能は何なのか、といった城を学ぶサインを増やして欲しい。
- ・大手門跡の土塁のトレンチ調査を実施するのであれば、土のうによる埋め戻しに合わせて、削れて凹んだ箇所をかさ上げ(簡易復元)するのはどうか?
- ・野鳥観察の人が土塁に登って困るというのであれば、トレンチで土層断面を確認した後 に、土層の断ち割り状況を見ることが出来る展望スペースなどを設けてはどうか?

史跡の活用

- ・今、史跡内で一番目玉となるのは庭園遺構だが、庭園だけのパンフレットの作成を検討 してはどうか。小田原城の庭園は、東日本で最大級の庭園なので、北条氏ゆかりの庭園 の比較研究なども進めて欲しい。
- ・ガイダンス施設で、御主殿等の出土品(本物)を展示できると良い。
- ・ガイドの補充について、ガイド人数が徐々に減ってくるので、第4期生、5期生と、継続して募集していく必要がある。

「八王子城跡保存整備検討会」の意見概要②

史跡の多様な価値

- ・ 史跡としてだけではなく、八王子城が本来持っている価値は、環境や自然など、多岐に わたる。この土地が持つ重層している価値を整理して、文化財以外の価値についても合 わせて保全を図って欲しい。
- ・八王子城跡での自然系の基礎調査を実施してはどうか? (→民間業者、専門家+ボランティアなど、方法はいくつかある。)
- ・御主殿周辺でも、アサギマダラという蝶が確認されていて、その蝶が食べるキジョラン などが自生しているが、この前の間伐で切られてしまったので、動植物の保護について も取り組んで欲しい。
- ・自然環境調査や自然観察会について、一般向けの催しとは別に、ある程度の専門知識、 動植物に関するガイドを養成するような勉強会を実施できると良い。

文化財行政全般について

- ・八王子城は、歴史系、自然系、観光面、法律面など、多岐にわたる調整が必要なので、 他部署や他自治体との連携強化が必要。
- ・八王子城跡は、史跡としてだけではなく、レクリエーションの場や、自然公園など、複数の利用目的がある。史跡以外で、何に位置づけられ、どこの部局と絡めて整備が出来るのか、整理する必要がある。
- ・史跡としての活用を考えていくのであれば、「どう整備するのか」を不断に研究していく、 そういった組織なりが文化財課の中に必要なので、庁内で横断的な組織を作るとか、専 門的な城跡の整備に関する常設の委員会を設置するなど、組織整備を推進して欲しい。

その他

- ・統一サインについて、史跡全域で統一するのは難しいので、市が設置する歴史系・自然 系の看板を統一するのはどうか。また、エリアごとに分けて、そのエリア内で統一する など。(→公園協会のサイン基準を参考に、ピクトグラムで示すなど工夫する。)
- ・遺跡観光にあたっては、遺跡の滞在時間に合わせて、遺跡を理解するためのショートコース、ミドルコース、ロングコースという散策ルートを設定する必要がある。
- ・アンケートの分析結果について、学会等で発表してはどうか? (→日本遺跡学会、奈良 文化財研究所の研究集会などが候補となる。)

検討会の協議結果等を踏まえ、八王子城跡の保存整備活用における現状と課題を整理すると、以下の表にまとめられる。

	史跡全体		ソフト事業	
整備活用 の課題	・史跡全体の回遊性の向上・計画的な公有地化・出土遺物の展示施設・地域住民に対する情報提供及び市民協働の推進・調査研究体制の充実・土砂崩れ等の防災・減災対策			
実施済 (実施中) の事業			・パンフレットの改訂 ・外国語パンフレット の作成	
短期計画	・調査研究の推進 ・情報発信の強化/充実 ・第4期ガイドボラン ティアの募集と育成	継続	・市主催のイベントや講演会、勉強会等の開催・インターネットやSNSによる情報発信の充実	
中期計画	・遺構と自然環境の 保全 ・歴史文化継承の担い 手の育成	的 な 調 査	・北条氏に縁のある自治 体や関連団体等と連携 したイベントの開催 ・発掘体験	
長期計画	・史跡を体感できる場の整備や地域活性化に寄与する整備 ・史跡保護の横断的な調整組織の構築および人員体制の充実	研究	・御主殿の解明 ・ICTによる情報発信	

要害地区	居館地区	根小屋地区
本丸、詰城、金子曲輪	御主殿、アシダ曲輪、 曳橋、古道、大手門跡	城下町
・他部署との連携・散策ルートの安全対策	★最重点地区 ・御主殿地区の調査 ・池跡の総合的な調査と 整備	・住民との協働 ・点在する市有地の活用 ・城下町としての遺構等 の把握
	・曳橋の架け替え (2016年3月開通) ・既整備施設のメンテ ナンス	・管理棟の改修工事 (2017年3月供用開始) ・既整備施設のメンテ ナンス
・解説板等の再整備 ・散策道の安全対策	・解説板等の再整備 ・遺構の現状把握と保護	・点在する市有地への 説明板等の設置 ・主要道への誘導サイン 等の再整備 ・市有地等の広場活用 (イベント等)
・自然環境調査 (動植物、水脈など) ・希少な動植物の保護 ・眺望の確保	・御主殿の学術調査 ・アシダ曲輪の保存整備 と散策道の安全対策 ・眺望の確保	・ガイダンス施設の展示 の充実、物販の実施
・公有地化と確認調査 ・要害地区の復元整備	・御主殿と池跡の一体的 な復元整備 ・公有地化	・点在する市有地を結び つけ、歩行者専用の 散策道を整備

平成27年2月の『保存管理計画書』p. 104・105では、八王子城跡の保護に関する課題として(1)調査研究、(2)保存管理、(3)整備活用、(4)防災対策・利用マナー、(5)法規制等の仕組み、(6)保存や活用を実現していくための体制、以上の6つの観点から課題整理を行った。各項目の主な課題としては、(1)城郭の構造として中枢をなす区域(御主殿跡や庭園遺構)の調査研究、(2)歴史的な環境と自然環境が一体となった景観の保存管理、(3)地域住民や活動団体等と一緒に八王子城跡の認知を高める取組の推進、(4)史跡の保護や、歴史文化への関心や理解につながる適切な情報発信等の普及啓発、(5)史跡の保護と自然環境や市街地環境の保全等との共存・調和、(6)本市の八王子城跡を担当する体制の強化が挙げられている。これらの課題は、平成28~29年度実施の来訪者アンケート調査や検討会においても意見が寄せられており、今後、課題解決に向けて計画的に取り組んでいく必要がある。

また、平成29年12月には、文化庁が「文化財の確実な継承に向けたこれからの時代に ふさわしい保存と活用の在り方について(第一次答申)」を発表した。(※巻末資料4を参 照。)この答申において、文化財の保存と活用は、共に、文化財の次世代への継承という 目的を達成するために必要なものであり、未来の世代が、文化財の魅力や価値を享受し活 用できるようにするためにも、計画的な修理・管理など文化財の適切な保存が必要である、 と示されている。加えて、文化財とそれを育んだ地域の持続的な維持発展のために、文化 財の保存と活用そしてその担い手の拡充を考えていくべきである、とも述べられている。

八王子城跡を取り巻く環境等が変化する中で、上記の「文化財の保存と活用」に関する 考え方も踏まえ、史跡の保存・整備・活用を図っていく必要がある。

第4章 基本構想

1. 基本理念 (将来目標・保存管理計画における方向性)

八王子城跡の整備活用は、八王子市の基本構想・基本計画である『八王子ビジョン 2022』の「市民が誇れる歴史と伝統文化の継承」という施策を具現化するものとして位置 づけられるため、地域住民、市民、そして国民が、史跡の価値を充分に理解し、次世代へと継承できるような整備方法を検討する必要がある。

平成27年2月の『保存管理計画書』では、整備活用の基本的な考え方として、以下の6項目を挙げている。本書においても、これらの考え方に基づいて整備手法を検討する。

- ◇八王子城跡の調査研究の推進/調査成果に基づく適切な史跡の保存整備。
- ◇調査研究の成果を活かし、史跡の情報発信に関する機能の強化・充実。
- ◇遺構と自然環境の保全/多くの人々に親しまれ、活用される史跡整備。
- ◇市民や来訪者が史跡にふれあい、歴史を学び楽しみ、体感できる場としての史跡の保存・ 活用に向けた整備。
- ◇多くの人々が史跡の保全・活用に参画し、地域の歴史文化を継承していく担い手として 関わることができるよう史跡の整備活用を目指す。
- ◇本市のまちづくりの核として、地域活性化に寄与するような史跡の整備活用を目指す。

2. 基本方針(全体計画·実施項目)

八王子城跡では、これまでに 2 度の大規模な整備を実施しており、平成 $21 \sim 26$ 年度の整備では、御主殿跡の復元的整備も行われ、往時を体感できる空間的な整備も図られている。

この平成 21~26 年度の整備事業の前後に実施した、来訪者アンケートでは、「八王子城跡に不足している機能」の設問において、サイン施設の不足を挙げる来訪者が多かった。加えて、平成 28~29 年度のアンケート調査においては、現状の史跡に満足を感じ、過度な整備は控えて欲しいとの意見も多く寄せられている。

また、「八王子城跡の整備や活用で望むこと」の設問では、遺構復元や展示の充実を望む意見が一番多く、次いで散策道の整備、サポート・ガイドの充実が多くなっている。ただ、遺構復元を望む意見がある一方で、自由記述の回答の中には、過度な現状改変に繋がる施設整備等を控えることを望む意見が多くあり、史跡の保存と活用のバランスを上手く調整する必要がある。

以上のような状況を踏まえ、今回の整備計画においては、平成27年2月の『保存管理計画書』で示した整備活用の進め方を基本としながらも、史跡を訪れた人々の意見も取り入れることにより、八王子城跡の多様な価値の保存を図り、合わせて史跡に対する満足度の向上を目指すこととする。

整備活用の基本方針

①八王子城跡の調査研究と遺構保全

(実施項目:御主殿の確認調査推進/調査体制の充実/石垣等の現状把握調査)

②要害地区の散策路と展望の場としての整備活用

(実施項目:解説板等の設置/支障木の伐採)

③曳橋をはじめとする工作物、施設等の適切な管理と史跡内の散策路整備による回遊性 向上

(実施項目:既存施設の計画的な維持管理/回遊性のある散策ルートの確保)

④居館地区の魅力ある空間づくりによる歴史文化を体感するエリアとしての活用 (実施項目:御主殿の学術調査/調査成果に基づく御主殿と池跡の一体とした復元的整備)

⑤根小屋地区の市有地の活用

(実施項目:地元との共存・協働/解説板等の設置/広域アクセス・誘導サインの整備)

⑥散策等を活かした歴史・文化・自然を体感できるレクリエーションの場づくり (実施項目:散策ルートの安全性確保/解説板等の設置/ガイドボランティアの推進)

⑦ガイダンス施設の活用

(実施項目:書籍や土産の販売/展示内容の拡充/講演会等の継続的な普及活動)

⑧専門職員の配置と技術の向上

(実施項目:職員研修の充実/学識経験者等との連携/専門職員の増員)

史跡八王子城跡の整備イメージ(史跡主要部)

要害地区の整備

- ・ 散策道の安全対策
- ・眺望確保(支障木の伐採)
- ・自然環境調査(自然観察会など)

居館地区の整備

- ・解説板の機能拡充(ARなど)
- ・御主殿の調査
- ・四段石垣などの遺構保全

根小屋地区の整備

- ・地元との共存・協働
- ・誘導サイン等の再整備
- ガイダンス施設の展示充実
- ・書籍等の販売

ソフト事業

- ガイドボランティアの推進
- ・継続的なイベント等の開催



















整備活用の基本方針

- ①八王子城跡の調査研究と遺構保全
- ②要害地区の散策路と展望の場としての整備活用
- ③曳橋をはじめとする工作物、施設等の適切な管理と史跡内の散策路整備による回遊性向上
- ④居館地区の魅力ある空間づくりによる歴史文化を体感するエリアとしての活用

居館地区(御主殿など)

- ⑤根小屋地区の市有地の活用
- ⑥散策等を活かした歴史・文化・自然を体感できるレクリエーションの場づくり
- ⑦ガイダンス施設の活用
- ⑧専門職員の配置と技術の向上

根小屋地区(城下町)

ガイダンス施設の 展示品

将来目標

- ・御主殿の全容解明と、御主殿と池跡の一体とした復元的整備
- ・池跡、御主殿西側の発掘調査を実施し、それらの成果を基に復元的整備
- ・居館地区を中心とした確認調査の推進

史跡八王子城跡の整備イメージ(広域アクセスルート)



第5章 基本計画

1. 基本計画の前提条件(来訪者アンケートからの検討)

整備内容を検討するにあたり実施した来訪者アンケートでは、地元の利用者や市内外の 来訪者から率直な意見を聞くことが出来た。現状での史跡への理解度や関心度、史跡の利 用状況や整備活用における課題など、四季の調査結果を整理すると、以下のようになる。

四季のアンケート調査から得られた八王子城跡の現状と課題

来訪頻度・来訪目的・八王子城跡の理解

- ・近隣居住者の割合が高い「ほぼ毎日」「週に1回程度」の来訪者が、八王子城跡についての理解が深い傾向にある。
- ・春の来訪目的で多数を占めた「自然観察」に対し、夏では「登山」や「夏休みの宿題」、 秋では「ハイキング」など、季節によって利用目的が異なる。
- →八王子城跡の歴史的空間としてだけではなく、自然環境などに親しむために訪れている 人たちにも、八王子城跡が立地している時代背景を意識出来る工夫が望まれる。
- →来訪頻度を高めさせるためには、八王子城跡の歴史的空間を活用した自然環境の魅力を 高めることが重要となる。

八王子城跡に不足している機能

- 「サイン施設」の不足を感じている来訪者が多い。
- →特に、広域アクセスの誘導標識(高尾駅・県道・高速出口ほか)に対する意見が多い。
- 「その他」では、現状への満足を感じ、過度な整備は控える、との意見が多く含まれていた。

八王子城跡の整備や活用で望むこと

- ・夏の調査では「サポート・ガイド」の充実を望む意見が他の季節よりも多い。
- ・「遺構復元や展示」は週末・平日来訪者ともに充実を望んでいる。
- 「その他」では、過度な現状改変に繋がる施設整備を控えることを望む意見が多かった。
- →「史跡の見える化」は重要であるので、遺構の調査研究・顕在化を進める。また、山城 としての景観や豊かな自然環境を維持していくことも望まれているため、両者のバラン スを考慮した整備を図る必要がある。

季節ごとのクロス集計結果

- ①リピーターと来訪目的(来訪の回数×来訪目的)
- ・初めての来訪者は史跡探訪を目的にした来訪が多い。(全ての季節で一致。)
- ・来訪回数が多い人では休日・平日ともに自然散策や自然観察、健康作りを目的として来 訪している。
- →八王子城跡の歴史に興味を持って来訪した人をリピーターにする為には、自然に調和した八王子城跡の魅力を肌身で感じてもらえるような工夫(ガイド、環境保全など)に努める必要がある。

	平成	28年	12 月	4日	(日)			平成	28 年	12月	7日	(水)			
	史跡 探訪	観光	自然 観察	自然 散策	健康・ 体力 作り	その 他	計	史跡 探訪	観光	自然 観察	自然 散策	健康・ 体力 作り	その 他	計	合計
初めて	69	9	5	19	6	7	115	13	6	0	0	2	1	22	137
再来	23	0	7	34	17	5	86	6	1	5	6	8	2	28	114
計	92	9	12	53	23	12	201	19	7	5	6	10	3	50	251
<u>初めて</u>	60%	8%	4%	17%	5%	6%	100%	59%	27%	0%	0%	9%		100%	
再来	27%	0%	8%	40%	20%	6%	100%	21%	4%	18%	21%	29%		100%	
計	46%	4%	6%	26%	11%	6%	100%	38%	14%	10%	12%	20%	6%	100%	

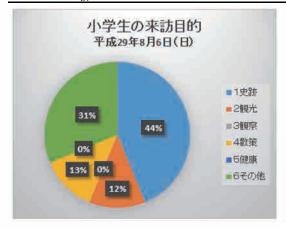
	平成 2	29 年	5月2	21日	(日)			平成	29 年	5月:	24 日	(水)			
	史跡 探訪	観光	自然 観察	自然	健康・ 体力 作り	その 他	計	史跡 探訪	観光	自然 観察	自然散策	健康・ 体力 作り	その 他	計	合計
初めて	71	13	9	14	17	7	131	27	3	1	7	4	2	44	175
再来	18	1	33	27	23	4	106	3	2	11	8	6	3	33	139
計	89	14	42	41	40	11	237	30	5	12	15	10	5	77	314
初めて	54%	10%	7%	11%	13%	5%	100%	61%	7%	2%	16%	9%	5%	100%	
再来	17%	1%	31%	25%	22%	4%	100%	9%	6%	33%	24%	18%	9%	100%	
計	38%	6%	18%	17%	17%	5%	100%	39%	6%	16%	19%	13%	6%	100%	

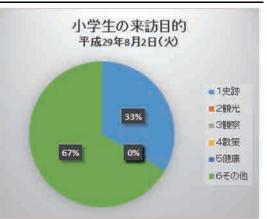
	平成 2	29 年	8月	6日	(日)			平成 2	29 年	8月2	2 日	(水)			
	史跡 探訪	観光	自然 観察	自然	健康・ 体力 作り	その 他	計	史跡 探訪	観光	自然 観察	自然散策	健康・ 体力 作り	その 他	計	合計
初めて	63	4	3	3	8	18	99	9	0	0	1	0	3	13	112
再来	11	1	6	7	17	9	51	0	0	0	3	2	0	5	56
計	74	5	9	10	25	27	150	9	0	0	4	2	3	18	168
初めて	64%	4%	3%	3%	8%	18%	100%	69%	0%	0%	8%	0%	23%		
再来	22%	2%	12%	14%	33%	18%	100%	0%	0%	0%	60%	40%	0%	100%	
計	49%	3%	6%	7%	17%	18%	100%	50%	0%	0%	22%	11%	17%	100%	

	平成 2	29 年	11 月	5日	(日)			平成:	29 年	11 月	1日	(水)			
	史跡 探訪	観光	自然 観察	自然散策	健康・ 体力 作り	その 他	計	史跡 探訪	観光	自然 観察	自然	健康・ 体力 作り	その 他	計	合計
初めて	92	22	16	36	17	14	197	16	7	0	8	4	5	40	237
再来	29	5	11	50	33	5	133	7	0	1	11	4	2	25	158
計	121	27	27	86	50	19	330	23	7	1	19	8	7	65	395
初めて	47%	11%	8%	18%	9%	7%	100%	40%	18%	0%	20%	10%	13%	100%	
再来	22%	4%	8%	38%	25%	4%	100%	28%	0%	4%	44%	16%	8%	100%	
計	37%	8%	8%	26%	15%	6%	100%	35%	11%	2%	29%	12%	11%	100%	

- ②夏休み期間中の小学生の利用状況(小学生×来訪目的)
- ・休日の来訪者の目的は「史跡」44%、「その他(登山など)」が31%となっている。

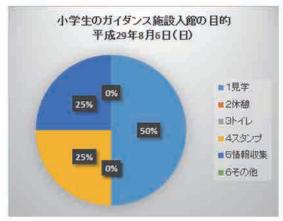
	平成29年8月6日(日)	平成29年8月2日(水)
	回答数 回答比率	回答数 回答比率
1史跡	7 44%	1 33%
2観光	2 13%	0 0%
3観察	0 0%	0 0%
4散策	2 13%	0 0%
5健康	0 0%	0 0%
6その他	5 31%	2 67%
計	16 100%	3 100%

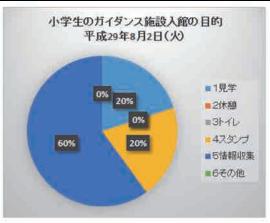




- ③夏休み期間中の小学生の利用状況(小学生×ガイダンス施設の入館目的)
- ・「史跡」目的の多い休日は、ガイダンス施設の「見学」目的が50%と多くなっている。

	平成29年8月6日(日) 回答数 回答比率	平成29年8月2日(水) 回答数 回答比率
1見学	4 50%	1 20%
2休憩	0 0%	0 0%
3トイレ	0 0%	0 0%
4スタンプ	2 25%	1 20%
5情報収集	2 25%	3 60%
6その他	0 0%	0 0%
計	8 100%	5 100%





- ④来訪目的から見た滞在時間の関係(来訪目的×滞在時間)
- ・休日では平均滞在時間が一番短いのは「健康」目的であり、ダラダラと歩くのではなく 時間を決めて負荷のある運動を行っていると推測される。

	平成2	29年8	月6日	平成29年8月2日(水)			
	史跡	観光	観察	散策	健康	その 他	史跡 観光 観察 散策 健康 他
平均	81	48	66	105	38	57	105 — — — — —
<u>平均</u> 最長	180	90	85	210	85	160	105 — — — — —
最短	5	10	20	20	20	15	105 — — — —

	平成2	平成2	29年1	1月1日	3(水))							
	史跡	観光	観察	散策	健康	その 他	史跡	観光	観察	散策	健康	その 他	
平均	73	76	83	52	51	48	125	116	84	100	154	122	
最長	145	86	177	148	86	68	226	215	84	215	226	132	
<u>最長</u> 最短	29	54	35	10	12	26	24	45	84	15	82	82	

- ⑤来訪者の居住圏域から見た滞在時間の関係(居住圏域×滞在時間)
- ・休日では、平均滞在時間が一番長いのは「国内」からであり、気軽に何度も来ることが できないため、ある程度時間をかけていると推測される。

	平成29	9年8.	月6日	(日)	平成29年8月2日(水)
	市内	都内	国内	海外	市内都内国内海外
平均	76	28	94	_	— 105 —
<u>平均</u> 最長	210	55	180	_	— 105 —
最短	5	5	30	_	— 105 —

	平成2	29年1	1月5E	3(日)	平成29年11月1日(水)
	市内	都内	国内	海外	市内都内国内海外
平均	63	59	99	_	126 119 111 —
最長	177	148	145	_	226 226 200 -
平均 <u>最長</u> 最短	10	29	51	_	15 24 44 -





平成28年12月(冬季)アンケート調査





平成29年5月(春季)アンケート調査



平成29年8月(夏季)アンケート調査





写真6 アンケート調査実施状況

2. 地区別基本計画

第4章で示した整備活用の基本理念、基本方針および来訪者アンケートの意見分析結果 等をもとに、各地区の整備内容を以下に整理する。

要害地区(本丸、詰城、金子曲輪)

- ・散策道の安全対策・・・本丸までの散策道の一部で、土の流出や樹根の露出等で歩きにくい箇所がある。
- ・眺望確保・・・・小宮曲輪下の散策道には、関東一円が見渡せる景観スポットがあるが、樹木の成長等で一部、見えにくくなっているため、剪定や伐採が必要。
- ・遺構の保全・・・・金子曲輪の石垣は、部分的に土のうで補強している状態であるため、崩落防止策等を講じる必要がある。

居館地区(四段石垣)/太鼓曲輪地区(大手門跡)

- ・御主殿西側の四段石垣・・・樹木の成長等により、石垣が徐々に傷んできている。
- ・大手門跡は八王子城跡の正門にあたるが、史跡らしさを感じることの出来る整備が不足 しているので、残存している土塁と合わせて、何らかの改善が必要。

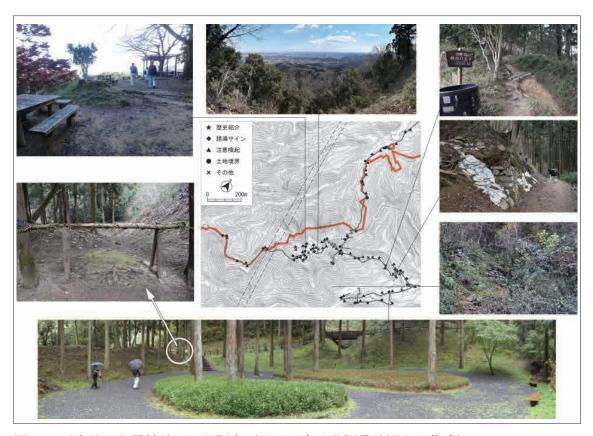


図 27 要害地区と居館地区の課題点(八王子市公共測量地図より作成)

居館地区(御主殿の庭園遺構)

・庭園遺構の学術調査の推進・・・現在、枯山水的な仮整備を実施しているが、整備工事に伴う確認調査において、部分的に池跡が検出されている。導水構造など不明な点も多いことから、優先的に調査推進を図る。ただし、庭園の後背地の山が急傾斜となっており、作業に危険が伴うため容易には調査に入れないことや、土地所有に絡んだ調整も必要となることから、各種保護対策や関係機関との協議を進め、調査を行う。また、小田原城など北条氏ゆかりの遺跡で検出された庭園遺構との比較分析なども合わせて推進する。

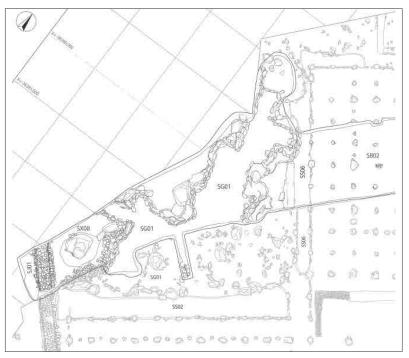


図 28 庭園遺構の平面図(『国史跡八王子城跡XVⅢ-平成 25 年度 御主殿跡発掘調査概要報告書-』(平成 26 年)付図より抜粋)



写真7 庭園遺構:解説板



(↑読売新聞 H25.8.9)





背後の山を借景に

写真8 小田原城の石敷き庭園 (小田原市ホームページ) (↑読売新聞 H25.11.13)





津久井城の庭園 (津久井湖城山公園パークセンター)

(↑毎日新聞 H29.5.11)

居館地区(曳橋)

- ・既存施設の維持管理・・・史跡の利活用に資する曳橋や管理棟などの諸施設については、 定期的なメンテナンスが欠かせないことから、施設台帳や施設カルテ等を作成し、損傷 程度や更新時期などをデータ化して、経過観察(モニタリング)を実施する。
- ・曳橋の南側橋台石垣が、平成29年4月に一部崩落したため、その損傷原因の調査分析を進め、石垣の積み直しと再整備を図る。



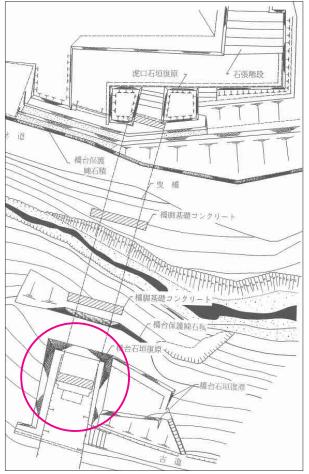


図 29 曳橋の整備工事図面 (『史跡八王子城跡 環境整備事業報告書』 (平成4年) p. 76より)





写真 10 曳橋の状況

根小屋地区/広域アクセス

- ・誘導サイン等の再整備・・・駐車場を通り過ぎてしまう来訪者が多いため、矢印マークを 入れるなどして、視覚的に見やすく、駐車場に自然と誘導出来るような看板を検討する。 また、駐車場を通り過ぎた後、「行き止まり」に気づかずに進んでしまう来訪者も一定数 いることから、誘導サインの改善が必要。
- ・都道 61 号からの分岐点には、史跡名称と方向を示した小規模な案内標識が設置されているが、距離を記載した案内標識への再整備を検討。
- ・都道46号と61号の分岐点にある案内標識は、視認性が低いため、何らかの改善が必要。
- ・根小屋地区に点在する市有地において、御主殿の発掘調査で出土したムギや豆類の栽培 を試験的に実施し、当時の食生活等を学ぶことの出来る参加型イベントを検討。
- ・史跡散策の導入地点である宗関寺周辺からの史跡景観について、「八王子城跡らしさ」 を損なわないような維持管理が必要。

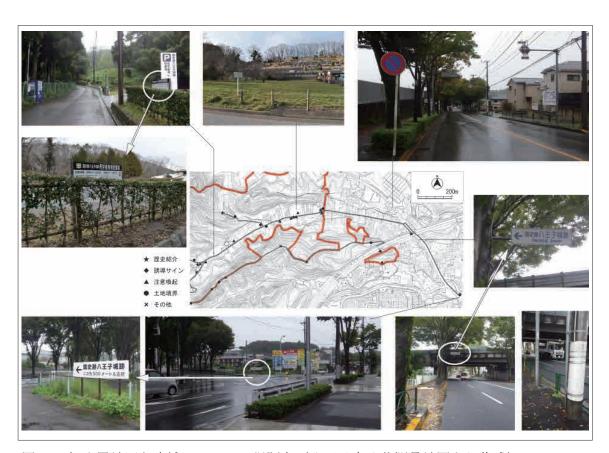


図30 根小屋地区と広域アクセスの課題点(八王子市公共測量地図より作成)

搦手口地区/伝小田野屋敷跡地区

- ・解説板等の設置・・・ 搦手口地区には現在、史跡の情報を発信する看板等が設置されていないことから、解説板の新設を検討する。
- ・搦手口地区と伝小田野屋敷跡地区においては、最寄りのバス停や分岐点に史跡に関する 誘導サインがないので、改善が必要。

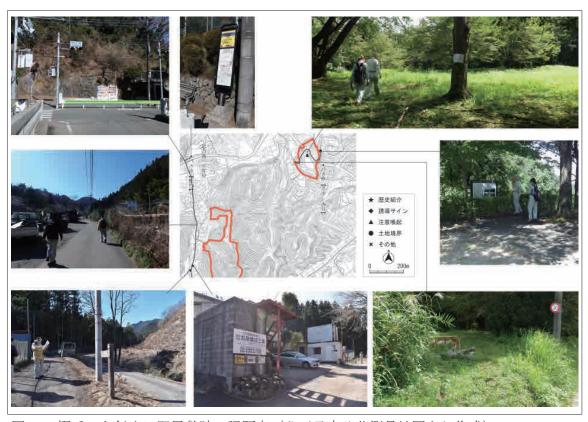


図31 搦手口と伝小田野屋敷跡の課題点(八王子市公共測量地図より作成)

3. 項目別基本計画

本項では、史跡の整備活用に関する計画を(1)~(14)の項目に分けて記述する。全て実施を予定している整備項目であるが、内容によって、短期的に実現可能なものは「実施する」、中長期的スパンのものは「検討する」という表記にて大別している。

(1) 遺構保存に関する計画

- ・中世末期の時代の変革期に築城され、当時の様相をよくとどめ現代に伝えている中世山 城の城郭構造や居城、庭園などの遺構等を堅実に保存し、後世へと継承する。
- ・八王子城跡の中枢であり、歴史遺産として象徴的な居館地区及び要害地区を重点的に保存・活用を図る区域とし、中世末期の城郭の構造や、生活・文化が体感できるよう保存等整備を検討する。
- ・御主殿北西部に検出された池泉を中心とする庭園遺構は、城郭としての価値のみならず、 造園後わずかな期間で落城したため、往時の技術や文化がより鮮明に残されている状態 で、歴史的・学術的に貴重な遺構である。そこで、今後はさらなる発掘調査を推進し、 往時の姿の解明を進める。
- ・八王子城跡の調査研究、整備活用の実施にあたっては、遺構保存を適切に図るため、学 識経験者や庁内の関係所管課と連携した組織づくりを検討する。

(2) 石垣・曲輪等の遺構修復に関する計画

- ・東日本大震災や熊本地震を受けて、石垣を有する城跡では、石垣カルテ等の作成が進められている。八王子城跡においても、これまでに石垣測量調査(平面図、立面図等の作成)を実施している。今後も、遺構等の現状把握調査を計画的に実施する。
- ・太鼓曲輪地区の大手門跡の土塁は、一部が削れた状態となっているため、短期的には補 修や進入防止対策を実施し、長期的には土塁の構造確認調査等を実施する。

(3)動線計画

- ・現在使用されている散策道を中心に、損傷のある部分は適宜、補修整備を実施する。
- ・御主殿跡から金子曲輪に向かうルートや、各種散策ルートなど、回遊性を高めるために 必要な園路整備は、条件が整い次第、安全面を考慮して実施する。
- ・最寄り駅となっているJR高尾駅や京王高尾駅からの広域アクセスにおいては、誘導サインや案内板が不足しているため、関係機関と調整の上、設置する。
- ・車での来訪は、中央自動車道の八王子インター、もしくは圏央道の八王子西インターが 最寄りとなるが、これらの出口においても、誘導サイン等が不足しているため、関係機 関と調整の上、設置する。





写真11 IR高尾駅北口の案内板

(4) 地形造成に関する計画

・災害等により損傷した箇所の現状復旧や、史跡整備に関わる造成以外は、原則実施しない。

(5) 遺構の表現に関する計画

- ・八王子城跡は、その時代背景や遺構の残存状況などから、往時の生活文化や技術などを 知る上で非常に貴重なものであるため、調査結果や史料を踏まえた復元的整備について、 学識経験者等の意見を充分に反映させ、遺構の表現を検討し、整備を実施する。
- ・復元的整備にあたっては、遺構や史料の状況などによって復元の精度が異なる等、誤った情報を与えかねないおそれもあるため、発掘調査など調査研究を進め、条件が整ったものから復元的整備を実施する。
- ・復元模型やレプリカ等の製作に加え、ARやVRなどの映像技術による復元展示についても検討する。

(6) 修景および植栽に関する計画

- ・発掘調査や遺構の保存、景観上の管理・整備、安全な歩行者通路の確保に必要な伐採に ついては事前に協議し、遺構保存ならびに景観に影響を与えない場合には認める。
- ・植栽等については、現状で視認される遺構が存在する場合は原則認めない。
- ・史跡整備に伴う植栽については、遺構に影響のないよう計画し、史跡の価値の維持向上に資するものについては認める。
- ・防災対策として行う植栽・伐採等については、対象地や施工方法など事前に協議し、そ の必要性に応じて判断するものとする。
- ・城山を中心とする「都立高尾陣場自然公園」内には、独自の植生が確認されており、それらの貴重な植物を保護するための調査研究を検討する。

(7) 案内・解説施設に関する計画

- 過去に設置し、老朽化したサイン施設が残されたまま新設されている箇所があるため、 不要なものは撤去する。
- ・設置箇所や設置年数を整理した施設点検表(仮)を作成するなどして、損傷状況や耐用

年数を把握し、計画的に再整備する。更新にあたっては、統一的なデザインに留意し、 史跡景観の維持向上を図る。

・QRコード等のデジタルツールによる情報提供についても検討する。

(8) 管理施設および便益施設に関する計画

- ・ガイダンス施設や管理棟、駐車場、トイレなどの諸施設は、史跡の利活用において不可 欠なものであることから、適切な維持管理を継続する。
- ・管理用道路や河川の改修、水路の改修などは、遺構保存および史跡景観に影響を与えな い施工内容を事前協議し、実施する。



平成 28 年 11 月: 改修前







平成29年8月:改修工事後

写真 12 管理棟の工事状況

(9) 公開・活用およびそのための施設に関する計画

・ガイダンス施設では、史跡に関する展示のほか、歴史系の講演会等のイベントを定期的 に開催しており、これらを継続して実施する。合わせて、自然系の展示や解説等につい ても検討する。

(10) 周辺地域の環境保全に関する計画

・八王子城跡は主要遺構を含めよく旧状をとどめ、山城のほぼ全域が史跡指定を受けており、広く保全が図られている。また、本丸跡を中心に自然公園になっており、指定地外においても、周知の埋蔵文化財包蔵地(八王子城跡)区域となるなど、関連法規によって史跡景観が保全されているため、引き続き適切な環境保全を実施する。

(11) 地域全体における関連文化財等との有機的な整備活用に関する計画

・八王子城跡に関連する文化財としては、国史跡「滝山城跡」、都旧跡「北条氏照及び家臣墓」、 市史跡「浄福寺城跡」などがある。平成29年4月には、滝山城跡が「続・日本100名城」 に選定されたこともあり、平成29年12月に開催された「お城EXPO」では、八王子 城跡と滝山城跡が共同出展し、全国のお城ファンに向けてPRした。今後も、より一層 のネットワーク強化を図り、滝山城跡等と連携した活動を継続する。

(12) 整備事業に必要となる調査等に関する計画

- ・池跡や未調査地区の継続的な調査を実施する。
- ・急傾斜地の地盤調査や水みち調査を検討する。
- ・ 史跡の自然的価値を客観的に分析し、評価するための環境調査(植生調査、生物調査など)を検討する。
- ・ 史跡を取り巻く社会情勢の変化を把握するため、来訪者アンケート等の利用状況調査を 計画的に実施する。

(13) 公開・活用に関する計画

- ・八王子城跡では、これまでに2期の大規模整備を実施し、ハード面での公開は、ある程度整ってきている。ただし、広範囲にわたる山城であることから散策ルートが分かりにくく、史跡内で道に迷う来訪者もいるため、誘導サイン等の改善を実施する。
- ・平成21年度のガイドボランティアの結成や、各種講演会、体験イベントなどソフト面での活用も徐々に定着しつつあり、今後は、人材育成や世代交代、情報発信、全国的な広域連携などにおいて、より積極的に進めていく必要がある。(具体例:ガイドボランティアの第4期募集など。)

ソフト事業の企画案

- ・「6/23 の落城日」に合わせ、八王子城跡の歴史を知り、体感できるようなイベント。
- ・北条氏ゆかりの史跡や、八王子城跡関連の諸施設をめぐるウォーキングイベント。
- ・若者への情報発信のツールとして、「うじてるくん」を活用したインターネットやSN SでのPR。
- ・八王子城跡について自主的に情報発信しているキーパーソンを招いた座談会やガイドツ アーの企画。
- ・根小屋地区に点在する市有地を利用し、戦国時代の穀物(ムギやソバなど)を栽培。近 隣の小学校等の郷土学習や体験学習の場として活用。
- ・市有地等のオープンスペースを活用し、模擬合戦(弓矢、的場、竹束など)の体験学習。
- ・八王子城跡の自然に関する勉強会等のイベント。

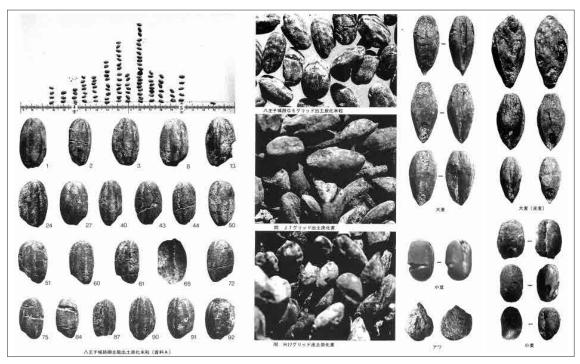




↑『雑兵物語』(東京国立博物館の画像検索コンテンツより引用)



↑唐沢山城跡の事例(平成29年の山城サミットの開催状況)



↑御主殿出土の穀物類(炭化米、炭化麦など)

(『八王子城跡X 1987 年度確認調査報告書』(平成元年) 図版 30 ~ 32 より抜粋)

(14) 管理・運営に関する計画

- ・地域の文化に根ざした歴史文化遺産として史跡を次代に継承していくため、行政による 管理運営を基本としつつ、市民や地域住民の参加による持続可能なマネジメント体制づ くりを検討する。
- ・地域住民等が史跡に誇りと愛着をもち、その保存活用の取り組みに共感できることが重要であるため、史跡に対する考え方やその保存活用の方向性に加え、地域の活力向上に資するよう取り組みの実践や情報発信を実施する。
- ・持続可能なマネジメントの実現に向けて、民間活力の導入の検討とともに、史跡等見学 に際する観覧料の徴収や史跡等歴史資料の書籍化・販売など、多角的に保存・運営・管 理を検討する。
- ・八王子城跡の保存管理に関わる事業など、史跡の保存整備や公園整備、森林管理等の関係諸機関との横断的な連絡調整等について、今後も継続して実施する。
- ・市民参加による管理等を進めていくうえで、現在のガイドボランティアによる史跡案内 など既存の活動も視野に入れつつ、日常管理や活用事業の運営など協働による取組みを 行う窓口や管理体制の確立を検討する。

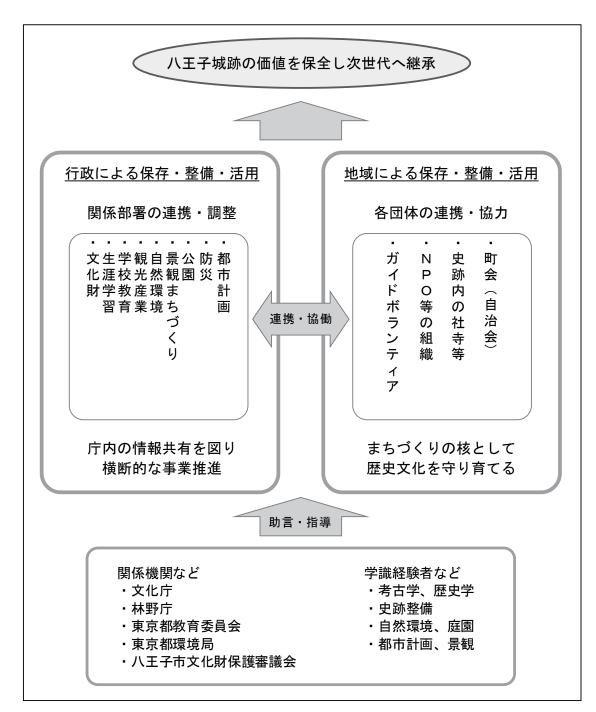


図32 事業の推進体制概念図

4. 事業計画

八王子城跡は、中世城郭としての価値に加え、落城後に形成された歴史的価値、自然的価値、社会的価値など、多様な価値が認められているため、それぞれの調和を図り、史跡の保存整備活用事業を進めていく必要がある。

各事業費について、「短期計画」の一部事業は八王子市の単独事業費で平成30年度に着手予定である。「中長期計画」の事業については、文化庁等国庫補助による事業化を図る。また、他省庁のまちづくり系事業、観光振興系事業等の活用も含めて関係機関と協議検討を進め、持続的な事業の推進を目指す。

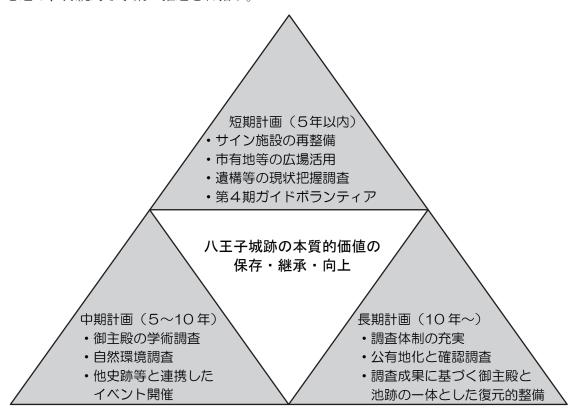


図 33 事業計画概念図

事業計画の流れとしては、第一に、史跡全体においては継続的な調査研究と史跡に携わる人材育成を継続して実施する。第二に、これまでの2期に渡る整備事業において、ガイダンス施設の設置や御主殿跡の復元的整備など、史跡の保存整備を実施できたことから、今後は活用面を重視し、短期計画としては、要害地区や居館地区のサイン施設を再整備し、来訪者の利便性向上や動線の明確化を図る。第三に、中期的には自然環境調査を含め、各種の学術調査等を推進し、御主殿の解明に向けた事前調査に着手する。第四に、長期計画としては調査成果に基づいた御主殿と池跡の一体とした復元的整備を目指すこととする。

八王子城跡の本質的価値と、 歴史的・自然的・社会的価値の保存・継承・向上

事 業 内 容

短期計画

①八王子城跡の調査研究と遺構保全

(実施項目:石垣等の現状把握調査)

⑤根小屋地区の市有地の活用

(実施項目:地元との共存・協働/解説板等の 設置/広域アクセス・誘導サインの整備)

⑥散策等を活かした歴史・文化・自然を体感 できるレクリエーションの場づくり

(実施項目:散策ルートの安全性確保/解説板等の設置/ガイドボランティアの推進)

- ①露出している遺構(四段石垣など)の劣化状況確認
- ⑤市有地に解説板やベンチ等 の便益施設を設置/都道と の分岐点のサイン整備
- ⑥散策ルート上の危険木の 除去/搦手口地区のサイン整備/第4期ガイドボ ランティアの募集と育成

中期計画 中期計画

②要害地区の散策路と展望の場としての整備活用

(実施項目:解説板等の設置/支障木の伐採)

③曳橋をはじめとする工作物、施設等の適切な 管理と史跡内の散策路整備による回遊性向上

(実施項目:既存施設の計画的な維持管理/ 回遊性のある散策ルートの確保)

④居館地区の魅力ある空間づくりによる歴史文化 を体感するエリアとしての活用

(実施項目:御主殿の学術調査)

⑦ガイダンス施設の活用

(実施項目:書籍や土産の販売/展示内容の 拡充/講演会等の継続的な普及活動)

- ②本丸周辺の景観スポット 等での支障木の伐採
- ③曳橋の南側橋台石垣の損 傷調査と再整備/既存施 設の経過観察 (モニタリング調査)
- ④池跡の確認調査/御主殿 西端の確認調査/自然環 境調査など
- ⑦滝山城跡等の北条氏ゆか りの地域と連携したイベ ントの開催

長期計画

①八王子城跡の調査研究と遺構保全

(実施項目:御主殿の確認調査推進/調査体制の充実)

④居館地区の魅力ある空間づくりによる歴史文化を体感するエリアとしての活用

(実施項目:調査成果に基づく御主殿と池跡の一体とした復元的整備)

⑧専門職員の配置と技術の向上

(実施項目:職員研修の充実/学識経験者等との連携/専門職員の増員)

(※表中の①~⑧の番号は、第4章で示した整備活用の基本方針に対応している。)

図34 事業スケジュール

巻末資料

1.参考文献

(1) 八王子城跡発掘調査報告書

- ・奥田直栄「八王子城調査報告概報」武蔵野文化協会『武蔵野』248 (1959)
- ·八王子市教育委員会·八王子城跡調査会『八王子城跡 I 1977 年度確認調査概報』(1978)
- ·八王子市教育委員会·八王子城跡調査会『八王子城跡Ⅱ 1978·1979 年度確認調査概報』(1980)
- · 八王子市教育委員会· 八王子城跡調査会『八王子城跡Ⅲ 1980 年度確認調査報告書』(1981)
- ・八王子市深沢遺跡および小田野城跡調査会『深沢遺跡・小田野城跡東京都八王子市下恩方町・ 西寺方町所在遺跡の発掘調査概報』(1981)
- ·八王子市教育委員会·八王子城跡調査会『八王子城跡IV 1981 年度確認調査概報』(1982)
- ・八王子市教育委員会・八王子城跡調査会『八王子城跡V 1982 年度確認調査概報』(1983)
- ・八王子市教育委員会・八王子城跡調査会『八王子城跡VI 1983 年度確認調査概報』(1984)
- ・八王子市教育委員会・八王子城跡『八王子城跡VII 1984 年度確認調査概報』(1985)
- ·八王子市教育委員会·八王子城跡調査会『八王子城跡VIII 1985 年度確認調査概報』(1986)
- •東京造形大学構內地区遺跡調査会『八王子城跡 東京造形大学構內地区発掘調査報告書』(1986)
- · 八王子市教育委員会· 八王子城跡調査会『八王子城跡IX 1986 年度確認調査報告書』(1987)
- · 八王子市教育委員会『八王子城跡X 1987 年度確認調査報告』(1989)
- · 八王子市教育委員会『八王子城跡 X I 1988 年度確認調査報告』(1990)
- · 八王子市教育委員会『八王子城跡 X Ⅱ 1992 年度確認調査報告』(1992)
- ・八王子市教育委員会『八王子城跡御主殿 八王子城跡XⅢ 八王子城跡御主殿発掘調査報告書』 (2002)
- ・八王子市教育委員会『国指定史跡八王子城跡XIV -平成17年度・20年度・21年度遺構確認調査報告書-』(2010)
- · 八王子市教育委員会『国指定史跡八王子城跡 X V -平成 22 年度遺構確認調査報告書-』(2011)
- ·八王子市教育委員会『国指定史跡八王子城跡XVI -平成23年度遺構等確認調査報告書-』(2012)
- ·八王子市教育委員会『国指定史跡八王子城跡XVII -平成 24 年度遺構等確認調査報告書-』(2013)
- ・八王子市教育委員会『国指定史跡八王子城跡 X VⅢ -平成 25 年度御主殿跡発掘調査概要報告書-』 (2014)
- ・八王子市教育委員会『国指定史跡八王子城跡 X IX -平成 25 年度御主殿の滝地区等測量調査、 平成 26 年度金子曲輪地区等測量調査、平成 27 年度金子曲輪東端部遺構確認調査-』(2016)

(2) 八王子城跡に係る計画書

- ・八王子市教育委員会(昭和51年3月)『八王子城跡 小仏関跡 保存管理計画書』
- ・八王子市教育委員会(昭和62年3月)『史跡八王子城跡 保存整備基本構想』
- ・八王子市教育委員会(昭和63年3月)『史跡八王子城跡 環境整備基本計画』
- ・八王子市教育委員会(平成4年3月)『史跡八王子城跡 環境整備事業報告書』
- ・八王子市教育委員会(平成17年3月)『国指定史跡 八王子城跡 保存管理計画書』
- ・八王子市教育委員会(平成19年3月)『国指定史跡 八王子城跡 保存整備基本計画書』
- ・八王子市教育委員会(平成27年2月)『国指定史跡 八王子城跡 保存管理計画書』
- · 八王子市教育委員会(平成27年3月)『国指定史跡 八王子城跡 整備活用事業報告書』

(3) その他出版物

- ・東京都教育委員会(平成18年3月)『東京都の中世城館(主要城館編)』
- ・八王子市郷土資料館(平成24年10月)『八王子城』
- ・八王子市(平成26年3月)『新八王子市史自然編』
- ・八王子市(平成26年3月)『新八王子市史資料編2中世』
- ・八王子市(平成28年3月)『新八王子市史 通史編2中世』

2. 来訪者アンケート調査

(1)目的

史跡八王子城跡は、平成元年~3年度に第一期工事として、御主殿地区の石垣、虎口、 曳橋、古道などが整備され、平成21年~26年度に第二期工事として、御主殿跡の遺構表 示、曳橋等の改修、ガイダンス施設や駐車場などが整備された。

現在の八王子城跡の利用状況を把握し、今後の整備活用に向けた基礎資料とするため、 平成28年度に冬季(12月)の休日・平日、平成29年度は春季(5月)、夏季(8月)、 秋季(11月)の休日・平日、合計8日間、来訪者アンケートを実施した。

平成29年7月31日の検討会において、「史跡での滞在時間を調査項目に追加すると、 見学コース設定に役立つのではないか。」との提案があったので、8月と11月の調査では、 可能なかぎり「滞在時間」の確認も行った。

調査の主な目的は、以下のとおりである。

- 1. 来訪の回数や頻度、来訪の目的、来訪手段の聞き取りから、史跡の利用状況を把握。
- 2.「国史跡」指定や「日本100名城」選定など、史跡の認知度の把握。
- 3. 現状での不足機能と、今後拡充すべき機能の把握。
- 4. 来訪者の性別、年齢、職業、居住地域を確認し、それらの属性ごとにクロス集計を実施することで、来訪者の史跡への関心度や整備活用の課題などを抽出。

(2)調査

①調査場所

· 八王子城跡 管理棟前 入口広場



(平成28年3月 八王子市教育委員会発行「散策マップ」より)

②調査対象

・全ての来訪者

③調査期間

調査日は休日(日曜日)と平日(水曜日)とし、調査時間は、日中の12時間(午前6時00分~午後6時00分頃)を基本に設定した。ただし、日の出と日没時間を考慮し、冬季調査は午前6時30分~午後4時30分頃に実施した。

調査当日と、その前後の気象条件は、下記のとおりである。

H. 28(冬)	調査日	時間	天気	降水量	最高気	最低気	日照時
п. 20(冬)				(mm)	温(℃)	温(℃)	間(h)
_	12月3日(土)	1	晴	0.0	15. 4	3.6	9. 0
アンケート	12月4日(日)	6:30~	晴 (21 時以	1. 5	16. 1	4.6	6.8
実施(休日)		16:30	降に小雨)				
_	12月5日(月)	_	晴	0. 5	17. 9	6. 5	7. 3
_	12月6日(火)	_	晴	0.0	18. 2	3. 1	8. 7
アンケート	12月7日(水)	6:30~	曇	0.0	9.0	1.7	0.6
実施(平日)		16:30					
_	12月8日(木)		晴	0.0	13. 1	0.6	8. 7

11 90(素)	調査日	時間	天気	降水量	最高気	最低気	日照時
H. 29(春)				(mm)	温(℃)	温(℃)	間(h)
_	5月20日(土)	_	晴	0.0	29. 4	13.8	13. 1
アンケート	5月21日(日)	6:00~	晴	0.0	31.4	15.8	11.9
実施(休日)		18:00					
_	5月22日(月)	_	晴	0.0	30. 4	16.6	11.6
_	5月23日(火)	_	晴	0.0	27.8	16. 4	12.4
アンケート	5月24日(水)	6:00~	曇	0.0	24.9	15. 7	2. 5
実施(平日)		18:00					
_	5月25日(木)	_	曇	3. 0	21. 9	17. 5	0.0

11 00/百)	調査日	時間	天気	降水量	最高気	最低気	日照時
H. 29(夏)				(mm)	温(℃)	温(℃)	間(h)
_	8月1日(火)		雨	25.0	30. 5	22. 7	0.3
アンケート	8月2日(水)	6:00~	曇一時雨	1. 5	24. 1	20. 7	0.0
実施(平日)		18:00					
_	8月3日(木)		曇	0.0	28.6	20.0	2. 3
_	8月4日(金)		曇一時雨	0.5	29. 5	21.8	0.8
_	8月5日(土)		晴	0.0	32. 3	24. 4	4. 1
アンケート	8月6日(日)	6:00~	晴	0.0	34. 1	25. 2	5. 3
実施(休日)		18:00					
_	8月7日(月)	_	晴	3. 5	32. 4	23.6	5. 2

H. 29(秋)	調査日	時間	天気	降水量	最高気	最低気	日照時
п. 29 (///)				(mm)	温(℃)	温(℃)	間(h)
_	10月31日(火)	_	曇	0.0	16. 6	5. 2	2.8
アンケート	11月1日(水)	6:00~	晴	0.0	17. 4	6. 7	8. 1
実施(平日)		18:00					
_	11月2日(木)	_	晴	0.0	19.8	7. 2	10.3
_	11月3日(金)	_	晴	1. 5	21.9	12.4	9. 2
_	11月4日(土)	_	晴	0.0	21.5	8. 5	5. 3
アンケート	11月5日(日)	6:00~	晴	0.0	16.8	5. 3	9.5
実施(休日)		17:00					
_	11月6日(月)	_	晴	0.0	18. 2	5.8	9.8

※過去調査の参考データ

II 10/4b)	調査日	時間	天気	降水量	最高気	最低気	日照時
H. 18(秋)				(mm)	温(℃)	温(℃)	間(h)
_	10月30日(月)	1	晴	0.0	21.6	13. 6	6. 1
アンケート	10月31日(火)	6:00~	晴	0.0	21.5	12.8	5. 2
実施(平日)		18:00					
_	11月1日(水)		晴	0.0	21.4	11. 4	9. 0
_	11月2日(木)		曇	0.0	16. 5	13. 3	0.2
_	11月3日(金)	_	晴	0. 5	20. 5	10.9	7. 0
アンケート	11月4日(土)	6:00~	曇	0.0	18. 5	12.5	0.9
実施(休日)		18:00					
_	11月5日(日)	_	晴	0.0	19. 9	10.8	5. 2

(気象庁データベースより) (地点:八王子観測所)

(表面)

史跡「八王子城跡」来訪者アンケート

より効果的な史跡整備を図るため、	史跡への来訪者の方々に直接、	アンケートを実施し意見を収集・分
析して、今後の整備計画策定の基礎資		₹ す 。

析して、今後の整備計画策定の基礎資料として活用させていただきます。
調査主体:八王子市教育委員会 文化財課 / 実施主体:株式会社イビソク
1.八王子城跡の利用状況について、お聞かせください。
問1. 来訪の回数 1. 初めて 2. () 回目 →来訪の頻度を教えてください。 ほぼ毎日 / 週に1回程度 / 月に1回程度 / 年に1回程度 / 数年に1回
問2. 来訪の目的 (1つのみ) 1. 史跡探訪 2. 観光 3. 自然観察 (動植物などの観察) 4. 自然散策 (森林浴などの癒やし) 5. 健康管理・体力作り 6. その他 () ★様々な史跡や名所がある中で、「八王子城跡」を選んだ理由について教えてください。 ()
問3. 来訪の手段 (複数可) 1. 徒歩 2. 自転車 3. 自家用車 4. タクシー 5. レンタカー 6. 公共バス 7. 貸し切りバス 8. 電車 9. その他 (
問4. ガイダンス施設の利用状況について、当てはまるものに O を付けてください。 1. 入館した (入館する予定) 2. 入館していない (入館しない予定)
→「1」を選んだ方にお聞きします。入館の目的を教えてください。(複数可) 1.展示を見る 2.休憩 3.トイレ 4.日本100名城スタンプ 5.パンフレットなどの情報収集 6.その他 ()
2. 史跡「八王子城跡」について、お聞きします。
問5. 八王子城の歴史について、ご存じのものに 〇 を付けてください。(複数可) 1. 城主 2. 築城~落城背景 3. 全く知らない
問6. 国の史跡に指定されていることをご存じですか。 1. はい 2. いいえ
問7. 日本100名城((財)日本城郭協会)に選ばれていることをご存じですか。 1. はい 2. いいえ
問8. 八王子城跡の魅力をより深く知るために、どんな情報収集をしていますか。 (複数可) 1. ガイドブックやパンフレットを見る 2. 一般書・専門書を読む 3. インターネットで調べる 4. 市民講座などに参加する 5. 郷土資料館などに行く 6. 特になし 7. その他 (
翌日 → ※東南へ続きますので、ご記】をお願いいたします

3. 八王子城跡の現状について、お聞かせください。(1つ のみ)
問9. 八王子城跡の散策や利用において、最も不足していると思う機能を選んでください。
1. 総合的な展示や公開施設 2. 説明板や道標などのサイン施設 3. マップなどの資料提供 4. トイレ・休憩施設
3. マップなどの資料提供 4. トイレ・休憩施設 5. 交通アクセス (バスの増便など) 6. 駐車場
7. その他 () () () () () () () () () (
4. 八王子城跡の今後について、お聞かせください。(1つ のみ)
問10. 八王子城跡の整備や活用において、最も望まれることを選んでください。
1. 案内や展示のサポート・ガイド 2. 散策道の整備
3. 歴史を感じさせる遺構復元や展示 4. トイレや休憩施設の充実
5. サイン施設の充実 6. 城山・自然公園としての環境保全
7. その他 ()
<u>5.市民協働・住民参画について、お聞かせください。(1つ のみ)</u>
問11. 八王子城跡の保存整備活用に関する活動について、最も関心があることを選んでください。
1. 史跡案内 2. 自然観察案内 3. 森林保全(剪定など)
4. 清掃活動(草刈など) 5. 施設管理 6. 特になし
7. その他 ()
6. 回答された方について、当てはまるものに O を付けてください。
問12. あなたの性別は?
9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9
問13. あなたの年齢は?
小学生未満 中高大学生
20代 30代 40代
問14. あなたの職業は?
問15. あなたの住まいは、どの地区ですか? (町名、区名、市名までお願いいたします。)
1. 八王子市 () 2. 東京都 ()
3. 他府県 () 4. 海外 ()
7. その他、ご意見がありましたら、自由にご記入ください。
·
ご協力ありがとうございました。今後の「八王子城跡」の保存・整備・活用の参考とさせていただきます。
※事務局使用欄 アンケート実施日時: 平成 年 月 日() 時 分

(3) 来訪者数と回答数等の概要(全シーズン)

H. 28(冬)	入口広場	回答数	回答者の	居住地域	来訪目的
п. 20 (冬)	通過人数		年齢構成		
休日	約 333 人	196 人	60 代以上	市内=25%	史跡探訪=42%
12月4日	(目視でき		=48%	市外=30%	観光=4%
(日)	た人数)	総数の 59%	小学生以下	他府県=43%	自然観察・自然
		男 60%、女 40%	=5%	海外=0%	散策=33%
平日	約 64 人	43 人	60 代以上	市内=30%	史跡探訪=37%
12月7日	(目視でき		=39%	市外=42%	観光=13%
(水)	た人数)	総数の 67%	小学生以下	他府県=21%	自然観察・自然
		男 79%、女 21%	=0%	海外=7%	散策=23%

11 00(素)	入口広場	回答数	回答者の	居住地域	来訪目的
H. 29(春)	通過人数		年齢構成		
休日	約 327 人	210 人	60 代以上	市内=31%	史跡探訪=37%
5月21日	(目視でき		=38%	市外=32%	観光=6%
(日)	た人数)	総数の 64%	小学生以下	他府県=34%	自然観察・自然
		男 67%、女 32%	=0%	海外=0%	散策=35%
平日	約 115 人	66 人	60 代以上	市内=26%	史跡探訪=38%
5月24日	(目視でき		=57%	市外=4239%	観光=6%
(水)	た人数)	総数の 57%	小学生以下	他府県=32%	自然観察・自然
		男 59%、女 39%	=0%	海外=2%	散策=34%

11 00 (耳)	入口広場	回答数	回答者の	居住地域	来訪目的
H. 29(夏)	通過人数		年齢構成		
休日	約 210 人	127 人	60 代以上	市内=25%	史跡探訪=49%
8月6日	(目視でき		=20%	市外=37%	観光=3%
(日)	た人数)	総数の 60%	小学生以下	他府県=37%	自然観察・自然
		男 69%、女 31%	=5%	海外=0%	散策=13%
平日	約 48 人	17 人	60 代以上	市内=29%	史跡探訪=50%
8月2日	(目視でき		=47%	市外=18%	観光=0%
(水)	た人数)	総数の 35%	小学生以下	他府県=47%	自然観察・自然
		男 59%、女 41%	=18%	海外=0%	散策=22%

H. 29(秋)	入口広場	回答数	回答者の	居住地域	来訪目的
н. 29 (秋)	通過人数		年齢構成		
休日	約 376 人	277 人	60 代以上	市内=25%	史跡探訪=37%
11月5日	(目視でき		=38%	市外=37%	観光=8%
(日)	た人数)	総数の 74%	小学生以下	他府県=37%	自然観察・自然
		男 58%、女 42%	=3%	海外=0%	散策=32%
平日	約 99 人	55 人	60 代以上	市内=27%	史跡探訪=35%
11月1日	(目視でき		=71%	市外=55%	観光=11%
(水)	た人数)	総数の 56%	小学生以下	他府県=18%	自然観察・自然
		男 62%、女 38%	=0%	海外=0%	散策=31%

※過去調査の参考データ

H. 18(秋)	来訪者	回答数	回答者の	居住地域	来訪目的
п. 10 (///)	総数		年齢構成		
週末	241 人	164 人	60 代以上	市内=51%	史跡探訪=30%
11月4日			=28%	市外=35%	観光=9%
(土)		総数の 68%	小学生以下	他府県=14%	自然観察・自然
		男 60%、女 40%	=5%		散策=30%
平日	158 人	118 人	60 代以上	市内=56%	史跡探訪=31%
10月31日			=73%	市外=35%	観光=21%
(火)		総数の 75%	小学生以下	他府県=9%	自然観察・自然
		男 59%、女 41%	=0%		散策=14%

(4) 単純集計結果

◆冬季

来訪の回数

		平成28年12月4日(日) 回答数 回答比率			平成28年12月7日(水) 回答数 回答比率		
1. 初めて		107	55%		20	47%	
2. 再訪		76	39%		22	51%	
2~5	(47	24%)	(12	28%)	
6~10	(10	5%)	(2	5%)	
11~49	(11	6%)	(5	12%)	
50 ~ 99	(3	2%)	(1	2%)	
100~	(4	2%)	(2	5%)	
不明、無回答		13	7%		1	2%	
計		196	100%		43	100%	

来訪の頻度

	平成28年12月4日(日 回答数 回答比率		平成28年12月7日(水) 回答数 回答比率		
ほぼ毎日	2 3%	1	5%		
週に1回程度	9 12%	3	14%		
月に1回程度	17 22%	6	27%		
年に1回程度	22 29%	4	18%		
数年に1回	19 25%	8	36%		
不明、無回答	7 9%	0	0%		
計	76 100%	22	100%		

来訪の目的(※複数回答あり)

	平成28年12月4日(日)		平成28年12月7日(水)		
	回答数 回]答比率	回答数 回	答比率	
1. 史跡探訪	93	42%	19	37%	
2. 観光	9	4%	7	13%	
3. 自然観察(動植物などの観察)	13	6%	5	10%	
4. 自然散策(森林浴などの癒やし)	59	27%	7	13%	
5. 健康管理・体力作り	30	14%	10	19%	
6. その他	13	6%	3	6%	
不明、無回答	4	2%	1	2%	
計	221	100%	52	100%	

来訪の手段(※複数回答あり)

		平成28年12月4日(日) 回答数 回答比率		平成28年12月7日(水) 回答数 回答比率		
1. 徒歩	30	13%	10	20%		
2. 自転車	8	3%	2	4%		
3. 自家用車	97	40%	23	45%		
4. タクシー	6	3%	1	2%		
5. レンタカー	3	1%	1	2%		
6. 公共バス	54	23%	5	10%		
7. 貸し切りバス	0	0%	0	0%		
8. 電車	39	16%	7	14%		
9. その他	2	1%	2	4%		
不明、無回答	1	0%	0	0%		
計	240	100%	51	100%		

ガイダンス施設の利用状況(※施設のオープンは、平成24年10月20日)

	平成28年12月4日(日) 回答数 回答比率	平成28年12月7日(水) 回答数 回答比率	
1. 入館した(予定含む)	130 66%	29 67%	
2. 入館しない	66 34%	10 23%	
不明、無回答	0 0%	4 9%	
計	196 100%	43 100%	

ガイダンス施設入館の目的(※複数回答あり)

	平成28年12月4日(日) 回答数 回答比率		平成28年12月7日(水) 回答数 回答比率		
1. 展示を見る	89	30%	19	28%	
2. 休憩	18	6%	7	10%	
3. トイレ	40	14%	12	18%	
4. 日本100名城スタンプ	39	13%	9	13%	
5. パンフレットなどの情報収集	32	11%	7	10%	
6. その他	1	0%	1	1%	
不明、無回答	73	25%	13	19%	
計	292	100%	68	100%	

歴史の認識度(※複数回答あり)

	平成28年12月4日(日) 回答数 回答比率	平成28年12月7日(水) 回答数 回答比率
1. 城主	98 40%	30 49%
2. 築城~落城背景	74 30%	24 39%
3. 全く知らない	70 29%	7 11%
不明、無回答	2 1%	0 0%
計	244 100%	61 100%

国史跡指定の認知度

	平成28年12月4日(日) 回答数 回答比率	平成28年12月7日(水) 回答数 回答比率	
1. 知っている	120 61%	29 67%	
2. 知らない	73 37%	14 33%	
不明、無回答	3 2%	0 0%	
計	196 100%	43 100%	

日本 100 名城の認知度(※ 100 名城の選定は、平成 18 年 4 月 6 日)

	平成28年12月4日(日) 回答数 回答比率	平成28年12月7日(水) 回答数 回答比率
1. 知っている	119 61%	26 60%
2. 知らない	75 38%	17 40%
不明、無回答	2 1%	0 0%
計	196 100%	43 100%

八王子城跡の情報収集手段(※複数回答あり)

	平成28年12 回答数 回	2月4日(日)]答比率	平成28年12月 回答数 回答	月7日(水) 答比率
1. ガイドブックやパンフレットを見る	90	35%	24	37%
2. 一般書・専門書を読む	16	6%	5	8%
3. インターネットで調べる	68	27%	18	28%
4. 市民講座などに参加する	1	0%	3	5%
5. 郷土資料館などに行く	18	7%	7	11%
6. 特になし	52	20%	7	11%
7. その他	2	1%	0	0%
不明、無回答	9	4%	1	2%
計	256	100%	65	100%

不足していると思うもの(※複数回答あり)

	平成28年12 回答数 回	2月4日(日)]答比率	平成28年12 回答数 回	月7日(水) 答比率
1. 総合的な展示や公開施設	18	7%	3	6%
2. 説明板や道標などのサイン施設	26	10%	6	11%
3. マップなどの資料提供	23	9%	6	11%
4. トイレ・休憩施設	20	8%	2	4%
5. 交通アクセス(バスの増便など)	32	13%	14	26%
6. 駐車場	3	1%	0	0%
7. その他	42	17%	8	15%
不明、無回答	85	34%	14	26%
計	249	100%	53	100%

今後望むもの(※複数回答あり)

	平成28年12 回答数 回	2月4日(日)]答比率	平成28年12 回答数 回	
1. 案内や展示のサポート・ガイド	26	11%	4	8%
2. 散策道の整備	31	13%	2	4%
3. 歴史を感じさせる遺構復元や展示	47	20%	14	27%
4. トイレや休憩施設の充実	21	9%	7	14%
5. サイン施設の充実	3	1%	1	2%
6. 城山・自然公園としての環境保全	44	19%	5	10%
7. その他	20	9%	6	12%
不明、無回答	43	18%	12	24%
計	235	100%	51	100%

八王子城跡の保存整備活用に関する活動で関心があること(※複数回答あり)

	平成28年12	2月4日(日)	平成28年12月7日(水) 回答数 回答比率		
	回答数回]答比率			
1. 史跡案内	80	36%	13	27%	
2. 自然観察案内	33	15%	8	17%	
3. 森林保全(剪定など)	30	13%	8	17%	
4. 清掃活動(草刈など)	14	6%	3	6%	
5. 施設管理	8	4%	5	10%	
6. 特になし	35	16%	5	10%	
7. その他	3	1%	1	2%	
不明、無回答	20	9%	5	10%	
計	223	100%	48	100%	

回答者の性別

	平成28年12月4日(日) 回答数 回答比率	平成28年12月7日(水) 回答数 回答比率		
男	117 60%	34 79%		
女	79 40%	9 21%		
不明、無回答	0 0%	0 0%		
計	196 100%	43 100%		

回答者の年齢(※12/4の調査において複数回答あり)

	平成28年12	2月4日(日)	平成28年12月7日(水)		
	回答数 回	回答数 回答比率		答比率	
小学生未満	0	0%	0	0%	
小学生	9	5%	0	0%	
中高大学生	5	3%	2	5%	
20代	13	7%	0	0%	
30代	16	8%	6	14%	
40代	31	16%	9	21%	
50代	28	14%	9	21%	
60代	46	23%	7	16%	
70代以降	49	25%	10	23%	
不明、無回答	0	0%	0	0%	
計	197	100%	43	100%	

全来訪者の年齢(※複数回答あり)

(※全来訪者とはアンケート回答者と来訪を確認出来たアンケート未回答者を合わせたもの。アンケート未回答者の年齢は調査員の観察判断による。)

	平成28年12		平成28年12月7日(水) 回答数 回答比率		
	回答数 回	回答比率			
小学生未満	3	1%	0	0%	
小学生	23	7%	0	0%	
中高大学生	7	2%	2	3%	
20代	15	5%	0	0%	
30代	40	12%	10	17%	
40代	64	19%	9	16%	
50代	48	14%	10	17%	
60代	80	24%	15	26%	
70代以降	52	16%	12	21%	
不明、無回答	0	0%	0	0%	
計	332	100%	58	100%	

回答者の職業

	平成28年12 回答数 回	2月4日(日) 回答比率	平成28年12月7日(水) 回答数 回答比率		
農林漁業	0	0%	0	0%	
自営業	4	2%	1	2%	
会社員・サラリーマン	68	35%	22	51%	
公務員	13	7%	0	0%	
主婦	38	19%	4	9%	
学生	16	8%	2	5%	
その他	56	29%	13	30%	
不明、無回答	1	1%	1	2%	
計	196	100%	43	100%	

回答者の居住地域

		平成28年12月4日(日) 回答数 回答比率			平成28年12月7日(水) 回答数 回答比率		
1. 八王子市		49	25%	•	13	30%	
当該地域	(29	15%)	(9	21%)	
隣接地域	(13	7%)	(3	7%)	
郊外地域	(4	2%)	(0	0%)	
不明	(3	2%)	(1	2%)	
2. 東京都		59	30%		18	42%	
多摩地域	(35	18%)	(11	26%)	
区部(西部)	(11	6%)	(5	12%)	
区部(中央部)	(6	3%)	(2	5%)	
区部(東部)	(2	1%)	(0	0%)	
不明	(5	3%)	(0	0%)	
3. 他府県		85	43%		9	21%	
隣接県	(51	26%)	(5	12%)	
関東	(15	8%)	(3	7%)	
その他	(17	9%)	(0	0%)	
不明	(2	1%)	(1	2%)	
4. 海外		0	0%		3	7%	
在日	(0	0%)	(0	0%)	
滞在	(0	0%)	(3	7%)	
不明	(0	0%)	(0	0%)	
不明、無回答		3	2%		0	0%	
計	1	196	100%		43	100%	

アンケート実施時間帯

	平成28年12月4日(日)			平成28年1	平成28年12月7日(水)			
	男	女	計	男	女	計		
6:00~7:00	0	0	0	0	0	0		
7:00~8:00	7	1	8	0	0	0		
8:00~9:00	13	13	26	2	0	2		
9:00~10:00	9	6	15	6	0	6		
10:00~11:00	20	14	34	3	0	3		
11:00~12:00	17	5	22	7	2	9		
12:00~13:00	14	12	26	7	3	10		
13:00~14:00	18	10	28	2	3	5		
14:00~15:00	6	11	17	4	0	4		
15:00~16:00	9	7	16	3	1	4		
16:00~17:00	4	0	4	0	0	0		
17:00~18:00	0	0	0	0	0	0		
不明	0	0	0	0	0	0		
計	117	79	196	34	9	43		

◆春季

来訪の回数

	平成29 ⁵ 回答数	∓5月21日(日) 回答比率		平成29年5月24日(水) 回答数 回答比率		
1. 初めて	11	7 56%		37 56%		
2. 再訪	9	1 43%		29 44%		
2~5	(48	3 23%)	(20 30%)		
6~10	(1	7 8%)	(4 6%)		
11~49	(10	8%)	(4 6%)		
50 ~ 99	(5 2%)	(1 2%)		
100~	(4 2%)	(0 0%)		
不明、無回答	;	2 1%		0 0%		
計	210	0 100%		66 100%		

来訪の頻度

		平成29年5月21日(日) 回答数 回答比率		平成29年5月24日(水) 回答数 回答比率		
ほぼ毎日	0	0%	0	0%		
週に1回程度	13	14%	2	7%		
月に1回程度	18	20%	5	17%		
年に1回程度	34	37%	14	48%		
数年に1回	26	29%	8	28%		
不明、無回答	0	0%	0	0%		
計	91	100%	29	100%		

来訪の目的(※複数回答あり)

	平成29年5月21日(日) 回答数 回答比率		平成29年5月24日(水) 回答数 回答比率		
1. 史跡探訪	89	37%	30	38%	
2. 観光	14	6%	5	6%	
3. 自然観察(動植物などの観察)	43	18%	12	15%	
4. 自然散策(森林浴などの癒やし)	42	17%	15	19%	
5. 健康管理・体力作り	40	16%	10	13%	
6. その他	12	5%	5	6%	
不明、無回答	3	1%	2	3%	
計	243	100%	79	100%	

来訪の手段(※複数回答あり)

	平成29年5	平成29年5月21日(日) 回答数 回答比率		平成29年5月24日(水) 回答数 回答比率		
	回答数 [
1. 徒歩	40	16%	15	19%		
2. 自転車	9	3%	6	8%		
3. 自家用車	107	41%	43	54%		
4. タクシー	5	2%	0	0%		
5. レンタカー	0	0%	0	0%		
6. 公共バス	53	21%	7	9%		
7. 貸し切りバス	1	0%	0	0%		
8. 電車	34	13%	7	9%		
9. その他	7	3%	1	1%		
不明、無回答	2	1%	0	0%		
計	258	100%	79	100%		

ガイダンス施設の利用状況(※施設のオープンは、平成24年10月20日)

	平成29年5月21日(日) 回答数 回答比率	平成29年5月24日(水) 回答数 回答比率
1. 入館した(予定含む)	144 69%	34 52%
2. 入館しない	65 31%	29 44%
不明、無回答	1 0%	3 5%
計	210 100%	66 100%

ガイダンス施設入館の目的(※複数回答あり)

	平成29年5. 回答数 回	月21日(日)]答比率	平成29年5月 回答数 回	月24日(水) 答比率
1. 展示を見る	84	25%	25	31%
2. 休憩	34	10%	5	6%
3. トイレ	59	17%	5	6%
4. 日本100名城スタンプ	42	12%	7	9%
5. パンフレットなどの情報収集	45	13%	8	10%
6. その他	2	1%	0	0%
不明、無回答	75	22%	31	38%
計	341	100%	81	100%

歴史の認識度(※複数回答あり)

	平成29年5月21日(日) 回答数 回答比率	平成29年5月24日(水) 回答数 回答比率
1. 城主	99 37%	36 43%
2. 築城~落城背景	98 36%	31 37%
3. 全く知らない	69 26%	17 20%
不明、無回答	3 1%	0 0%
計	269 100%	84 100%

国史跡指定の認知度

	平成29年5月21日(日) 回答数 回答比率	平成29年5月24日(水) 回答数 回答比率
 1. 知っている	147 70%	43 65%
2. 知らない	62 30%	23 35%
不明、無回答	1 0%	0 0%
計	210 100%	66 100%

日本 100 名城の認知度(※ 100 名城の選定は、平成 18 年 4 月 6 日)

	平成29年5月21日(日) 回答数 回答比率	平成29年5月24日(水) 回答数 回答比率
1. 知っている	127 60%	36 55%
2. 知らない	82 39%	30 45%
不明、無回答	1 0%	0 0%
計	210 100%	66 100%

八王子城跡の情報収集手段(※複数回答あり)

	平成29年5 <i>.</i> 回答数 回	月21日(日)]答比率	平成29年5月 回答数 回	月24日(水) 答比率
1. ガイドブックやパンフレットを見る	72	25%	24	29%
2. 一般書・専門書を読む	15	5%	5	6%
3. インターネットで調べる	92	32%	29	35%
4. 市民講座などに参加する	5	2%	1	1%
5. 郷土資料館などに行く	25	9%	2	2%
6. 特になし	61	21%	14	17%
7. その他	5	2%	2	2%
不明、無回答	9	3%	5	6%
計	284	100%	82	100%

不足していると思うもの(※複数回答あり)

	平成29年5月21日(日)		平成29年5月24日(水		
	回答数 回]答比率	回答数 回	答比率	
1. 総合的な展示や公開施設	16	6%	8	10%	
2. 説明板や道標などのサイン施設	27	11%	8	10%	
3. マップなどの資料提供	21	8%	8	10%	
4. トイレ・休憩施設	15	6%	12	16%	
5. 交通アクセス(バスの増便など)	46	18%	16	21%	
6. 駐車場	1	0%	0	0%	
7. その他	33	13%	5	6%	
不明、無回答	91	36%	20	26%	
計	250	100%	77	100%	

今後望むもの(※複数回答あり)

	平成29年5, 回答数 回	月21日(日)]答比率	平成29年5月 回答数 回	月24日(水) 答比率
1. 案内や展示のサポート・ガイド	27	11%	8	10%
2. 散策道の整備	36	15%	11	14%
3. 歴史を感じさせる遺構復元や展示	43	18%	16	20%
4. トイレや休憩施設の充実	22	9%	13	16%
5. サイン施設の充実	3	1%	1	1%
6. 城山・自然公園としての環境保全	58	24%	19	23%
7. その他	10	4%	2	2%
不明、無回答	44	18%	11	14%
計	243	100%	81	100%

八王子城跡の保存整備活用に関する活動で関心があること(※複数回答あり)

		平成29年5月21日(日) 回答数 回答比率		平成29年5月24日(水) 回答数 回答比率		
1. 史跡案内	71	31%	19	26%		
2. 自然観察案内	33	14%	10	14%		
3. 森林保全(剪定など)	34	15%	21	29%		
4. 清掃活動(草刈など)	18	8%	5	7%		
5. 施設管理	6	3%	3	4%		
6. 特になし	30	13%	9	13%		
7. その他	3	1%	0	0%		
不明、無回答	35	15%	5	7%		
	230	100%	72	100%		

回答者の性別

	平成29年5月21日(日) 回答数 回答比率	平成29年5月24日(水) 回答数 回答比率
男	141 67%	39 59%
女	68 32%	26 39%
不明、無回答	1 0%	1 2%
計	210 100%	66 100%

回答者の年齢

	平成29年5	平成29年5月	124日(水)		
	回答数 回答比率		回答数 回答比率		
小学生未満	0	0%	0	0%	
小学生	1	0%	0	0%	
中高大学生	4	2%	4	6%	
20代	10	5%	1	2%	
30代	26	12%	2	3%	
40代	39	19%	6	9%	
50代	46	22%	14	21%	
60代	45	21%	22	33%	
70代以降	36	17%	16	24%	
不明、無回答	3	1%	1	2%	
計	210	100%	66	100%	

全来訪者の年齢(※複数回答あり)

(※全来訪者とはアンケート回答者と来訪を確認出来たアンケート未回答者を合わせたもの。アンケート未回答者の年齢は調査員の観察判断による。)

		月21日(日)	平成29年5月	
	回答数 回	回答比率	回答数 回	答比率
小学生未満	1	0%	0	0%
小学生	13	4%	0	0%
中高大学生	5	2%	4	4%
20代	22	7%	1	1%
30代	43	13%	4	4%
40代	62	19%	12	11%
50代	71	22%	23	20%
60代	68	21%	47	41%
70代以降	39	12%	23	20%
不明、無回答	0	0%	0	0%
計	324	100%	114	100%

回答者の職業

	平成29年5 回答数 回	月21日(日)]答比率		平成29年5月24日(水) 回答数 回答比率		
農林漁業	2	1%	0	0%		
自営業	12	6%	8	12%		
会社員・サラリーマン	98	47%	11	17%		
公務員	8	4%	0	0%		
主婦	35	17%	17	26%		
学生	8	4%	5	8%		
その他	39	19%	23	35%		
不明、無回答	8	4%	2	3%		
計	210	100%	66	100%		

回答者の居住地域

	平成29年5月21日(日)				月24日(水)
	回答数 [回答比率	<u> </u>	回答数 回答比率	
1. 八王子市	66	31%		17	26%
当該地域	(20	10%)	(5	8%)
隣接地域	(18	9%)	(2	3%)
郊外地域	(7	3%)	(5	8%)
不明	(21	10%)	(5	8%)
2. 東京都	67	32%		26	39%
多摩地域	(15	7%)	(18	27%)
区部(西部)	(1	0%)	(0	0%)
区部(中央部)	(8	4%)	(1	2%)
区部(東部)	(26	12%)	(2	3%)
不明	(17	8%)	(5	8%)
3. 他府県	71	34%		21	32%
隣接県	(39	19%)	(5	8%)
関東	(9	4%)	(4	6%)
その他	(9	4%)	(5	8%)
不明	(14	7%)	(7	11%)
4. 海外	1	0%		1	2%
在日	(0	0%)	(0	0%)
滞在	(1	0%)	(1	2%)
不明	(0	0%)	(0	0%)
不明、無回答	5	2%	·	1	2%
計	210	100%		66	100%

アンケート実施時間帯

	平成29年5	平成29年5月21日(日)			月24日(水	<)
	男	女	計	男	女	計
6:00~7:00	2	0	2	2	1	3
7:00~8:00	9	1	10	2	2	4
8:00~9:00	11	8	20	3	2	5
9:00~10:00	26	9	35	3	2	5
10:00~11:00	25	5	30	11	3	15
11:00~12:00	15	7	22	7	8	15
12:00~13:00	16	7	23	3	2	5
13:00~14:00	6	6	12	1	2	3
14:00~15:00	9	10	19	1	3	4
15:00~16:00	13	6	19	0	0	0
16:00~17:00	6	6	12	4	1	5
17:00~18:00	3	3	6	2	0	2
不明	0	0	0	0	0	0
計	141	68	210	39	26	66

◆夏季

来訪の回数

		平成29年8月6日(日) 回答数 回答比率		平成29年8月2日(水) 回答数 回答比率		
1. 初めて		90	71%		13	76%
2. 再訪		37	29%		4	24%
2~5	(16	13%)	(1	6%)
6~10	(8	6%)	(0	0%)
11~49	(7	6%)	(3	18%)
50 ~ 99	(4	3%)	(0	0%)
100~	(1	1%)	(0	0%)
不明、無回答	•	0	0%		0	0%
計		127	100%		17	100%

来訪の頻度

		平成29年8月6日(日) 回答数 回答比率		平成29年8月2日(水) 回答数 回答比率		
ほぼ毎日	1	3%	0	0%		
週に1回程度	4	11%	0	0%		
月に1回程度	12	32%	3	75%		
年に1回程度	8	22%	1	25%		
数年に1回	10	27%	0	0%		
不明、無回答	2	5%	0	0%		
計	37	100%	4	100%		

来訪の目的(※複数回答あり)

	平成29年8月6日(日)		平成29年8月2日(水		
	回答数 回	回答比率	回答数 回	答比率	
1. 史跡探訪	74	49%	9	50%	
2. 観光	5	3%	0	0%	
3. 自然観察(動植物などの観察)	9	6%	0	0%	
4. 自然散策(森林浴などの癒やし)	10	7%	4	22%	
5. 健康管理・体力作り	25	17%	2	11%	
6. その他	27	18%	3	17%	
不明、無回答	1	1%	0	0%	
計	151	100%	18	100%	

来訪の手段(※複数回答あり)

	平成29年8.	平成29年8月6日(日) 回答数 回答比率		平成29年8月2日(水) 回答数 回答比率		
	回答数 回					
1. 徒歩	29	18%	6	30%		
2. 自転車	2	1%	0	0%		
3. 自家用車	62	38%	9	45%		
4. タクシー	2	1%	0	0%		
5. レンタカー	1	1%	1	5%		
6. 公共バス	31	19%	1	5%		
7. 貸し切りバス	0	0%	0	0%		
8. 電車	31	19%	3	15%		
9. その他	6	4%	0	0%		
不明、無回答	0	0%	0	0%		
計	164	100%	20	100%		

ガイダンス施設の利用状況(※施設のオープンは、平成24年10月20日)

	平成29年8月6日(日) 回答数 回答比率	平成29年8月2日(水) 回答数 回答比率		
1. 入館した(予定含む)	80 63%	14 82%		
2. 入館しない	46 36%	3 18%		
不明、無回答	1 1%	0 0%		
計	127 100%	17 100%		

ガイダンス施設入館の目的(※複数回答あり)

	平成29年8月6日(日) 回答数 回答比率		平成29年8月2日(水) 回答数 回答比率	
1. 展示を見る	46	25%	7	25%
2. 休憩	14	8%	1	4%
3. トイレ	19	10%	2	7%
4. 日本100名城スタンプ	29	16%	6	21%
5. パンフレットなどの情報収集	22	12%	9	32%
6. その他	1	1%	0	0%
不明、無回答	52	28%	3	11%
計	183	100%	28	100%

歴史の認識度(※複数回答あり)

	平成29年8月6日(日) 回答数 回答比率	平成29年8月2日(水) 回答数 回答比率
1. 城主	70 44%	8 35%
2. 築城~落城背景	45 28%	11 48%
3. 全く知らない	42 26%	4 17%
不明、無回答	2 1%	0 0%
計	159 100%	23 100%

国史跡指定の認知度

	平成29年8月6日(日) 回答数 回答比率	平成29年8月2日(水) 回答数 回答比率	
1. 知っている	78 61%	10 59%	
2. 知らない	49 39%	7 41%	
不明、無回答	0 0%	0 0%	
計	127 100%	17 100%	

日本 100 名城の認知度(※ 100 名城の選定は、平成 18 年 4 月 6 日)

	平成29年8月6日(日) 回答数 回答比率	平成29年8月2日(水) 回答数 回答比率
1. 知っている	79 62%	15 88%
2. 知らない	48 38%	2 12%
不明、無回答	0 0%	0 0%
計	127 100%	17 100%

八王子城跡の情報収集手段(※複数回答あり)

	平成29年8月6日(日) 回答数 回答比率		平成29年8月 回答数 回	
1. ガイドブックやパンフレットを見る	34	22%	9	38%
2. 一般書・専門書を読む	14	9%	3	13%
3. インターネットで調べる	59	37%	11	46%
4. 市民講座などに参加する	2	1%	0	0%
5. 郷土資料館などに行く	6	4%	0	0%
6. 特になし	36	23%	1	4%
7. その他	1	1%	0	0%
不明、無回答	6	4%	0	0%
計	158	100%	24	100%

不足していると思うもの(※複数回答あり)

	平成29年8月		平成29年8月	
	回答数 叵]答比率	回答数 回	答比 率
1. 総合的な展示や公開施設	21	14%	1	5%
2. 説明板や道標などのサイン施設	21	14%	2	10%
3. マップなどの資料提供	18	12%	3	14%
4. トイレ・休憩施設	7	5%	1	5%
5. 交通アクセス(バスの増便など)	22	15%	1	5%
6. 駐車場	2	1%	0	0%
7. その他	17	11%	3	14%
不明、無回答	41	28%	10	48%
計	149	100%	21	100%

今後望むもの(※複数回答あり)

	平成29年8 回答数 回	月6日(日)]答比率	平成29年8月 回答数 回	
1. 案内や展示のサポート・ガイド	24	16%	2	11%
2. 散策道の整備	13	9%	1	6%
3. 歴史を感じさせる遺構復元や展示	38	26%	4	22%
4. トイレや休憩施設の充実	11	7%	1	6%
5. サイン施設の充実	5	3%	0	0%
6. 城山・自然公園としての環境保全	23	16%	3	17%
7. その他	11	7%	1	6%
不明、無回答	22	15%	6	33%
計	147	100%	18	100%

八王子城跡の保存整備活用に関する活動で関心があること(※複数回答あり)

		平成29年8月6日(日) 回答数 回答比率		平成29年8月2日(水) 回答数 回答比率	
1. 史跡案内	48	36%	6	35%	
2. 自然観察案内	13	10%	1	6%	
3. 森林保全(剪定など)	17	13%	2	12%	
4. 清掃活動(草刈など)	9	7%	1	6%	
5. 施設管理	9	7%	0	0%	
6. 特になし	27	20%	2	12%	
7. その他	1	1%	0	0%	
不明、無回答	10	7%	5	29%	
計	134	100%	17	100%	

回答者の性別

	平成29年8月6日(日) 回答数 回答比率	平成29年8月2日(水) 回答数 回答比率
	87 69%	10 59%
女	40 31%	7 41%
不明、無回答	0 0%	0 0%
計	127 100%	17 100%

回答者の年齢

		平成29年8月6日(日) 回答数 回答比率		平成29年8月2日(水) 回答数 回答比率	
小学生未満	0	0%	0	0%	
小学生	6	5%	3	18%	
中高大学生	13	10%	0	0%	
20代	5	4%	1	6%	
30代	21	17%	2	12%	
40代	36	28%	11	6%	
50代	21	17%	2	12%	
60代	10	8%	6	35%	
70代以降	15	12%	2	12%	
不明、無回答	0	0%	0	0%	
計	127	100%	17	100%	

全来訪者の年齢(※複数回答あり)

(※全来訪者とはアンケート回答者と来訪を確認出来たアンケート未回答者を合わせたもの。アンケート未回答者の年齢は調査員の観察判断による。)

	平成29年8.	平成29年8月6日(日)		平成29年8月2日(水)	
	回答数 回]答比率	回答数 回	答比率	
小学生未満	0	0%	0	0%	
小学生	17	8%	3	7%	
中高大学生	17	8%	1	2%	
20代	9	4%	1	2%	
30代	47	23%	11	26%	
40代	49	24%	4	9%	
50代	33	16%	6	14%	
60代	17	8%	12	28%	
70代以降	19	9%	5	12%	
不明、無回答	0	0%	0	0%	
計	208	100%	43	100%	

回答者の職業

		平成29年8月6日(日) 回答数 回答比率		平成29年8月2日(水) 回答数 回答比率		
農林漁業	0	0%	0	0%		
自営業	11	9%	1	6%		
会社員・サラリーマン	55	43%	3	18%		
公務員	12	9%	0	0%		
主婦	12	9%	2	12%		
学生	20	16%	4	24%		
その他	16	13%	6	35%		
不明、無回答	1	1%	1	6%		
計	127	100%	17	100%		

回答者の居住地域

			月6日(日)]2日(水)	
	回:	回答数 回答比率			回答数 回答比率		
1. 八王子市		32	25%		5	29%	
当該地域	(17	13%)	(2	12%)	
隣接地域	(10	8%)	(0	0%)	
郊外地域	(5	4%)	(3	18%)	
不明	(0	0%)	(0	0%)	
2. 東京都		47	37%		3	18%	
多摩地域	(13	10%)	(1	6%)	
区部(西部)	(15	12%)	(0	0%)	
区部(中央部)	(6	5%)	(1	6%)	
区部(東部)	(5	4%)	(0	0%)	
不明	(8	6%)	(1	6%)	
3. 他府県		47	37%		8	47%	
隣接県	(30	24%)	(4	24%)	
関東	(6	5%)	(0	0%)	
その他	(8	6%)	(3	18%)	
不明	(3	2%)	(1	6%)	
4. 海外		0	0%		0	0%	
在日	(0	0%)	(0	0%)	
滞在	(0	0%)	(0	0%)	
不明	(0	0%)	(0	0%)	
不明、無回答		1	1%		1	6%	
計		127	100%		17	100%	

アンケート実施時間帯

	平成29年8	平成29年8月6日(日)			3月2日(水)
	男	女	計	男	女	計
6:00~7:00	2	0	2	0	0	0
7:00~8:00	6	4	10	0	0	0
8:00~9:00	8	1	9	0	0	0
9:00~10:00	7	2	9	0	0	0
10:00~11:00	15	13	28	0	0	0
11:00~12:00	10	3	13	2	0	2
12:00~13:00	10	2	12	1	1	2
13:00~14:00	9	3	12	1	3	4
14:00~15:00	1	3	4	5	0	5
15:00~16:00	8	5	13	1	2	3
16:00~17:00	10	3	13	0	1	1
17:00~18:00	1	1	2	0	0	0
不明	0	0	0	0	0	0
計	87	40	127	10	7	17

◆秋季

来訪の回数

		平成29年11月5日(日) 回答数 回答比率			平成29年11月1日(水) 回答数 回答比率		
1. 初めて		171	62%		35	64%	
2. 再訪		105	38%		20	36%	
2~5	(74	27%)	(12	22%)	
6~10	(13	5%)	(3	5%)	
11~49	(9	3%)	(0	0%)	
50 ~ 99	(8	3%)	(3	5%)	
100~	(1	0%)	(2	4%)	
不明、無回答		1	0%		0	0%	
計	•	277	100%	•	55	100%	

来訪の頻度

	平成29年1 ⁻ 回答数 回	月5日(日) 答比率	平成29年11月1日(水) 回答数 回答比率		
ほぼ毎日	1	1%	1	5%	
週に1回程度	2	2%	1	5%	
月に1回程度	18	17%	3	15%	
年に1回程度	33	31%	6	30%	
数年に1回	51	49%	9	45%	
不明、無回答	0	0%	0	0%	
計	105	100%	20	100%	

来訪の目的(※複数回答あり)

	平成29年11 回答数 回	月5日(日)]答比率	平成29年11月1日(水) 回答数 回答比率		
1. 史跡探訪	121	36%	23	35%	
2. 観光	27	8%	7	11%	
3. 自然観察(動植物などの観察)	27	8%	1	2%	
4. 自然散策(森林浴などの癒やし)	86	26%	19	29%	
5. 健康管理・体力作り	51	15%	8	12%	
6. その他	19	6%	7	11%	
不明、無回答	1	0%	0	0%	
計	332	100%	65	100%	

来訪の手段(※複数回答あり)

·	平成29年1	1月5日(日)	平成29年1	1月1日(水)
	回答数 回	回答比率	回答数 [回答比率
1. 徒歩	52	15%	14	22%
2. 自転車	7	2%	1	2%
3. 自家用車	148	42%	29	45%
4. タクシー	3	1%	3	5%
5. レンタカー	2	1%	0	0%
6. 公共バス	61	17%	8	13%
7. 貸し切りバス	0	0%	0	0%
8. 電車	71	20%	8	13%
9. その他	6	2%	1	2%
不明、無回答	0	0%	0	0%
計	350	100%	64	100%

ガイダンス施設の利用状況(※施設のオープンは、平成24年10月20日)

	平成29年11月5日(日) 回答数 回答比率	平成29年11月1日(水) 回答数 回答比率
1. 入館した(予定含む)	181 65%	39 71%
2. 入館しない	84 30%	16 29%
不明、無回答	12 4%	0 0%
計	277 100%	55 100%

ガイダンス施設入館の目的(※複数回答あり)

	平成29年11 回答数 回	月5日(日) 答比率	平成29年11月1日(水) 回答数 回答比率		
1. 展示を見る	113	27%	26	34%	
2. 休憩	27	6%	5	7%	
3. トイレ	59	14%	14	18%	
4. 日本100名城スタンプ	58	14%	1	1%	
5. パンフレットなどの情報収集	58	14%	14	18%	
6. その他	3	1%	0	0%	
不明、無回答	105	25%	16	21%	
計	423	100%	76	100%	

歴史の認識度(※複数回答あり)

	平成29年11月5日(日) 回答数 回答比率	平成29年11月1日(水) 回答数 回答比率
1. 城主	127 37%	27 36%
2. 築城~落城背景	108 32%	25 34%
3. 全く知らない	102 30%	22 30%
不明、無回答	5 1%	0 0%
計	342 100%	74 100%

国史跡指定の認知度

	平成29年11月5日(日) 回答数 回答比率	平成29年11月1日(水) 回答数 回答比率
1. 知っている	181 65%	37 67%
2. 知らない	94 34%	18 33%
不明、無回答	2 1%	0 0%
計	277 100%	55 100%

日本 100 名城の認知度(※ 100 名城の選定は、平成 18 年 4 月 6 日)

	平成29年11月5日(日) 回答数 回答比率	平成29年11月1日(水) 回答数 回答比率
 1. 知っている	<u>凹合致 凹合比率</u> 174 63%	<u>凹合数 凹合比率</u> 35 64%
1. 知りている 2. 知らない	99 36%	20 36%
不明、無回答	4 1%	0 0%
計	277 100%	55 100%

八王子城跡の情報収集手段(※複数回答あり)

	平成29年11月5日(日) 回答数 回答比率		平成29年11月1日(水 回答数 回答比率		
1. ガイドブックやパンフレットを見る	119	31%	23	31%	
2. 一般書・専門書を読む	24	6%	6	8%	
3. インターネットで調べる	106	28%	17	23%	
4. 市民講座などに参加する	5	1%	2	3%	
5. 郷土資料館などに行く	35	9%	7	9%	
6. 特になし	70	19%	15	20%	
7. その他	4	1%	2	3%	
不明、無回答	15	4%	2	3%	
 計	378	100%	74	100%	

不足していると思うもの(※複数回答あり)

	平成29年11 回答数 回	月5日(日) 答比率	平成29年11月1日(回答数 回答比率	
1. 総合的な展示や公開施設	31	9%	6	10%
2. 説明板や道標などのサイン施設	58	17%	5	9%
3. マップなどの資料提供	33	10%	3	5%
4. トイレ・休憩施設	28	8%	12	21%
5. 交通アクセス(バスの増便など)	51	15%	5	9%
6. 駐車場	10	3%	0	0%
7. その他	31	9%	3	5%
不明、無回答	92	28%	24	41%
計	334	100%	58	100%

今後望むもの(※複数回答あり)

	平成29年11		平成29年11月1日(水)		
	回答数 回答比率		回答数 回	答比率	
1. 案内や展示のサポート・ガイド	35	10%	8	13%	
2. 散策道の整備	47	14%	9	15%	
3. 歴史を感じさせる遺構復元や展示	66	20%	9	15%	
4. トイレや休憩施設の充実	42	13%	4	7%	
5. サイン施設の充実	7	2%	1	2%	
6. 城山・自然公園としての環境保全	60	18%	13	21%	
7. その他	11	3%	4	7%	
不明、無回答	66	20%	13	21%	
計	334	100%	61	100%	

八王子城跡の保存整備活用に関する活動で関心があること(※複数回答あり)

		平成29年11月5日(日) 回答数 回答比率		平成29年11月1日(水) 回答数 回答比率	
1. 史跡案内	88	28%	19	33%	
2. 自然観察案内	61	19%	8	14%	
3. 森林保全(剪定など)	60	19%	8	14%	
4. 清掃活動(草刈など)	13	4%	4	7%	
5. 施設管理	18	6%	2	4%	
6. 特になし	35	11%	10	18%	
7. その他	1	0%	0	0%	
不明、無回答	44	14%	6	11%	
計	320	100%	57	100%	

回答者の性別

	平成29年11月5日(日) 回答数 回答比率	平成29年11月1日(水) 回答数 回答比率
男	160 58%	34 62%
女	115 42%	21 38%
不明、無回答	2 1%	0 0%
計	277 100%	55 100%

回答者の年齢

	平成29年11	平成29年11月5日(日)		平成29年11月1日(水)		
	回答数 回	回答数 回答比率		答比率		
小学生未満	0	0%	0	0%		
小学生	7	3%	0	0%		
中高大学生	5	2%	0	0%		
20代	21	8%	6	11%		
30代	26	9%	4	7%		
40代	61	22%	2	4%		
50代	50	18%	4	7%		
60代	63	23%	24	44%		
70代以降	42	15%	15	27%		
不明、無回答	2	1%	0	0%		
計	277	100%	55	100%		

全来訪者の年齢(※複数回答あり)

(※全来訪者とはアンケート回答者と来訪を確認出来たアンケート未回答者を合わせたもの。アンケート未回答者の年齢は調査員の観察判断による。)

	平成29年1	平成29年11月5日(日) 回答数 回答比率		平成29年11月1日(水)		
	回答数 回			回答比率		
小学生未満	4	1%	1	1%		
小学生	22	6%	0	0%		
中高大学生	6	2%	0	0%		
20代	29	8%	8	8%		
30代	52	14%	9	9%		
40代	73	20%	9	9%		
50代	59	16%	9	9%		
60代	81	22%	37	37%		
70代以降	48	13%	26	26%		
不明、無回答	0	0%	0	0%		
計	374	100%	99	100%		

回答者の職業

	平成29年11			平成29年11月1日(水) 回答数 回答比率		
	回答数 回	回答数 回答比率		回答比率		
農林漁業	0	0%	0	0%		
自営業	12	4%	5	9%		
会社員・サラリーマン	119	43%	7	13%		
公務員	7	3%	1	2%		
主婦	65	23%	12	22%		
学生	14	5%	4	7%		
その他	55	20%	25	45%		
不明、無回答	5	2%	1	2%		
計	277	100%	55	100%		

回答者の居住地域

	平成29年11月5日(日)				月1日(水)
	回答数 回	回答数 回答比率		回答数 回答比率	
1. 八王子市	68	25%		15	27%
当該地域	(36	13%)	(8	15%)
隣接地域	(12	4%)	(3	5%)
郊外地域	(3	1%)	(3	5%)
不明	(17	6%)	(1	2%)
2. 東京都	102	37%		30	55%
多摩地域	(51	18%)	(16	29%)
区部(西部)	(15	5%)	(2	4%)
区部(中央部)	(6	2%)	(0	0%)
区部(東部)	(14	5%)	(3	5%)
不明	(16	6%)	(9	16%)
3. 他府県	103	37%		10	18%
隣接県	(57	21%)	(6	11%)
関東	(19	7%)	(1	2%)
その他	(19	7%)	(1	2%)
不明	(8	3%)	(2	4%)
4. 海外	0	0%		0	0%
在日	(0	0%)	(0	0%)
滞在	(0	0%)	(0	0%)
不明	(0	0%)	(0	0%)
不明、無回答	4	1%		0	0%
計	277	100%		55	100%

アンケート実施時間帯

	平成29年1	平成29年11月5日(日)			1月1日(水	()
	男	女	計	男	女	計
6:00~7:00	3	1	4	3	2	5
7:00~8:00	3	0	3	0	0	0
8:00~9:00	12	16	28	0	2	2
9:00~10:00	24	14	38	6	0	6
10:00~11:00	29	16	46	5	3	8
11:00~12:00	21	18	40	2	3	5
12:00~13:00	22	14	36	10	5	15
13:00~14:00	9	15	24	3	0	3
14:00~15:00	15	12	27	4	4	8
15:00~16:00	10	5	15	0	2	2
16:00~17:00	12	4	16	1	0	1
17:00~18:00	0	0	0	0	0	0
不明	0	0	0	0	0	0
計	160	115	277	34	21	55

(5) 自由記述内容

①八王子城跡を選んだ理由

◆冬季

休日

【史跡・歴史】

- ・日本 100 名城 / 100 名城である事 / 日本 100 名城スタンプを集めているから / 100 名城 の一つであり、住まいが小田原で北条氏とのゆかりもあり
- ・歴史に興味があるから/八王子城の歴史/先月、滝山城へ行ったので、八王子城へも/ 滝山城の関連で/順番
- ・北条氏照に関心あり/北条の城だから/北条氏の歴史について/北条氏のお城が見た かったから/ほうじょう家がすきだから/後北条氏に関心/豊臣秀吉の小田原攻めに登 場する有名な城だから

【自然・環境】

- ・景色好/景色が良い
- ・静かである/静かで人がいなかった/静で人が少ない/混んでいない

【登山・健康】コース上/ハイキングができるから/高尾まで歩ける/北高尾への~~~ /散歩/散歩コース/ちょうど良い山道

【立地・アクセス】

- ・近いので/近くだから/比較的近場/足下の住人/自宅から近い/自宅から最寄り/家から近い/近いから足ならしのため/近い、手軽/近所にいる
- ・自宅が相模原/子供が(八王子城の)近くにいる/高尾近くなので/目的地の近くの為/墓参の帰り/墓参りついで

【興味・関心】雰囲気が好き/好きな場所/訪れたことがまだなかったので/一度は見て みたいから

【人からの紹介】知人に誘われた/家族といっしょに(すすめられたので)

【メディア・SNSなど】真田丸を見たから

平日

【史跡・歴史】

- ・日本百名城の1つのため/日本百名城に掲載されていたため/100名城スタンプ
- ・城めぐりが好きなため/現在住んでいる側に戸倉城があり、滝山城など北条方の城の探 訪に興味があって

【自然・環境】

- 野鳥
- ・高尾山が混んでいるから静かなこちらを歩きます

【登山・健康】登山の通り道

【立地・アクセス】地元で近所/地元住民の為/近いから

【興味・関心】山城は見たいと思っていた/きょうみがあったので/たまたま

【人からの紹介】息子から心霊スポットの話を聞いて

【その他】駐車場が広い

◆春季

休日

【史跡・歴史】

- ・日本百名城 (スタンプラリー)
- ・山城が好きだから/国史跡/北条氏の城/歴史をもっと勉強したい/秀吉が苦戦したと ころ/戦国時代の終わりを迎えたきっかけの場所が、どんな所か知りたかった/八王子 の歴史を見たい

【自然・環境】

- ・自然散策と登山/身近で環境が整っている/木々が多い/自然が多い/城山川の源流がある/川をみたくて/歴史と文化もしくは野鳥/野鳥に出会える森がある/野鳥スポットとして有名(サンコウチョウ等)/野鳥がたくさんいると聞いた
- ・近くて静か/23区内の公園ほど混んでいない/空いている(高尾山などと比べて)

【登山・健康】手軽に長い距離を歩けるから/静かに山歩きができる/散策路として距離がほどよい/体力を確認できる/北高尾の起点として/高尾山の帰り/登り口だった

【立地・アクセス】

- ・近くだから/自宅から近い/埼玉から近いから/行きやすいので
- ・通り道上/たまたま道中にあった/墓参り/お墓に近い
- ・駅から近い/アクセスがよくなったので(神奈川平塚より)/交通の便/バスがすいている/バス便がある

【興味・関心】八王子在住者の"ホコリ"/一度来てみたかった/ゆっくり訪れたい/まだ来たことが無いから/手軽に行けそうだったので

【人からの紹介】知人の紹介/津久井城(相模原)に資料があった

【メディア・SNSなど】インターネット/テレビで見た/ガイド本/冊子で見て 【その他】心霊スポット

平日

【史跡・歴史】

- ・日本 100 名城/スタンプ
- ・歴史が好き/激しい戦があった悲しい場所
- ・北条氏に興味/北条五代に興味/氏照に興味/早雲のファン/小田原城の支城/北条氏 照の家臣の名前から(景信山の由来)

【自然・環境】野鳥との出会い/サンコウチョウ撮影/昆虫/野草/身近で自然が美しい

【登山・健康】手軽に山歩き

【立地・アクセス】

- ・近い/地元/市内在住だが、一度も来たことがなかった
- ・高尾駅から近い/八王子霊園に近い

【興味・関心】八王子は名所と聞いていたから

【人からの紹介】仲間の選択

【メディア・SNSなど】テレビで見て

◆夏季

休日

【史跡・歴史】

- ・100 名城であるため/100 名城のスタンプ集め/スタンプを押しに
- ・地元の史跡だから/歴史的な場所だから/身近な史跡であり、自然に恵まれているから /山城の本を読み興味を持った/実戦を経験している/歴史に興味がある/城に興味を 持っている
- ・北条方の山城で、武田と対峙していた城として興味があった/北条氏の支城及び秀吉によって1日で落城した確認

【自然・環境】

- ・自然が多いから/野鳥探しのため/野鳥が多い/来やすい。見たい野鳥がいるため/高 尾山の北側で涼しいと聞いた為
- ・近くてのんびりできる/混んでいない/人が少ないから/すいている。

【登山・健康】たくさん歩けるので/初めてのコースなので/ルートの一つだった/影信山に向かいます/裏高尾で意外と up down があり、トレーニングに来た/観光客が少ないのでトレイルランニングが走りやすい

【立地・アクセス】

- ・近場なので/近所だけど来たことがなかったので/私の地元です。もっと有名になれば と思います/八王子住民なのに、なかなか訪れることができなかったから
- ・高尾山などの観光のついでに/アクセスが良い

【興味・関心】ガイドさんの案内で興味深い/あるって知ったから/東京まで来たから 【メディア・SNSなど】ネットで見て/本に載っていたから

【その他】心霊スポットなどでよく耳にする場所だから

【夏休み】夏休みの子供の宿題で/夏休みの宿題の題材として/授業で出てきたから/日 影沢キャンプ場に近い/息子が調べた/付き添い

平日

【史跡・歴史】

- 日本百名城
- ・悲しい歴史があると聞いて

【立地・アクセス】

- ・近所/自宅から交通の便が良い
- ・毎月、高尾に来るので、一度じっくりと見ておきたかった為

◆秋季

休日

【史跡・歴史】

- ・日本 100 名城であるため/ 100 名城スタンプラリー
- ・歴史/城が見たい/歴史が好き/城めぐり/とにかく城好き/以前、滝山城に訪れた際に、関連する八王子城に興味を持ったため/松姫様関連の探訪の1つとして/氏照の城/北条ゆかりの地/八王子神社/昔の面影が充分に感じられるところ

【自然・環境】

- ・自然豊か/自然がいっぱい/紅葉/自然散策コースの1つ
- ・静かにゆっくりできそうだから/混んでいなさそう/静かさを求めて/高尾山ほど人が 多くない

【登山・健康】軽めの日帰りハイクをしたかった/ゆっくり歩ける/散歩コース/適度な 山歩きが出来るため/登山コースに入っていた/北高尾の尾根歩きのため/ハイキング/ トレイルランニングのコースであるため/町民ハイキングの場所設定

【立地・アクセス】

- ・近場なので/自宅から近い/実家から近い/身近な史跡/身近で子どもが登りやすい/ 八王子市民なので/八王子に住んでいるため、見てみたいと思った/八王子に引っ越し てきたので
- ・駅と山と城が近くて行きやすい/電車で来やすい/アクセス良好
- ・近くに御陵があるので寄ってみた/通りすがりで

【興味・関心】若い時(20 才頃)に来た思い出のある場所/昔1度来たことがあって、も う1度行ってみたいと思った/興味があった/来たことがないので/前から来てみたかっ た/好きだから

【人からの紹介】リーダーさんのおすすめ/八王子の人推薦/友達のすすめ/人にすすめられて/家族と一緒に

【メディア・SNSなど】テレビで見て/HP等で見て/インターネット検索で見て、興味を持ったから/雑誌で見た

平日

【史跡・歴史】日本 100 名城/北条氏を求めて/山城に興味がある/津久井城から順に

【自然・環境】自然散策/自然に親しめる

【登山・健康】山行の途中に寄った/城跡の裏山がハイキングコース/北高山陵の出発地

【立地・アクセス】近いから/地元/八王子に住んでいる/適当な距離/手頃な場所なので/近場で歩きやすい

【興味・関心】一度来てみたかった

②その他、自由意見

◆冬季

休日

【史跡・歴史】史跡の整備/もっと復元をどんどんやって欲しいです。戦国の城をまの当たりにしたいです。それが僕の夢です/城跡のくるわなどの整備や復元/都内にここまで遺構が残されているのは珍しいので今後も整備を続けて欲しい/100名城の保存に努力をお願いします/日本原形

【自然・環境】自然環境の保護

【便益施設・案内標識】トイレ整備/観光として人を集めるためには飲食店、みやげ物店等必要のように思う。観光、自然保全の経費が必要だから/駐車場の所に「これより先は行止り」の標識を立てるべき。バックで戻る車が1日に10台近くいる

【交通アクセス】バスの利用充実させて欲しい(平日も)/いままで何度もバスにのりましたが、ここへは来たことがなかった

【その他】グループでの大声での飲食はやめて欲しい/路すがら楽しみがあるとよい 【現状の評価】良く整備してあります/たまに来るのを楽しみにしています/思い掛けず 八王子城跡を知りました。良い所がお墓(我家)の近くにあることがわかりました。これ からは寄道をして楽しめそうです。歴史を深く知ることができるので、とても来れてよかっ たと思います。ありがとうございました

平日

【史跡・歴史】自然一杯の魅力ある山城、保存をよろしく/資料や北条に関するパンフレットやグッズをじゅうじつさせて欲しい!!

【自然・環境】自然環境を考えて(竹の間引き:どんどん竹林が広まってしまっている。 梅林の手入れ:個人所有だったが亡くなったあと放置されているのでは?)

【便益施設・案内標識】売店、食事施設が欲しい

◆春季

休日

【自然・環境】自然環境の保持/「①歴史と②自然」2つの側面のバランスをご考慮ください/整備しすぎ。いけない場所ばかり/打楽器の練習は環境を大きくこわす

【便益施設・案内標識】ガイダンス施設がキレイでおどろいた/鳥の情報、植物の情報等をガイダンス施設に表示できたら如何でしょう/高尾駅から来たが、駅に案内も宣伝もなかった/ここへくるまでの道のりに案内表示が全然なく、苦労しました。

【交通アクセス】バス路線を通年でおねがいしたい

【宣伝・周知】もっと広く八王子のことを知らせて欲しい

【その他】入口の駐車場までが家が多いので車でゆっくり走った

【現状の評価】期待以上でした。高尾山より人がまばらで、駅からの道は観光地化されて おらず、気持ちよかったです。

平日

【史跡・歴史】整備が徐々に進んでいるが、今一歩前進を期待する

【自然・環境】あまり復元はしてほしくない

【現状の評価】充分整備されていると感じました。程よく人の手が入っているところが良いと思います。

◆夏季

休日

【史跡・歴史】今ひとつ感動に欠けるので工夫が欲しい/どうやって石を積んだのか、分からないのでおもしろい/歴史を現地で見ることが体験活動として大切と思うので、今後も機会があれば来たいです/これからもずっと残していって欲しいです

【自然・環境】昆虫採集で生き物を勝手に採っていく人がいるが、禁止できないのか?蝶など少なくなってきていると感じる。

【便益施設・案内標識】管理棟のすぐ近くに飲み物の自販機があると良い/裏高尾からの 道を整備していただきたい

【現状の評価】歩きやすい/八王子城大好きです/北条氏 love。名古屋城も大好きです

平日

【史跡・歴史】山梨の生まれなので、武田信玄つながりで来ました(神奈川県からの来訪者) /どこまでが城跡か?富士見台などは?

【宣伝・周知】あまり知られていないのでは? (市内からの来訪者)

◆秋季

休日

【史跡・歴史】もう少し全体の発掘を進めて、スケールの大きなものにして欲しい/遺構 復元が今後もあると、より楽しい場になると思います。

【自然・環境】近郊で来やすい所なので、荒れない状態を保っていただけると良いです/いちょうがきれいです/自然いっぱいの八王子。この環境が保たれていきますように/とても為になる登山と、自然観察ができました。また、友や家族と訪れたいと思います。ありがとうございました。

【便益施設・案内標識】食事する場所が欲しい/ガイダンス施設の飲食店の充実/20年くらい前から、登っております。神社のトイレをもっときれいに/本丸へ登ったら本来の道を間違え、1時間程あたりをうろつきました。「ハイキングコースはこちら」と、標識が欲しかったです/バス停からのサインが分かりにくかったです/案内看板が見つけにくい/高尾山一号路に「城見台」という場所があるが、八王子城跡の説明がないので、説明文の設置をお願いします/城跡の方の「大手門」の看板の表示が小さいです

【交通アクセス】土・日、バスが来てくれるのでうれしいです/交通が多少不便/カーナビでは、ココに案内されませんでした。

【宣伝・周知】今後も史跡としての維持管理、PRなど、期待しております/とても良いところなので、もっと宣伝した方がよいと思う。/ガイダンス内は、年に一度は展示物を変えては?郷土資料館との連携など。時には特別展など

【その他】八王子神社の劣化が気になります/山頂の神社の神楽がボロボロなので、何とかなりませんか?/以前、八王子に20年いましたが、今日はじめて知りました。

【現状の評価】登城たのしみです/ここだけは孫・子の代まで守っていきたい/子供の頃に来た時よりも、盛り上がっていてよかった。

平日

【史跡・歴史】意外と勾配、階段等があり、おどろきました。要所にサポーター(史跡案内)の方がいると、もっと深く理解できたかも・・・。今回は本丸まで足をのばせませんでした。体力をつけてから又、来訪します/とても詳しいガイドに感謝します。(とてもいいお城でした。)今度、上の方までのぼりたいです

【便益施設・案内標識】本丸の回り、道やトイレが整備されていない/登山道の一部がえぐれているので直して欲しい/バリアフリー化(環境保全との兼ね合いに問題が残るが) 【現状の評価】今後も城山に登りたい

3. 史跡整備事業に絡む補助金等

(1) 文化財補助金(文化庁)

- ・歴史活き活き!史跡等総合活用整備事業
- ・地域の特色ある埋蔵文化財活用事業

(2) 文化遺産を活用した地域活性化に係る取組への支援(文化庁)

- 地域文化遺產活性化事業
- ・地域の文化財の総合的な保存活用に係る基本計画(仮称)等策定支援事業

(3) 社会資本整備総合交付金(国土交通省)

- ・社会資本整備総合交付金事業(急傾斜地崩壊対策事業、都市公園・緑地等事業)
- 防災・安全交付金事業(急傾斜地崩壊対策事業、都市公園・緑地等事業)

(4) 訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業(観光庁)

- ・交通サービス利便向上促進事業 (案内標識等の多言語化ほか)
- ・地方での消費拡大に向けたインバウンド対応支援事業(観光拠点・交流施設の整備)

(5) 地方創生推進交付金(内閣府)

- ・地域社会を担う人材の育成及び確保に資する事業
- ・観光の振興、農林水産業の振興その他の産業の振興に資する事業

(6) 自然環境整備交付金(環境省)

- 都道府県が行う国立公園・国定公園・長距離自然歩道整備事業
- ・市町村が行う国立公園・国定公園・長距離自然歩道整備事業に対し、都道府県が補助する事業
- ※八王子城跡周辺で交付対象となるのは「明治の森高尾国定公園」と「首都圏自然歩道 (関東ふれあいの道)」となっている。

4. 文化庁『文化財の確実な継承に向けたこれからの時代にふさわしい保存と活用の在り 方について (第一次答申)』(平成29年12月8日) 抜粋

「Ⅱ.文化財の保存と活用に関する基本的な考え方」

文化財保護法は、その目的を「文化財を保存し、かつ、その活用を図り、もつて国民の 文化的向上に資するとともに、世界文化の進歩に貢献すること」と規定しており、保存と 活用は文化財保護の重要な柱であると捉えられている。

文化財は、有形・無形の多種多様な文化的所産からなり、細心の注意が不可欠な脆弱な文化財が存在する一方で、社会の中で適切に活用されなければ継承がままならない文化財も存在し、文化財の種類・性質による違いは軽視できない(※注1)。文化財は一度壊れてしまえば取り返しがつかないものであり、それぞれの特性や脆弱性についての正しい認識の下に、適切な取扱いがなされる必要がある。

また、文化財の保存と活用は、互いに効果を及ぼし合い、文化財の継承につなげるべき もので、単純な二項対立ではない(※注2)。

保存状態が良好でないなど保存が十分でない文化財は修理等なしに活用することは困難であり、保存の措置である修理等の実施は活用の観点からも望まれる。また、文化財の保存に悪影響を及ぼすような活用はあってはならない。その一方で、文化財を次世代へ継承していく上で、その大切さを多くの人々に伝えていくことが不可欠であり、このため文化財の活用による理解の促進が必要である。このように、文化財の保存と活用は、共に、文化財の次世代への継承という目的を達成するために必要なものである。

今後,文化財の種類や性質に配慮しながら,適切な保存と活用の在り方を整理し,保存を確固とするような活用の在り方を模索していくことが必要である。文化財の活用により,人々は文化財の魅力や価値を享受することができるが,その恩恵は,現在のみならず将来にわたり各世代の人々が同じように享受すべきものである。次世代,次々世代へと連綿と続く未来の世代が,文化財の魅力や価値を享受し活用できるようにするためにも,計画的な修理・管理など文化財の適切な保存が必要である。

また、文化財の継承に欠かすことができないのが、地域住民の存在である。文化財を通じて地域住民がふるさとへの理解を深め、文化財継承の担い手として様々な活動に主体的に参画することが、文化財と地域社会の維持発展に不可欠である。

加えて、今後は、文化財の保存と活用の好循環を創り上げていく視点が重要である。すなわち、文化財を核にした取組を進め、それにより生まれる社会的・経済的な価値を地域の維持発展に役立て、文化財の保存や新たな文化創生へと還元するという視点である。目先の利益は本質ではなく、文化財とそれを育んだ地域の持続的な維持発展のために、文化財の保存と活用そしてその担い手の拡充を考えていくべきである。

(※注1)

例えば建造物に関しては、能舞台が現在もその用途で使われるなど、機能・用途が現代に維持されているものが多いが、既に建設当時の役割を終えて機能・用途を失っている場合も、文化財の本質的な価値の維持を前提とした上で、現代社会の中で適切に機能・用途が与えられ使われ続けることによって、未来に受け継ぐ動機が高まり文化財の保存が強化されているものもある。また、例えば美術工芸品に関しては、素材や形状、構造等が極めて脆弱なものもあり、海外の美術館等にある油絵や石像などのように恒常的に展示することは難しいこともある。公開や調査などのために文化財の移動や取扱いの機会が増加することは、文化財の劣化を促進し、毀損の危険性を高めることでもあるため、文化財を活用する前提として、保存状態が適切であること、十分な知見を持つ人材や展示施設などといった適切な環境が確保されることが必要である。いずれの文化財も、文化財活用の名の下に文化財を破壊・毀損することはあってはならない。

(※注2)

文化財の種類・性質により保存活用の在り方は異なるが、ここでは概括的に、文化財の保存とは主に、文化財としての価値を後世に向けて確実に維持すること、文化財の活用とは主に、文化財としての価値を踏まえ適切に現代社会に生かすことと捉えている。

国指定史跡 八王子城跡 保存整備基本構想·基本計画書

発行日 平成30年2月

発行 八王子市教育委員会

編集 八王子市教育委員会生涯学習スポーツ部文化財課

 \mp 1 9 2 - 8 5 0 1

八王子市元本郷町3-24-1

 $\texttt{TEL} \quad 0\ 4\ 2-6\ 2\ 0-7\ 2\ 6\ 5$

FAX 042-626-8554